

H20-②-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-②-1

孔口標高	T.P.	69.01m	掘削長	65.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図①	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
	69.01	0.00		有機質 アフライト	淡橙	D'	100	0	0				0.00~0.07m ・有機質土である。
	66.71	2.30		花崗斑 岩	浅黄橙	CL'	100	17	32				0.07~8.05m ・アフライトが主体である。
	66.36	2.65		アフラ イト	明褐 灰	CM'	100	12	22				2.30~2.65m, 2.90~3.20m, 3.95~4.34m ・花崗斑岩である。
	65.81	3.20		花崗斑 岩	淡橙	D'	100	13	13				0.07~2.01m ・極めて軟質である。
	65.06	3.95		アフラ イト	橙	D'	100	17	49				0.07~14.79m ・傾斜25°及び60°程度の割れ目が見られる。
	64.67	4.34		花崗斑 岩	浅黄 橙	CL'	100	22	22				・割れ目に沿って褐色化し、マンガンや灰白 色粘土を伴うことが多い。
	61.84	7.17		ベグマ タイト	灰白 橙	CM'	100	36	46				2.01~10.94m ・軟質である。
	61.32	7.69		花崗斑 岩	明赤 褐	CH'	100	32	61				7.17~7.65m ・変質している。
	60.96	8.05		アフラ イト	明黄 褐	CL'	100	39	60				・灰白色粘土が網目状に分布する。
10	59.34	9.67		花崗斑 岩	浅黄 橙	CL'	100	12	22				7.71~8.81m ・傾斜40°~75°程度、幅1mm以下の石英脈 を多数挟む。
	58.93	10.06		黒雲 母花崗 斑岩	明黄 褐	CL'	100	36	55				8.05~10.94m ・花崗斑岩である。
	58.07	10.94		花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	39	60				9.67~10.06m ・黒雲母花崗岩を挟む。
	51.92	11.82		ベグマ タイト	明黄 褐	CL'	100	39	60				10.94~11.21m ・ベグマタイトである。
				花崗斑 岩	浅黄 橙	CL'	100	42	53				・径5~50mm程度の石英、長石からなる。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	42	53				10.94~14.79m ・中硬質である。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	42	53				11.21~32.25m ・花崗斑岩である。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	31	68				14.79~18.26m ・軟質である。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	31	68				14.79~18.69m ・傾斜70°程度の割れ目が見られる。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	48	77				・割れ目に沿って褐色化し、マンガンや灰白 色粘土を伴うことが多い。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	36	73				18.26~29.70m ・硬質である。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	23	56				18.69~29.55m ・傾斜20°及び70°程度の割れ目が見られる。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	31	55				・割れ目に沿って褐色化し、一部灰白色粘土 を伴う。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	33	81				24.61m ・傾斜80°程度、幅1~2mm程度の石英脈を挟 む。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	38	95				26.62m ・傾斜76°程度、幅1~2mm程度の石英脈を挟 む。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	38	71				29.55~39.55m ・傾斜45°及び75°程度の割れ目が見られる。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	38	71				・割れ目に沿って褐色化し、マンガン を伴うことが多い。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	36	77				29.70~33.90m ・中硬質である。
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	27	70				
				花崗斑 岩	明黄 褐	CL'	100	30	77				

3-43(分類c)①
表現を統一したため。

H20-②-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
40	36.76	32.25	+ +	花崗斑岩 アブライト	にぶい 橙	CM'	100	18	53	●	●	●	32.01m ・傾斜66°程度、幅5~10mm程度の石英脈を挟む。マンガンを伴う。 32.22m ・傾斜67°程度、幅10mm程度のマンガン脈を挟む。 32.25~33.48m ・アブライトである。 33.48~65.00m ・花崗斑岩が主体である。 33.90~44.37m ・硬質である。 39.55~41.72m ・傾斜20°及び80°程度の割れ目が見られる。 41.72~65.00m ・傾斜60~70°程度の割れ目が見られる。 ・割れ目に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。 43.16m ・傾斜45°程度、幅5~8mm程度の石英脈を挟む。 43.25~43.50m 44.20~45.56m ・アブライトを挟む。 44.55~44.80m ・変質している。 ・微細な割れ目に灰白色粘土を挟む。 ●45.13~46.34m (f-②-1-1破砕帯) ・破砕部である。 ・主に明褐色の固結礫状部、灰白色の固結砂状部及び固結粘土状部からなる。 ・黄褐色の未固結粘土状部：累計幅3.0cm ・走向・傾斜はN3°W60°Wである。 ・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は68°である。 ●46.85~46.97m (f-②-1-2破砕帯) ・破砕部である。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.6cm ・走向・傾斜はN63°E71°Sである。 ・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は67°である。 47.13~47.25m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ●48.26~48.95m (f-②-1-3破砕帯) ・破砕部である。 ・主に明褐色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN52°W71°SWである。 ・上端境界の傾斜は69°、下端境界の傾斜は45°である。 ●49.21~51.10m (D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に淡桃灰~褐色の固結礫状部、灰白色の固結砂状部及び固結粘土状部からなる。 ・橙色の未固結粘土状部：累計幅0.8cm ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は36°、主せん断面の傾斜は65°である。 51.10~57.42m ・軟質である。 51.73~52.12m, 52.53~52.67m, 53.67~53.72m, 54.55~54.64m, 55.85~55.90m, 56.57~56.67m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 57.42~65.00m ・中硬質である。 59.67~61.35m 61.74~61.60m ・アブライトである。
	35.53	33.48					+ +	花崗斑岩 アブライト	にぶい 橙				
	50	25.76	43.25	アブライト 花崗斑岩	明褐 灰	CH'				100	22	33	
							35.53	33.48	+ +	花崗斑岩 アブライト	にぶい 橙	CM'	
	25.76	43.25	アブライト 花崗斑岩	明褐 灰	CH'	100	37	80					
	24.81	44.20				+ +	花崗斑岩 アブライト	にぶい 橙	CM'	100	46	69	
	23.45	45.5	+ +	花崗斑岩 アブライト	明褐 灰					CH'	100	25	
	50	9.34				59.67	アブライト 明褐灰	明赤 灰	CM'		100	17	
			24.81	44.20	+ +					花崗斑岩 アブライト	にぶい 橙	CM'	
	23.45	45.5	+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'	100	10				
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	25	88	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	18	42	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	38	87	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	15	25	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	8	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	3	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	2	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	7	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	8	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	2	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	0	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	3	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	4	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	14	14	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	10	10	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	6	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	8	0	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	7	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	12	54	●
23.45	45.5		+ +	花崗斑岩 アブライト		明赤 灰	CH'			100	7	0	
24.81	44.20	+ +			花崗斑岩 アブライト			明赤 灰	CH'	100	7	0	●

3-44, 3-45 (分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

H24-B14-2

孔口標高	T.P.	7.06m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				埋土	明褐		100						0.00~6.66m ・埋土である。
		2.35			灰		100						
		6.66			明褐		100						
				礫質砂	褐灰		100						6.66~8.39m ・礫質砂である。
		1.13			灰		100						・径2~5mmの細礫を含む。
		0.82			砂混り有機質シルト		100						8.39~8.83m ・砂混り有機質シルトである。
		0.31			有機質シルト		100						・未炭化木片を含む。
		11.12			黄		100						8.83~9.54m ・有機物混り砂である。
		-0.80			砂		87						9.54~11.12m ・砂である。
		-1.45			灰白		100						・径2~50mmの花崗斑岩礫を含む。
		-1.91			灰		100						11.12~12.04m ・礫混り砂である。
		-2.20			灰		100						12.04~12.69m ・有機物混り砂である。
		-2.74			灰		100						・細粒~中粒砂が主体である。
		-4.42			灰白		100						12.69~13.09m ・有機物混り砂質シルトである。
					明褐灰	D'	100	0	0				13.09~13.86m ・シルト混り砂である。
					明褐灰	D'	100	0	0				13.86~16.24m ・砂礫である。
					灰白	D'	100	2	0				16.24~60.65m ・花崗斑岩である。
					明褐灰	CL'	100	4	0				16.24~19.89m ・強風化、変質部である。
					明褐灰	CL'	100	10	10				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
					褐灰	D'	100	0	0				24.48~26.62m ・割れ目が多く、砂~角礫状を呈する。
					灰	D'	100	0	0				
					灰	D'	100	7	0				
					灰	CL'	100	4	0				●28.50~28.68m ・破碎部である。
					灰	CL'	100	9	0				・正断層センスである。
					明褐灰	CM'	100	16	16				・浅黄橙~黄橙色の礫質粘土状~粘土混じり 礫状を呈する。
					明褐灰	CL'	100	15	26				・走向・傾斜はN35° E77° NWである。
					明褐灰	CL'	100	9	0				32.40~32.67m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
					明褐灰	CL'	100	6	0				

6--7-4-1044

第7.4.4.177図 (1) D-1 破碎帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H24-B14-2孔)

H24-B14-2

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B14-2

孔 口 標 高	T.P.	7.06m	掘 削 長	150.00m
---------	------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土	明褐		100					0.00~6.66m ・埋土である。
		2.35		埋土	灰		100					
		6.66		埋土	明褐		100					
				礫質砂	褐灰		100					6.66~8.39m ・礫質砂である。 ・径2~5mmの細礫を含む。
		1.13		砂混じり有機シルト	灰		100					8.39~8.83m ・砂混じり有機質シルトである。 ・未炭化木片を含む。
		0.82		有機物混じり砂	黒褐		100					8.83~9.54m ・有機物混じり砂である。
		0.31		有機物混じり砂	黒褐		100					9.54~11.12m ・砂礫である。
		-0.80		砂礫	赤褐		87					11.12~12.04m ・径2~50mmの花崗斑岩礫を含む。
		-1.45		砂礫	黄		100					12.04~12.69m ・礫混じり砂である。
		-1.91		砂混じり砂	灰白		100					12.69~13.09m ・有機物混じり砂である。 ・細粒~中粒砂が主体である。
		-2.20		有機物混じり砂	灰		100					13.09~13.86m ・シルト混じり砂である。
		-2.74		有機物混じり砂	灰		100					13.86~16.24m ・砂礫である。
		-4.42		有機物混じりシルト	灰白		100					16.24~60.65m ・花崗斑岩である。 ・強風化し、変質している。
				シルト混じり砂	灰白	D'	100	0	0			24.48~26.62m ・割れ目が多く、砂状~角礫状を呈する。
				砂礫	明褐灰	D'	100	0	0			
				砂礫	灰白	D'	100	2	0			
				砂礫	明褐灰	CL'	100	4	0			
				砂礫	明褐灰	CL'	100	10	10			
				砂礫	明褐灰	CL'	100	4	0			
				花崗斑岩	褐灰	D'	100	0	0			
				花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	0	0			
				花崗斑岩	灰褐	CL'	100	7	0			
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	9	0			

- 3-46(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 3-47~3-52(分類c)②
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事		
													0	20
40			+	花崗斑岩	明褐色 灰白	CL'	100	9	0	●	35.14~35.74m	●	・風化部である。	
							100	9	0	●	37.52~37.89m	●	・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
						明褐色 黄橙	D'	100	0	0	●	38.10~38.27m	●	・破碎部である。カタクレーサイトからなる。
								100	5	0	●	38.10~38.27m	●	・灰白色~淡黄白色の礫混じり砂状を呈する。
						明褐色 灰	CL'	100	5	0	●	42.13~42.71m	●	・累計層厚11cm ・上盤境界の傾斜は40°、下盤境界の傾斜は50°である。
								100	10	10	■	43.51~45.20m	■	
						明褐色 灰	CM'	100	5	0	●	45.90~47.37m	●	・強風化部である。
								100	13	13	■	47.37~47.40m	■	・割れ目が多く、角礫状を呈する。
						明褐色 灰	CL'	100	3	0	●	47.37~47.40m	●	・破碎部である。
								100	5	0	●	49.24~49.55m	●	・右ずれセンスである。
						明褐色 灰	CL'	100	0	0	●	49.24~49.55m	●	・灰白~褐色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。
								100	0	0	●	49.24~49.55m	●	・灰白色粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN38° E85° NWである。
						明褐色 灰	CL'	50	0	0	●	49.24~49.55m	●	・破碎部である。
								57	7	0	●	50.50~51.43m	●	・正断層センスである。
						明褐色 灰	CL'	100	8	0	●	50.50~51.43m	●	・礫灰~灰白~褐色の粘土混じり礫状を呈する。
								100	7	0	●	50.50~51.43m	●	・灰~灰白~淡赤色粘土：累計厚33mm ・見かけ傾斜は35°である。
						明褐色 灰	CM'	100	12	12	■	52.92~53.33m	■	・コア欠。(ポアホールテレビで破碎部がないことを確認)
								100	5	0	●	52.92~53.33m	●	・強風化部である。
						明褐色 灰	CL'	100	19	19	■	53.33~53.36m	■	・破碎部である。
								100	4	0	●	53.33~53.36m	●	・正断層センスである。
明褐色 灰	CL'	100	12	12	■	53.33~53.36m	■	・灰白色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。						
		100	3	0	●	60.65~150.00m	●	・灰白色粘土：累計厚15mm ・みかけ傾斜は15°である。						
明褐色 灰	CL'	100	3	0	●	60.65~150.00m	●	・アブライトである。						
		100	5	0	●	60.85~61.12m	●	・破碎部である。カタクレーサイトからなる。						
明褐色 灰	CM'	100	10	20	■	60.85~61.12m	■	・明黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。						
		100	10	10	■	60.85~61.12m	■	・走向・傾斜はN35° E88° NWである。						
明褐色 灰	CL'	100	5	0	●	65.32~65.86m	●							
		100	10	10	■	65.32~65.86m	■							
明褐色 灰	CL'	100	9	0	●	68.23~68.63m	●	・強風化部である。						
		100	7	0	●	68.23~68.63m	●							

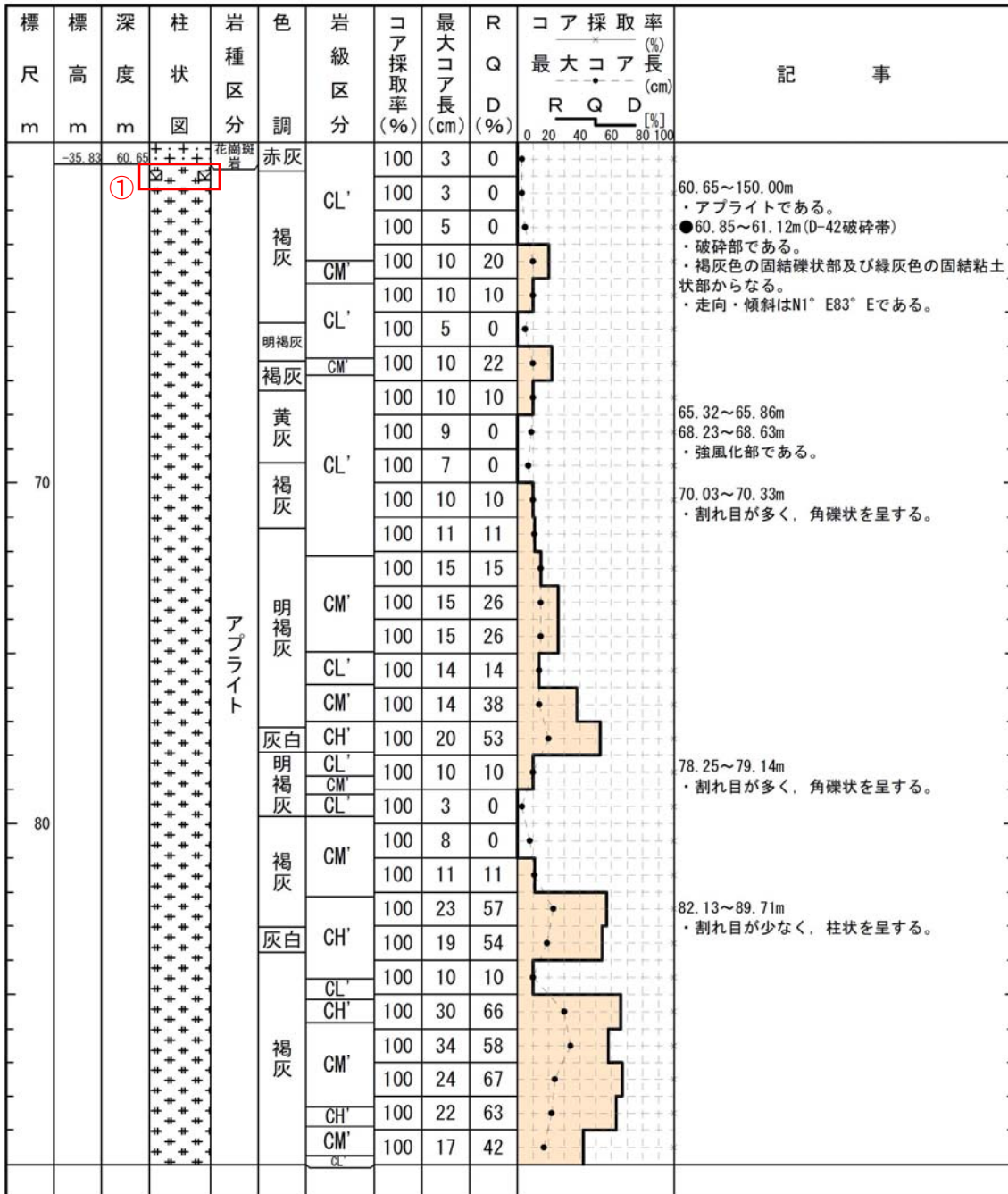
第7.4.4.177図(2) D-1 破碎帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図(H24-B14-2孔)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				花崗斑岩	明褐色 灰白	CL'	100	9	0	0	0	0	35.14~35.74m ・風化部である。
					明褐色 灰	CL'	100	9	0	0	0	0	
					にふい 黄橙 淺黄橙	D'	100	0	0	0	0	0	37.52~37.89m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
					明褐色 灰	D'	100	0	0	0	0	0	38.10~38.27m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる
						CL'	100	5	0	0	0	0	・灰白色~淡黄白色の礫混じり砂状を呈する。
						CM'	100	10	10	0	0	0	・累計層厚11cm ・上端境界の傾斜は40°、下盤境界の傾斜は50°である。
						CL'	100	5	0	0	0	0	42.13~42.71m 43.51~45.20m ・強風化部である。
					灰黄褐	CL'	100	13	13	0	0	0	45.90~47.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
						CM'	100	5	0	0	0	0	47.37~47.40m ・破砕部である。
					褐色	CL'	100	3	0	0	0	0	・右ずれセンスである。
						CL'	100	5	0	0	0	0	・灰白~褐色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。
						CL'	100	0	0	0	0	0	・灰白色粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN38° E85° NWである。
						CL'	50	0	0	0	0	0	49.24~49.55m ・破砕部である。
					ノニア 褐色	CL'	57	7	0	0	0	0	・正断層センスである。
						CL'	100	8	0	0	0	0	・礫灰~灰白~褐色の粘土混じり礫状を呈する。
					明褐色 褐色	CL'	100	7	0	0	0	0	・灰~灰白~淡赤色粘土：累計厚33mm ・見かけ傾斜は35°である。
						CM'	100	12	12	0	0	0	50.50~51.43m ・コア欠。(ポアホールテレビで破砕部がないことを確認)
					明赤 灰赤	CL'	100	5	0	0	0	0	52.92~53.33m ・強風化部である。
						CL'	100	19	19	0	0	0	53.33~53.36m ・破砕部である。
					赤 灰	CL'	100	4	0	0	0	0	・正断層センスである。
				CL'		100	12	12	0	0	0	・灰白色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。	
				CL'		100	3	0	0	0	0	・灰白色粘土：累計厚15mm ・みかけ傾斜は15°である。	
				CL'		100	3	0	0	0	0	60.65~150.00m ・アブライトである。	
				ア ブ ラ イ ト	CL'	100	5	0	0	0	0	60.85~61.12m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる	
					CM'	100	10	20	0	0	0	・明黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。	
					CL'	100	10	10	0	0	0	・走向・傾斜はN35° E88° NWである。	
					CM'	100	5	0	0	0	0		
				明褐色 褐色	CM'	100	10	22	0	0	0		
					CL'	100	10	10	0	0	0		
				黄 灰	CL'	100	9	0	0	0	0	65.32~65.86m 68.23~68.63m ・強風化部である。	
					CL'	100	9	0	0	0	0		
				褐色	CL'	100	7	0	0	0	0		

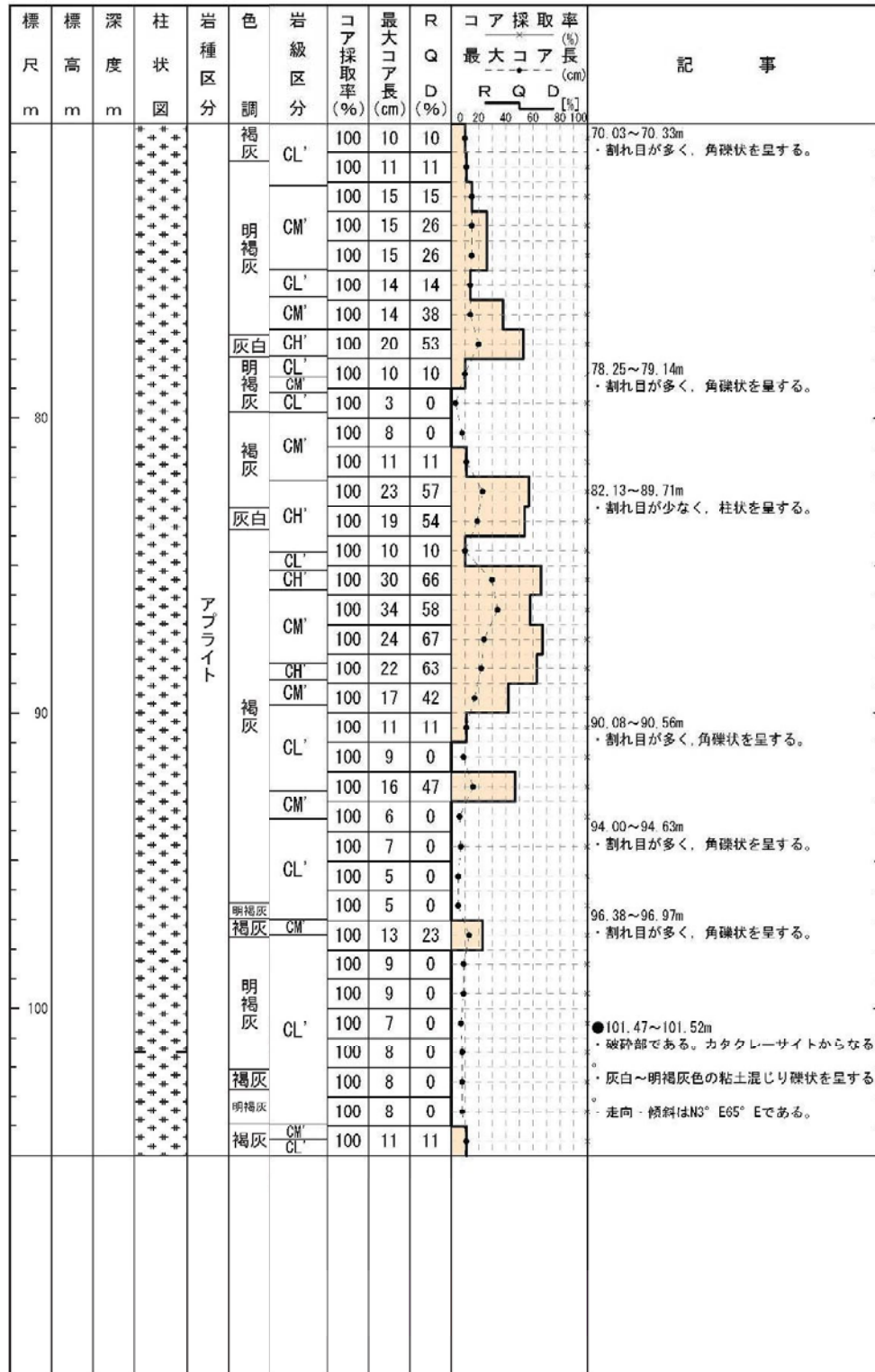
第7.4.4.177図(2) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図(H24-B14-2孔)

H24-B14-2

柱状図(60.00m~90.00m)



3-55(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1046

第7.4.4.177図(3) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図(H24-B14-2孔)

H24-B14-2

柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記事
										最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)	
100				ア プ ラ イ ト		褐 灰	100	11	11			90.08~90.56m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 94.00~94.63m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 96.38~96.97m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●101.47~101.52m(f-b14-2-6破碎帯) ・破碎部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN3° E65° Eである。 ●105.54~105.61m(D-41破碎帯) ・破碎部である。 ・緑灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16° E84° Eである。 107.29~107.45m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●109.16~109.46m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・明緑灰色の未固結粘土状部：累計幅2.2cm ・走向・傾斜はN1° W76° Wである。 109.46~112.49m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 110.95~111.16m ・変質が著しく、暗緑灰色に変色する。 114.66~116.33m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							100	9	0			
							100	16	47			
							100	6	0			
							100	7	0			
							100	5	0			
							100	5	0			
							100	13	23			
							100	9	0			
							100	9	0			
							100	7	0			
							100	8	0			
							100	8	0			
							100	8	0			
							100	11	11			
							100	7	0			
							100	4	0			
							100	3	0			
							100	8	0			
							100	15	26			
100	5	0										
100	3	0										
100	11	21										
100	12	23										
100	11	11										
100	7	0										
100	9	0										
100	10	10										
100	7	0										
100	7	0										

3-56(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事		
													0	20
		110		ア ブ ラ イ ト	褐 灰	CL'	100	7	0	●	●	●105.54~105.61m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・走向・傾斜はN16° E84° Eである。 107.29~107.45m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
		明 褐 灰			100		3	0	●	●				
		明 緑 灰			100		8	0	●	●				
		明 褐 灰			100		15	26	●	●				
		明 褐 灰			100	5	0	●	●	●109.16~109.46m (D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・明緑灰色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・明緑灰~灰色粘土：累計厚30mm ・走向・傾斜はN1° W76° Wである。 109.46~112.49m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。				
		明 褐 灰			100	3	0	●	●					
		明 緑 灰			100	11	21	●	●					
		明 緑 灰			100	12	23	●	●					
		明 緑 灰			100	11	11	●	●	110.95~111.16m ・変質が著しく暗緑灰色に変色する。 114.66~116.33m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。				
		明 緑 灰			100	7	0	●	●					
		明 緑 灰			100	9	0	●	●					
		明 緑 灰			100	10	10	●	●					
		120					褐 灰	CL'	100	7	0	●	●	
							褐 灰		100	7	0	●	●	
							褐 灰		100	4	0	●	●	
							褐 灰		100	5	0	●	●	
							褐 灰		100	4	0	●	●	
							褐 灰		100	4	0	●	●	
							褐 灰		100	5	0	●	●	
							褐 灰		100	9	0	●	●	
		130			灰 赤	CL'	100	5	0	●	●	131.00~132.00m ・コア欠。(ボアホールテレビで破砕部がないことを確認) 132.00~133.00 ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
					灰 褐		100	3	0	●	●			
					灰 褐	CL'	100	5	0	●	●	134.00~135.00m ・コア欠。(ボアホールテレビで破砕部がないことを確認) 135.00~135.50m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
					灰 褐		100	3	0	●	●			
					ノ シ コ ア	D'	0			●	●	135.50~136.00m ・コア欠。(ボアホールテレビで破砕部がないことを確認) 136.50~136.75m ・コア欠。(ボアホールテレビで破砕部がないことを確認)		
					ノ シ コ ア		0			●	●			
					灰 褐 ノ シ コ ア	CL'	50	2	0	●	●			
					灰 褐 ノ シ コ ア		75	3	0	●	●			
					灰 褐 ノ シ コ ア	CL'	100	4	0	●	●			
					灰 褐 ノ シ コ ア		100	5	0	●	●			
					灰 褐	CL'	100	5	0	●	●			
					灰 褐		100	4	0	●	●			

6-7-4-1047

第7.4.4.177図(4) D-1破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図(H24-B14-2孔)

H24-B14-2

柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
100				ア プ ラ イ ト		褐 灰	CL'	100	11	11			90.08~90.56m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CM'	100	9	0			
						明 褐 灰	CL'	100	16	47			94.00~94.63m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CL'	100	6	0			
						明 褐 灰	CL'	100	7	0			96.38~96.97m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CM'	100	5	0			
						明 褐 灰	CL'	100	5	0			●101.47~101.52m(f-b14-2-6破碎帯) ・破碎部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN3° E65° Eである。
							CM'	100	13	23			
						明 褐 灰	CL'	100	9	0			●105.54~105.61m(D-41破碎帯) ・破碎部である。 ・緑灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16° E84° Eである。
							CM'	100	9	0			
						明 褐 灰	CL'	100	7	0			107.29~107.45m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CM'	100	8	0			
						明 褐 灰	CL'	100	8	0			●109.16~109.46m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・明緑灰色の未固結粘土状部：累計幅2.2cm ・走向・傾斜はN1° W76° Wである。
							CM'	100	11	11			
						明 褐 灰	CL'	100	7	0			109.46~112.49m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CM'	100	4	0			
						明 褐 灰	CL'	100	3	0			110.95~111.16m ・変質が著しく、暗緑灰色に変色する。
							CM'	100	8	0			
						明 褐 灰	CL'	100	15	26			114.66~116.33m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							CM'	100	5	0			
明 褐 灰	CL'	100	3	0									
	CM'	100	11	21									
明 褐 灰	CL'	100	12	23									
	CM'	100	11	11									
明 褐 灰	CL'	100	7	0									
	CM'	100	10	10									
明 褐 灰	CL'	100	7	0									
	CM'	100	9	0									
明 褐 灰	CL'	100	10	10									
	CM'	100	10	10									
明 褐 灰	CL'	100	7	0									
	CM'	100	7	0									

3-57(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-D1-1

孔口標高	T.P.	20.25m	掘削長	100.00m
------	------	--------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%)			記 事	
										R	Q	D		
				埋土	にぶい黄橙		100						0.00~4.33m ・埋土である。	
		17.19		砂礫	にぶい黄橙		100						4.33~5.05m ・砂礫である。 ・径5~30mmの花崗斑岩の硬質礫を含む。	
		16.68		砂	にぶい黄橙		100						5.05~5.45m ・砂である。 ・径1~3mmの石英を多く含む。	
		16.40		砂	にぶい黄橙		100						5.45~6.33m ・礫である。 ・径30~280mmの亜角礫からなる。	
		15.77		砂礫	にぶい黄橙		100						6.33~6.59m ・砂礫である。 ・礫は径2~80mmの亜円~亜角礫を含み基質は中粒~粗粒砂からなる。	
		15.59		シルト混り砂	にぶい黄橙		100						6.59~6.72m ・シルト混り砂である。	
		13.55		砂	にぶい黄橙		100						6.72~9.48m ・砂である。 ・石英や花崗斑岩礫が点在する。	
		13.00		砂礫	にぶい黄橙		100						9.48~10.25m ・砂礫である。 ・礫は径2~70mmの石英、亜円~亜角礫からなる。	
		12.47		砂	にぶい黄橙		100						10.25~11.00m ・砂である。 ・不均質に粘土分や有機物を含む。	
		11.62		砂礫	にぶい黄橙		100						11.00~12.20m ・砂礫である。 ・礫は径2~160mmの亜円~亜角礫を含む。 ・礫率40~50%程度。	
				花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	7	0				12.20~100.00m ・花崗斑岩である。 12.20~21.04m ・風化部である。	
			D'			100	4	0						21.04~30.53m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。
			D'			100	8	0						
			CL'			100	6	0						
			D'			100	5	0						
			D'			100	4	0						
			D'			100	3	0						
			D'			100	6	0						
			CL'			100	7	0						
			CL'			100	12	12						
			CL'	100	11	11								
			D'	100	6	0								
			D'	100	5	0								
			D'	100	7	0								
			CL'	100	2	0								
			CL'	100	16	16								
			D'	100	4	0								
			D'	100	17	17								
			明褐灰	100	6	0								
			明褐灰	100	22	22								
			明褐灰	100	9	0								
			灰白	100	9	0								
			明褐灰	100	5	0								
			明褐灰	100	4	0								
			明褐灰	100	10	10								
			明褐灰	100	4	0								
			明褐灰	100	5	0								

6-7-4-1049

第7.4.4.178図 (1) D-1 破碎帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H24-D1-1孔)

H24-D1-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-D1-1

孔 口 標 高	T. P.	20.25m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	長 (cm)	
				埋土	にふい黄橙		100					0.00~4.33m ・埋土である。
		17.19		砂礫	にふい黄橙		100					4.33~5.05m ・砂礫である。
		16.68		砂	にふい黄橙		100					・径5~30mmの花崗斑岩の硬質礫を含む。
		16.40		砂	にふい黄橙		100					5.05~5.45m ・砂である。
		15.77		砂礫	明褐灰		100					・径1~3mmの石英を多く含む。
		15.54		シルト混じり砂	にふい黄橙		100					・砂である。
		13.55		砂礫	にふい黄橙		100					・径30~280mmの垂角礫からなる。
		13.00		砂	にふい黄橙		100					6.33~6.59m ・砂礫である。
		12.47		砂	にふい黄橙		100					・礫は径2~80mmの垂円~垂角礫を含み基質は中粒~粗粒砂からなる。
		11.62		砂礫	にふい黄橙		100					6.59~6.72m ・シルト混じり砂である。
10												6.72~9.48m ・砂である。
						D'	100	7	0			・石英や花崗斑岩礫が点在する。
						D'	100	4	0			9.48~10.25m ・砂礫である。
						D'	100	8	0			・礫は径2~70mmの石英、垂円~垂角礫からなる。
						CL'	100	6	0			10.25~11.00m ・砂である。
						D'	100	9	0			・不均質に粘土分や有機物を含む。
						D'	100	5	0			11.00~12.20m ・砂礫である。
						D'	100	4	0			・礫は径2~160mmの垂円~垂角礫を含む。
						D'	100	3	0			・礫率は40~50%程度である。
20				花崗斑岩			100	6	0			12.20~100.00m ・花崗斑岩である。
						CL'	100	12	12			12.20~21.04m ・風化部である。
						CL'	100	11	11			21.04~30.53m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。
						D'	100	6	0			
						D'	100	5	0			
						D'	100	7	0			
						CL'	100	2	0			
						CL'	100	16	16			
						D'	100	4	0			
						CL'						

3-58(分類c)①
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事										
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D									
				花崗斑岩		明褐灰	100	15	27	0	0	0	●45.91~48.28m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明褐灰~明黄褐色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい赤橙~明黄褐~にぶい黄褐色粘土：累計厚34mm ・走向・傾斜はN1° E58° Wである。 ●49.20~49.91m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・明褐~明黄褐色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・明褐~明黄褐色粘土：累計厚10mm。 ・走向・傾斜はN9° W74° Eである。 ●53.77~54.54m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・にぶい橙~にぶい黄橙~灰黄色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐~淡黄橙~黄褐~浅黄橙色粘土：累計厚52mm ・走向・傾斜はN20° E77° Eである。 ●58.96~59.30m ・破砕部である。 ・明褐灰~淡黄~浅黄褐色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・明赤灰~褐灰~にぶい橙色粘土：累計厚30mm ・走向・傾斜はN8° E78° Wである。 ●60.12~60.15m(D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである ・浅黄橙~にぶい黄褐色の礫混じり粘土状を呈する。 ・浅黄橙~にぶい黄褐色粘土：累計厚23mm ・走向・傾斜はN9° E88° Wである。 ●68.84~69.00m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・浅黄橙~灰白色の粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・にぶい黄橙~暗褐色粘土：累計厚16mm ・走向・傾斜はN31° W72° NEである。 ●78.77~79.19m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明オリーフ灰~赤灰色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・灰赤色粘土：累計厚3mm ・走向・傾斜はN4° E78° Eである。										
																CL'	100	8	0				
																にぶい橙	100	3	0				
																	100	2	0				
																明黄褐	100	1	0				
																	100	1	0				
																明褐灰	100	2	0				
																	100	2	0				
																にぶい橙	100	5	0				
																灰褐	100	4	0				
																	100	2	0				
																にぶい黄橙	100	2	0				
																	100	4	0				
																灰褐	100	4	0				
																	100	4	0				
																明褐灰	100	2	0				
																	100	1	0				
																橙	100	4	0				
																	100	1	0				
						明褐灰	100	2	0														
							100	5	0														
						灰褐	100	6	0														
							100	10	10														
						CL'	100	10	10														
							100	10	10														
						にぶい黄橙	100	11	21														
							100	6	0														
						D'	100	4	0														
							100	3	0														
						灰褐	100	3	0														
							100	3	0														
						CL'	100	3	0														
							100	2	0														
						にぶい黄橙	100	3	0														
							100	3	0														
						D'	100	4	0														
							100	2	0														
						灰褐	100	4	0														
							100	4	0														
						CL'	100	4	0														
							100	4	0														
						D'	100	1	0														
							100	1	0														
						CL'	100	3	0														

6-7-4-1050

第7.4.4.178図(2) D-1破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図(H24-D1-1孔)

H24-D1-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 最大コア長 R Q D [cm]	記事		
		40		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	17	17		<p>32.38~42.23m ・割れ目が多く、砂~短柱状を呈する。</p> <p>●45.91~48.28m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・明赤灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN1° E58° Wである。</p> <p>●49.20~49.91m ・破砕部である。 ・西上がりセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN9° W74° Eである。</p> <p>●53.77~54.54m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・浅黄橙色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN20° E77° Eである。</p> <p>●58.96~59.30m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・にぶい橙色の未固結粘土状部：累計幅1.4cm ・走向・傾斜はN8° E78° Wである。</p>		
					にぶい褐		100	6	0	0		0	
					灰白		100	22	22	0		0	
					明褐灰	100	9	0	0	0			
					明黄褐	100	9	0	0	0			
					明褐灰	100	5	0	0	0			
					明黄褐	100	4	0	0	0			
					明黄褐	100	10	10	0	0			
					明褐灰	100	4	0	0	0			
					明褐灰	100	5	0	0	0			
					明褐灰	100	15	27	0	0			
					明褐灰	100	8	0	0	0			
					明褐灰	100	8	0	0	0			
					にぶい橙	100	3	0	0	0			
					にぶい橙	100	2	0	0	0			
					明黄褐	100	1	0	0	0			
					明黄褐	100	1	0	0	0			
					明褐灰	100	2	0	0	0			
					明褐灰	100	2	0	0	0			
			にぶい橙	100	5	0	0	0					
			灰褐	100	4	0	0	0					
			灰褐	100	2	0	0	0					
			にぶい黄橙	100	2	0	0	0					
			にぶい黄橙	100	4	0	0	0					
			灰褐	100	4	0	0	0					
			灰褐	100	4	0	0	0					
			明褐灰	100	2	0	0	0					
			明褐灰	100	1	0	0	0					
			橙	100	4	0	0	0					
			明褐灰	100	4	0	0	0					

3-59~3-61(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

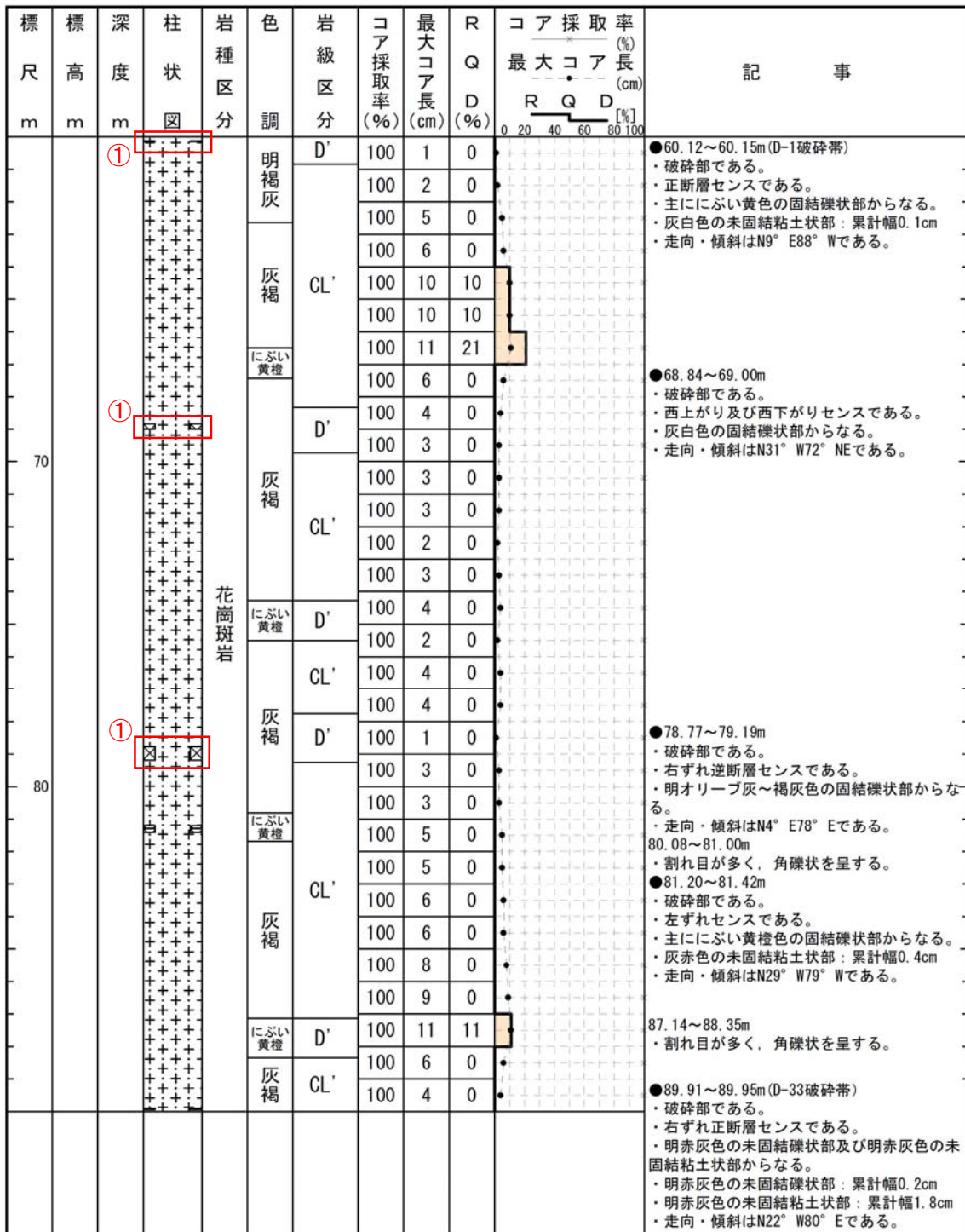
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	15	27	0	20	80	<ul style="list-style-type: none"> ●45.91~48.28m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明褐灰~明黄褐色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい赤橙~明黄褐~にぶい黄褐色粘土：累計厚34mm ・走向・傾斜はN1° E58° Wである。 ●49.20~49.91m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・明褐~明黄褐色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・明褐~明黄褐色粘土：累計厚10mm。 ・走向・傾斜はN9° W74° Eである。 ●53.77~54.54m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・にぶい橙~にぶい黄橙~灰黄色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐~淡黄橙~黄褐~浅黄橙色粘土：累計厚52mm ・走向・傾斜はN20° E77° Eである。 ●58.96~59.30m ・破砕部である。 ・明褐灰~淡黄~浅黄褐色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・明赤灰~褐灰~にぶい橙色粘土：累計厚30mm ・走向・傾斜はN8° E78° Wである。 ●60.12~60.15m(D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである ・浅黄橙~にぶい黄褐色の礫混じり粘土状を呈する。 ・浅黄橙~にぶい黄褐色粘土：累計厚23mm ・走向・傾斜はN9° E88° Wである。 ●68.84~69.00m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・浅黄橙~灰白色の粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・にぶい黄橙~暗褐色粘土：累計厚16mm ・走向・傾斜はN31° W72° NEである。 ●78.77~79.19m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明オリブ灰~赤灰色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・灰赤色粘土：累計厚3mm ・走向・傾斜はN4° E78° Eである。 	
						にぶい橙	D'	100	8	0	0	0		100
					明黄褐	D'	CL'	100	8	0	0	0		100
					明褐灰	D'	CL'	100	3	0	0	0		100
					にぶい橙	D'	CL'	100	2	0	0	0		100
					明褐灰	D'	CL'	100	1	0	0	0		100
					にぶい黄橙	D'	CL'	100	1	0	0	0		100
					明褐灰	D'	CL'	100	2	0	0	0		100
					にぶい黄橙	D'	CL'	100	5	0	0	0		100
					明褐灰	D'	CL'	100	4	0	0	0		100
					にぶい黄橙	D'	CL'	100	2	0	0	0		100
					明褐灰	D'	CL'	100	2	0	0	0		100
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	2	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	5	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	6	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	10	10	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	10	10	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	11	21	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	6	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	2	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	4	0	0	0	100		
				明褐灰	D'	CL'	100	1	0	0	0	100		
				にぶい黄橙	D'	CL'	100	3	0	0	0	100		

6-7-4-1050

第7.4.4.178図(2) D-1破砕帯 ボーリング調査結果(2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図(H24-D1-1孔)

H24-D1-1

柱状図(60.00m~90.00m)



3-62~3-64(分類d)①

記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	記事
90	-50.46	100.00		花崗斑岩	灰褐	CL'	100	3	0		80.08~81.00m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●81.20~81.42m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・にぶい黄橙~浅黄橙色の粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・灰赤~淡赤橙色粘土：累計厚4mm ・走向・傾斜はN29° W79° Wである。
					にぶい黄橙		100	5	0		
					灰褐		100	5	0		
					灰褐		100	6	0		
					灰褐		100	6	0		
					灰褐		100	8	0		
					灰褐		100	9	0		
					にぶい黄橙	D'	100	11	11		87.14~88.35m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
					灰褐	CL'	100	6	0		●89.91~89.95m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・明赤灰色の礫混じり粘土状を呈する。 ・明赤灰色粘土：累計厚35mm ・走向・傾斜はN22° W80° Eである。
					灰	D'	100	4	0		
					灰褐	CL'	100	4	0		●90.26~90.84m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。
					灰褐	D'	100	3	0		
					灰褐	CL'	100	4	0		・にぶい黄橙~灰白色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・赤灰色粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN53° W80° NEである。
					灰褐	D'	100	3	0		
					灰褐	CL'	100	5	0		
											CL'
					灰黄褐	100	4	0			
					灰褐	100	5	0	・にぶい黄橙~浅黄橙色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・赤灰色粘土：累計厚15mm ・走向・傾斜はN31° E83° SEである。 ●93.12~93.24m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。		
									・灰黄~灰白~にぶい黄橙色の粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・灰赤~明赤灰色粘土：累計厚5mm ・走向・傾斜はN11° E83° Eである。		
									95.23~99.46m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●99.68~99.71m ・破砕部である。 ・正断層センスが推定される。 ・灰白~にぶい黄橙色の礫混じり粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・灰赤~にぶい黄橙色粘土：累計厚8mm ・傾斜は65° である。		

6-7-4-1051

第7.4.4.178図 (3) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H24-D1-1孔)

H24-D1-1

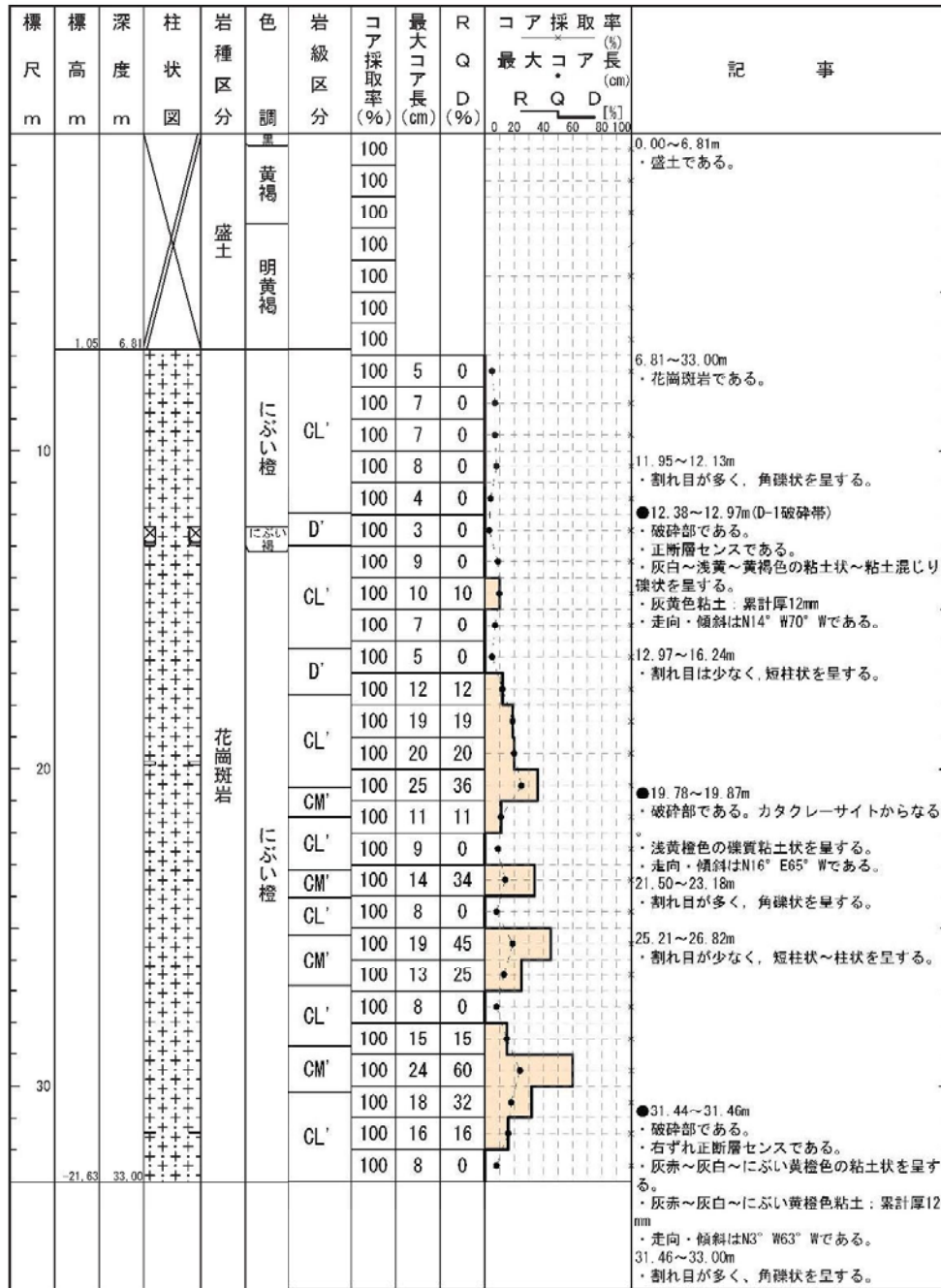
柱状図(90.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)	
		①		花崗斑岩	灰褐	CL'	100	4	0		<ul style="list-style-type: none"> ●90.26~90.84m(f-d1-1-10破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・赤灰色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN53° W80° NEである。 ●91.26~91.52m(f-d1-1-11破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・赤灰色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN31° E83° SEである。 ●93.12~93.24m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN11° E83° Eである。 	
		①			灰褐	D'	100	3	0			
		①			褐灰	D'	100	1	0			
		①			灰褐	CL'	100	4	0			
		①			灰褐	D'	100	3	0			
		①			灰褐	D'	100	5	0			
		①			灰褐	D'	100	5	0			
		①			灰黄褐	CL'	100	3	0			
		①			灰褐	D'	100	4	0			
		①			灰褐	D'	100	5	0			
											<ul style="list-style-type: none"> 95.23~99.46m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●99.68~99.71m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.8cm ・上端境界の傾斜は65°である。 	

3-65~3-68(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-D1-2

孔口標高	T.P.	6.95m	掘削長	33.00m
------	------	-------	-----	--------



6-7-4-1015

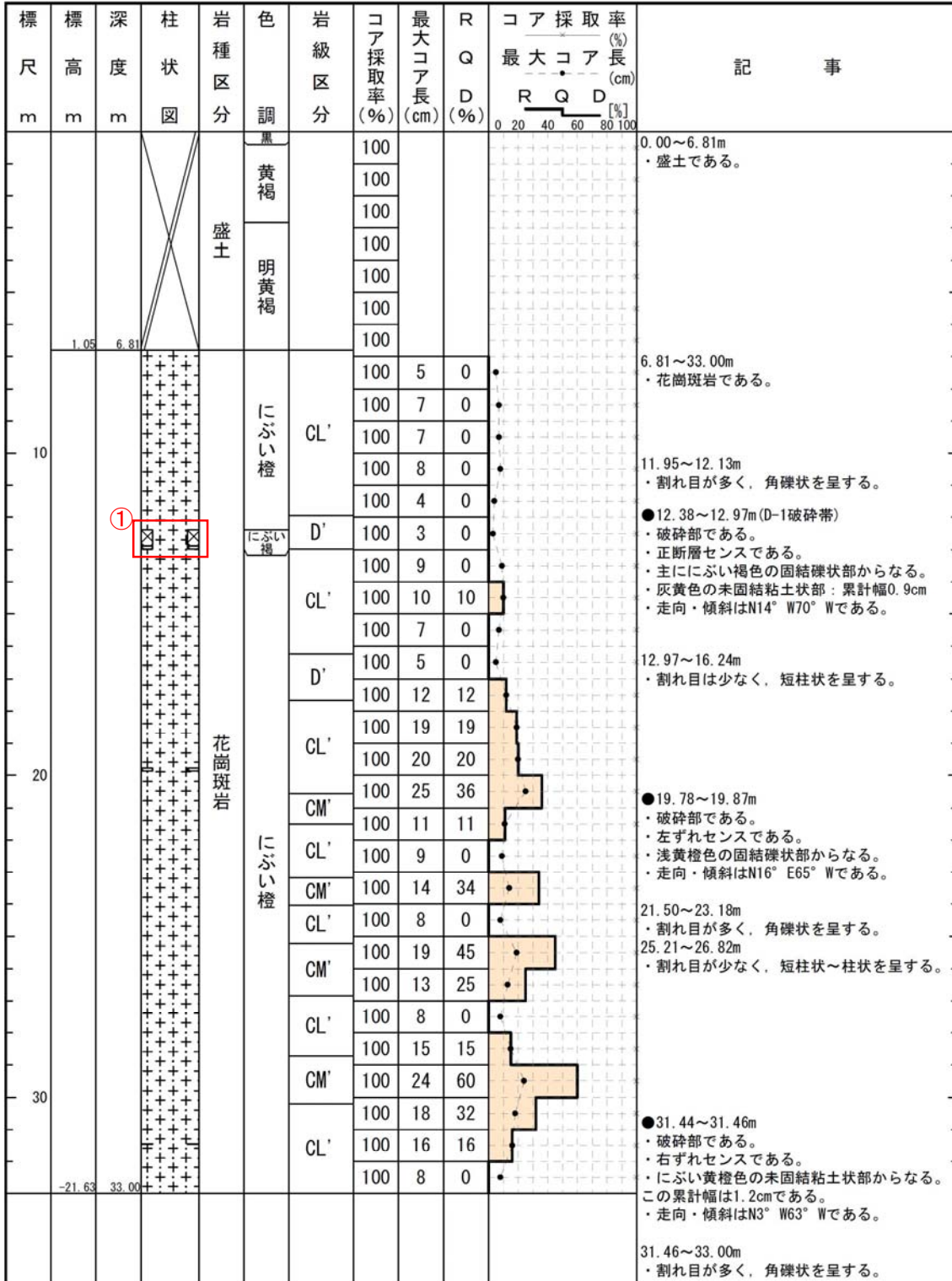
第7.4.4.168図 D-1 破碎帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H24-D1-2孔)

H24-D1-2

柱状図(0.00m~33.00m)

H24-D1-2

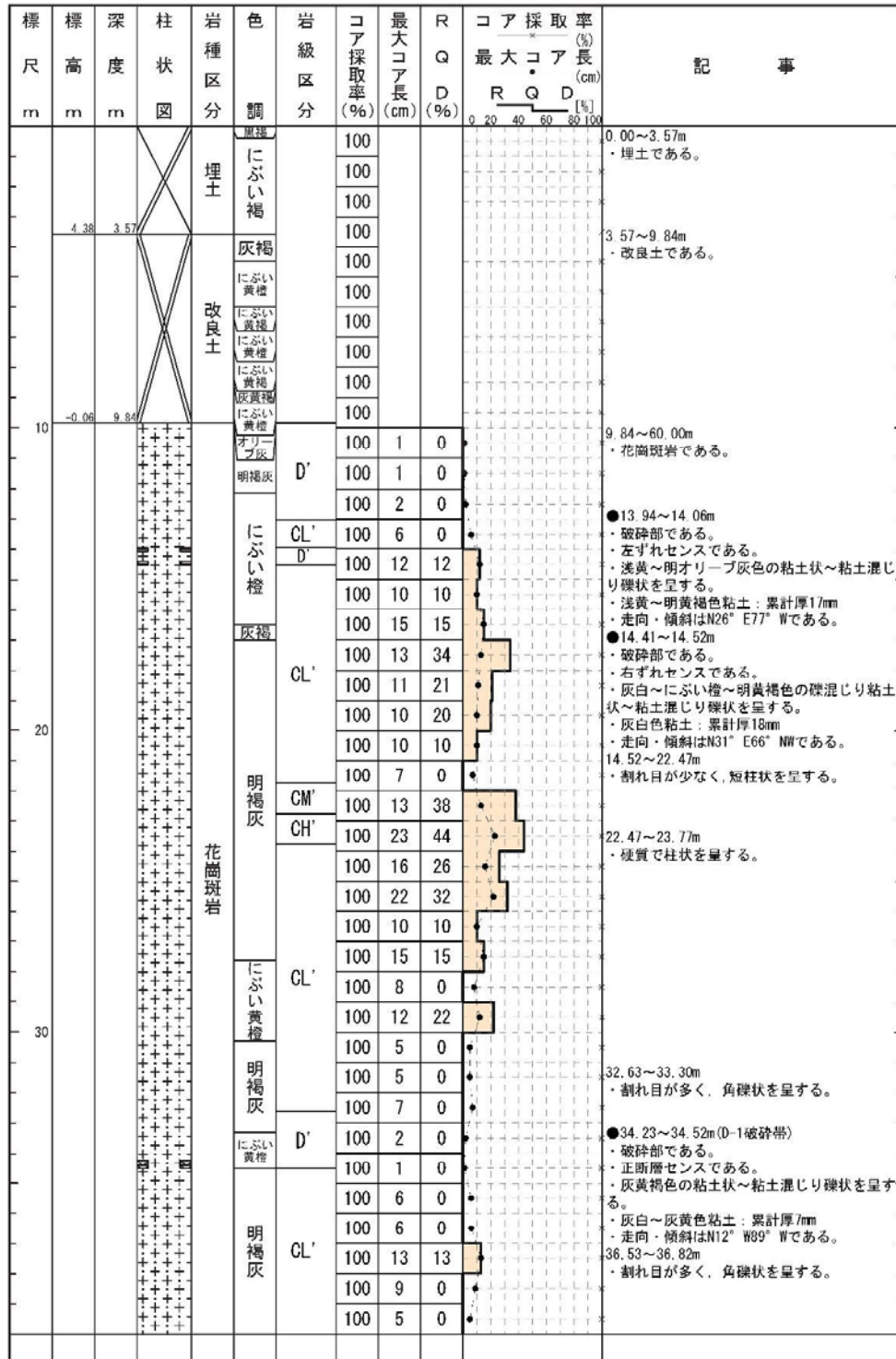
孔 口 標 高	T.P.	6.95m	掘 削 長	33.00m
---------	------	-------	-------	--------



3-69(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-D1-3

孔口標高	T.P.	6.90m	掘削長	60.00m
------	------	-------	-----	--------



6-7-4-1016

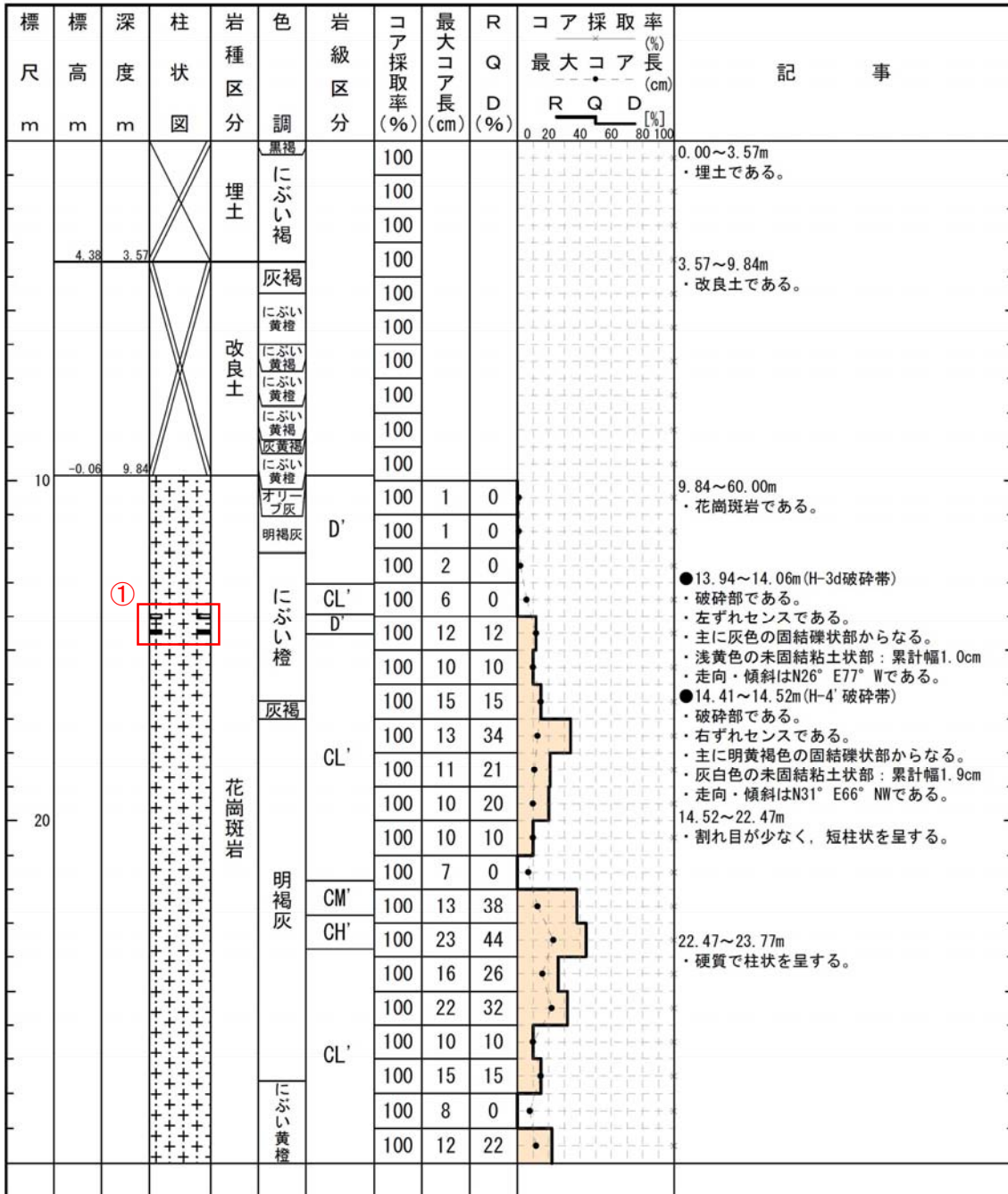
第7.4.4.169図 (1) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H24-D1-3孔)

H24-D1-3

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-D1-3

孔 口 標 高	T. P.	6.90m	掘 削 長	60.00m
---------	-------	-------	-------	--------



3-70(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事				
		50		花崗斑岩	明褐色	CL'	100	7	0		<p>●52.13～52.28m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰褐色～灰白～明褐色の粘土状～粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい橙～明赤灰色粘土：累計厚5mm ・走向・傾斜はN7° E70° Wである。</p> <p>●56.88～57.24m ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・明褐色の粘土状～粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい赤橙色粘土：累計厚0mm ・走向・傾斜はN2° E89° Wである。</p> <p>58.29～58.53m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。</p>				
													100	13	13
													100	8	0
													100	12	12
													100	11	11
													100	10	10
													100	8	0
													100	8	0
													100	5	0
												CM'	100	7	0
													100	6	0
												CL'	100	5	0
													100	4	0
												CL'	100	6	0
												CM'	100	5	0
													100	6	0
													100	4	0
												CL'	100	3	0
							100	5	0						
						明褐色	100	6	0						

6-7-4-1017

第7.4.4.169図(2) D-1 破碎帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H24-D1-3孔)

H24-D1-3

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]	
40			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	5	0	● 32.63~33.30m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ● 34.23~34.52m (D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に黒褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄色の未固結粘土状部：累計幅0.8cm ・走向・傾斜はN12° W89° Wである。 36.53~36.82m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。		
							D'	100	2	0			
						明 褐 灰	CL'	100	6	0			
							CL'	100	6	0			
							CL'	100	13	13			
							CL'	100	9	0			
							CL'	100	5	0			
							CL'	100	7	0			
							CL'	100	13	13			
							CL'	100	8	0			
							CL'	100	12	12			
							CL'	100	11	11			
						にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	8		0	
								CM'	100	8		0	
						にぶい 褐	明 褐 灰	CL'	100	5		0	
								CL'	100	6		0	
						にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	5		0	
								CM'	100	5		0	
						にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	6		0	
								CL'	100	4		0	
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	6	0								
		CM'	100	5	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	6	0								
		CL'	100	4	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	5	0								
		CM'	100	5	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	6	0								
		CL'	100	3	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	4	0								
		CM'	100	5	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CL'	100	3	0								
		CL'	100	5	0								
にぶい 黄橙	明 褐 灰	CM'	100	6	0								
		CM'	100	6	0								

3-71, 3-72(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H27-B-1

孔口標高	T.P. 20.22m	掘削長	140.00m
------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
				盛土	にぶい黄褐色		100						0.00~4.10m ・盛土である。
				明褐灰	にぶい黄褐色		100						
				砂礫	にぶい黄褐色		100						4.10~4.30m ・砂礫である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						4.30~4.65m ・礫混じり砂である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						4.65~6.80m ・砂礫である。
				明褐灰	にぶい黄褐色		100						6.80~7.15m ・最大径200mmの礫を含む。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						7.15~7.30m ・礫混じり砂である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						7.30~8.60m ・有機質土である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						8.60~12.10m ・分解途中の有機物を多く含む。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						12.10~12.49m ・砂である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						12.49~94.07m ・少量のさくり礫を含む。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						12.49~14.84m ・花崗斑岩である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						14.84~17.44m ・強風化部である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						17.44m ・割れ目沿いに、幅10~40mm砂状化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						21.16~22.01m ・割れ目沿いに、一部幅10~30mm砂状化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						23.05~23.80m ・割れ目の交差部で、一部細片状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						24.44~24.71m ・土砂状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						27.10~27.60m ・砂礫状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						28.84~30.74m ・縮まった砂礫状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						31.05~31.23m ・変質し、白色粘土化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						31.70~32.20m ・割れ目沿いに砂状化し、砂混じり岩片状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						33.40m ・割れ目沿いに幅20mm砂状化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						34.54~34.59m ・破碎部である。カタクレーサイトからなる。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						・にぶい黄褐色の粘土混り角礫状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						・灰黄褐色砂混じり粘土：累計厚4mm
				砂礫	にぶい黄褐色		100						・走向・傾斜はN25° E46° Wである。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						・傾斜は11°である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						・上盤境界の傾斜は10°~40°、下盤境界の傾斜は11°である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						35.37~37.15m ・著しく軟質化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						37.80m ・割れ目沿いに、幅10~20mm砂状化している。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。

6-7-4-1052

第7.4.4.179図 (1) D-1 破碎帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

H27-B-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-B-1

孔口標高	T.P.	20.22m	掘削長	140.00m
------	------	--------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				盛土	にぶい黄褐		100						0.00~4.10m ・盛土である。
				明褐灰	明褐灰		100						
				砂礫	黄褐		100						4.10~4.30m ・砂礫である。
				砂礫	にぶい黄褐		100						4.30~4.65m ・砂礫混じり砂である。
				砂礫	灰褐		100						4.65~6.80m ・砂礫である。
				砂礫	明褐灰		100						6.80~7.15m ・最大径200mmの礫を含む。
				砂礫	黒褐		100						7.15~7.30m ・砂礫混じり砂である。
				砂礫	にぶい黄褐		100						7.30~8.60m ・有機質土である。
				砂礫	灰黄褐		100						8.60~12.10m ・砂礫である。
				砂礫	明黄褐		100						12.10~12.49m ・少量のくさり礫を含む。
				砂礫	灰黄褐		100						12.49~14.84m ・花崗斑岩である。
				砂礫	にぶい黄褐		100						14.84~21.16m ・強風化部である。
				砂礫	明褐		100						21.16~22.01m ・土砂状を呈するが、原岩組織は残っている。
				砂礫	にぶい黄褐		100						22.01~23.05m ・灰白色の粘土脈を挟み、脆弱である。
				砂礫	明褐		100						23.05~23.80m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐		100						23.80~24.44m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。
				砂礫	明褐		100						24.44~27.10m ・割れ目の交差部で、一部細片状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐		100						27.10~27.60m ・土砂状を呈する。
				砂礫	明褐		100						27.60~28.84m ・砂礫状を呈する。
				砂礫	にぶい黄褐		100						28.84~30.74m ・締まった砂礫状を呈する。

3-73~3-75(分類c)①
表現を統一したため。

H27-B-1

孔口標高	T.P. 20.22m	掘削長	140.00m
------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				盛土	にぶい黄褐色		100						0.00~4.10m ・盛土である。
				明褐灰	明褐灰		100						
				砂礫	砂礫		100						4.10~4.30m ・砂礫である。
				砂礫	にぶい黄褐色		100						4.30~4.65m ・礫混じり砂である。
				砂礫	灰褐色		100						4.65~6.80m ・砂礫である。
				明褐灰	明褐灰		100						6.80~7.15m ・最大径200mmの礫を含む。
				有機質土	にぶい黄褐色		100						7.15~7.30m ・礫混じり砂である。
				砂礫	砂礫		100						7.30~8.60m ・有機質土である。
				砂礫	砂礫		100						8.60~12.10m ・分解途中の有機物を多く含む。
				砂礫	砂礫		100						7.30~8.60m ・礫混じり砂である。
				砂礫	砂礫		100						8.60~12.10m ・砂礫である。
				砂礫	砂礫	D'	100	1	0				12.10~12.49m ・一部有機質土の薄層を挟む。
				砂礫	砂礫	D'	100	1	0				12.10~12.49m ・砂である。
				砂礫	砂礫	D'	100	11	11				12.49~94.07m ・少量のくさり礫を含む。
				砂礫	砂礫	D'	100	2	0				12.49~14.84m ・花崗斑岩である。
				砂礫	砂礫	D'	100	8	0				14.84~21.16m ・強風化部である。
				砂礫	砂礫	D'	100	10	10				21.16~22.01m ・土砂状を呈するが、岩組織は残っている。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				22.01~23.05m ・灰白色の粘土脈を挟み、脆弱である。
				砂礫	砂礫	D'	100	14	14				23.05~23.80m ・割れ目沿いに、幅10~40mm砂状化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	7	0				23.80~24.44m ・割れ目沿いに、一部幅10~30mm砂状化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	14	14				24.44~24.71m ・割れ目の交差部で、一部細片状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	3	0				24.71~27.10m ・土砂状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	5	0				27.10~27.60m ・砂礫状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	9	0				27.60~28.84m ・砂礫状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	6	0				28.84~30.74m ・縮まった砂礫状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	9	0				30.74~31.05m ・縮まった砂礫状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	3	0				31.05~31.23m ・変質し、白色粘土化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				31.23~31.70m ・変質し、白色粘土化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	6	0				31.70~32.20m ・割れ目沿いに砂状化し、砂混じり岩片状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	14	14				32.20~33.40m ・割れ目沿いに幅20mm砂状化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				33.40~34.54m ・上盤境界の傾斜は10°~40°、下盤境界の傾斜は11°である。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				34.54~35.37m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。
				砂礫	砂礫	D'	100	9	0				35.37~37.80m ・にぶい黄褐色の粘土混り角礫状を呈する。
				砂礫	砂礫	D'	100	7	0				37.80~40.32m ・灰黄褐色砂混じり粘土：累計厚4mm ・走向・傾斜はN25°E46°Wである。
				砂礫	砂礫	D'	100	5	0				40.32~40.77m ・傾斜は11°である。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				40.77~40.82m ・上盤境界の傾斜は10°~40°、下盤境界の傾斜は11°である。
				砂礫	砂礫	D'	100	7	0				40.82~37.15m ・著しく軟質化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				37.15~37.80m ・割れ目沿いに、幅10~20mm砂状化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				37.80~40.32m ・割れ目沿いに、幅10~20mm砂状化している。
				砂礫	砂礫	D'	100	4	0				40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。

6-7-4-1052

第7.4.4.179図 (1) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]	
				花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0				31.05~31.23m ・変質している。 ・白色粘土状を呈する。 31.70~32.20m ・割れ目沿いに砂状を呈し、砂混じり岩片状を呈する。 33.40m ・割れ目沿いに幅20mm砂状を呈する。 ●34.54~34.59m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.4cm ・走向・傾斜はN25° E46° Wである。 ・上端境界の傾斜は10°~40°、下端境界の傾斜は11°である。 35.37~37.15m ・著しく軟質化している。 37.80m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。 40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。 42.24~42.28m ・変質している。 ・淡黄色粘土状を呈する。 ●42.41~42.49m ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN65° W36° NEである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は18°である。 ●44.24~44.53m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN1° E89° Wである。 ・上端境界の傾斜は5°~13°、下端境界の傾斜は70°である。 ●44.53~44.83m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はNS66° Eである。 ・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は75°~85°である。 ●45.36~45.39m ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN43° E70° SEである。 ・上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は65°である。 ●46.12~46.17m ・破碎部である。 ・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN14° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は35°~70°である。
					にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
					明褐灰	D'	100	6	0				
					明褐灰	CL'	100	14	14				
					にぶい黄橙	D'	100	4	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	4	0				
					明褐灰	D'	100	9	0				
					明褐灰	D'	100	7	0				
					明褐灰	CL'	100	5	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
					明褐灰	CL'	100	8	0				
					にぶい橙	D'	100	4	0				
					にぶい黄橙	D'	100	2	0				
					にぶい黄橙	D'	100	2	0				
					灰褐	D'	100	1	0				
					灰褐	D'	100	1	0				
					にぶい橙	D'	100	1	0				
					淡黄	D'	100	1	0				
					にぶい褐	CL'	100	2	0				
					にぶい黄橙	D'	100	4	0				
				にぶい黄橙	CL'	100	6	0					
				にぶい橙	D'	100	5	0					
				灰褐	CL'	100	2	0					
				にぶい橙	D'	100	4	0					
				にぶい橙	CL'	100	3	0					
				にぶい橙	D'	100	7	0					
				にぶい橙	D'	100	5	0					
				にぶい橙	CL'	100	6	0					
				にぶい橙	D'	100	5	0					
				にぶい橙	CL'	100	2	0					

3-76(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
50						明褐色	CL'	100	8	0				40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。 42.24~42.28m ・変質し、淡黄色粘土化している。 ●42.41~42.49m ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・にぶい黄褐色の礫混り粘土状~灰白色の礫質粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐色礫混り粘土：累計厚15mm ・走向・傾斜はN65°W36°Nである。 ・傾斜は54°である。 ・上盤境界の傾斜は63°、下盤境界の傾斜は18°である。 ●44.24~44.53m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰黄褐色の粘土状~灰黄~灰褐~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰黄褐色粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN1°E89°Wである。 ・傾斜は35°である。 ・上盤境界の傾斜は5°~13°、下盤境界の傾斜は70°である。 ●44.53~44.83m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰黄褐色の粘土状~明赤灰~灰白色の礫質粘土状~にぶい橙~灰白~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰黄褐色粘土：累計厚5mm ・走向・傾斜はNS66°Eである。 ・傾斜は65°である。 ・上盤境界の傾斜は70°、下盤境界の傾斜は75°~85°である。 ●45.36~45.39m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰褐色の砂質粘土状~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色砂質粘土：2mm ・走向・傾斜はN43°E70°Eである。 ・傾斜は65°である。 ・上盤境界の傾斜は62°、下盤境界の傾斜は65°である。 ●46.12~46.17m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・黒褐色の礫混じり粘土状~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・黒褐色礫混じり粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN14°E79°Wである。 ・傾斜は35°~70°である。 ・上盤境界の傾斜は31°、下盤境界の傾斜は35°~70°である。 ●47.40~47.51m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の粘土状~黄褐色の礫質粘土状を呈する。 ・灰褐色粘土：2mm ・走向・傾斜はN21°E84°Eである。 ・傾斜は58°である。 ・上盤境界の傾斜は58°、下盤境界の傾斜は65°である。 ●49.17~49.20m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・明黄褐色の砂混じり粘土状~灰白~明黄褐色の礫質粘土~粘土混じり礫状を呈する。 ・明黄褐色砂混じり粘土：累計厚15mm ・走向・傾斜はN47°E45°Wである。 ・傾斜は30°~36°である。 ・上盤境界の傾斜は25°、下盤境界の傾斜は23°である。
						にぶい橙	CL'	100	4	0				
						にぶい黄橙		100	2	0				
						にぶい橙		100	2	0				
						灰褐	D'	100	1	0				
						灰白		100	1	0				
						灰褐		100	1	0				
						にぶい橙		100	1	0				
						淡黄		100	2	0				
						にぶい橙		100	2	0				
						黄橙	CL'	100	1	0				
						にぶい黄橙	D'	100	4	0				
						にぶい橙	CL'	100	6	0				
						にぶい橙		100	5	0				
						灰褐	D'	100	2	0				
						灰褐	CL'	100	4	0				
						にぶい橙	CL'	100	3	0				
						にぶい橙		100	7	0				
						にぶい橙		100	5	0				
						にぶい橙	CL'	100	6	0				
にぶい橙		100	5	0										
にぶい橙	D'	100	2	0										
にぶい橙	CL'	100	8	0										
にぶい橙	CH	100	13	13										
にぶい橙	CM'	100	10	10										
にぶい橙		100	10	10										
にぶい橙	CM'	100	16	16										
にぶい橙		100	10	10										
にぶい橙	CL'	100	9	0										
にぶい橙	D'	100	9	0										
にぶい橙	CM	100	9	0										
にぶい橙		100	12	12										
にぶい橙		100	3	0										
にぶい橙	D'	100	10	10										
にぶい橙	CL'	100	9	0										
にぶい橙		100	6	0										
にぶい橙	灰褐	100	8	0										
にぶい橙	CM	100	6	0										
にぶい橙	D'	100	3	0										
にぶい橙		100	4	0										
にぶい橙	D'	100	5	0										
にぶい橙	CL'	100	5	0										
にぶい橙	D'	100	5	0										
にぶい黄橙	CL'	100	7	0										
にぶい橙	灰褐													
にぶい橙														
にぶい橙	灰褐													

6-7-4-1053

第7.4.4.179図 (2) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										R	Q	D	
					明褐灰	D'	100	4	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
					明褐灰	D'	100	6	0				
					明褐灰	CL'	100	14	14				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	4	0				
					明褐灰	D'	100	9	0				
					明褐灰	D'	100	7	0				
					明褐灰	CL'	100	5	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
					明褐灰	CL'	100	8	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	4	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	2	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	2	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	1	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	1	0				
					黄褐色にぶい黄橙	D'	100	1	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	2	0				
					黄褐色にぶい黄橙	D'	100	4	0				
					黄褐色にぶい黄橙	CL'	100	6	0				
					黄褐色にぶい黄橙	D'	100	5	0				
					灰褐色にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	7	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	5	0				
					灰褐色にぶい黄橙	CL'	100	7	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	3	0				
					灰褐色にぶい黄橙	CL'	100	5	0				
					灰褐色にぶい黄橙	D'	100	2	0				
					花崗斑岩	CL'							

3-77~3-80(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
50			+	花崗斑岩	明褐色	CL'	100	8	0				40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。
					にぶい橙	CL'	100	4	0			42.24~42.28m ・変質し、淡黄色粘土化している。	
					にぶい黄橙		100	2	0			●42.41~42.49m ・破砕部である。	
					にぶい橙		100	2	0			・右ずれ正断層センスである。	
					灰褐 灰白 灰褐	D'	100	1	0			・にぶい黄褐色の礫混り粘土状~灰白色の礫質粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。	
					にぶい橙		100	1	0			・にぶい黄褐色礫混り粘土：累計厚15mm	
					淡黄		100	1	0			・走向・傾斜はN65°W36°Nである。	
					にぶい橙		100	2	0			・傾斜は54°である。	
					黄橙	CL'	100	1	0			・上盤境界の傾斜は63°、下盤境界の傾斜は18°である。	
					にぶい黄橙	D'	100	4	0			●44.24~44.53m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。	
					にぶい橙	CL'	100	6	0			・灰黄褐色の粘土状~灰黄~灰褐~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。	
					にぶい橙		100	5	0			・灰黄褐色粘土：累計厚2mm	
					灰褐	D'	100	2	0			・走向・傾斜はN1°E89°Wである。	
					CL'		100	4	0			・傾斜は35°である。	
					にぶい橙	CL'	100	3	0			・上盤境界の傾斜は5°~13°、下盤境界の傾斜は70°である。	
					にぶい橙		100	7	0			●44.53~44.83m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。	
					にぶい橙		100	5	0			・灰黄褐色の粘土状~明赤灰~灰白色の礫質粘土状~にぶい橙~灰白~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。	
					にぶい橙	CL'	100	6	0			・灰黄褐色粘土：累計厚5mm	
					にぶい橙	D'	100	2	0			・走向・傾斜はNS66°Eである。	
					60			+	花崗斑岩	にぶい橙	CL'	100	8
にぶい橙	CL'	100	13	13								・上盤境界の傾斜は70°、下盤境界の傾斜は75°~85°である。	
にぶい橙	CM'	100	10	10								●45.36~45.39m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。	
にぶい橙		100	10	10								・灰褐色の砂質粘土状~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。	
にぶい橙	CM'	100	10	10								・灰褐色砂質粘土：2mm	
にぶい橙		100	16	16								・走向・傾斜はN43°E70°Eである。	
にぶい橙	CM'	100	10	10								・傾斜は65°である。	
にぶい橙		100	9	0								・上盤境界の傾斜は62°、下盤境界の傾斜は65°である。	
にぶい橙	CL'	100	9	0								●46.12~46.17m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。	
にぶい橙	CM'	100	12	12								・黒褐色の礫混じり粘土状~淡黄色の粘土混じり礫状を呈する。	
70			+	花崗斑岩	にぶい橙		100	3	0			・黒褐色礫混じり粘土：累計厚10mm	
					にぶい橙		100	10	10			・走向・傾斜はN14°E79°Wである。	
					にぶい橙		100	9	0			・傾斜は35°~70°である。	
					にぶい橙	CL'	100	6	0			・上盤境界の傾斜は31°、下盤境界の傾斜は35°~70°である。	
					にぶい橙		100	9	0			●47.40~47.51m ・破砕部である。	
					にぶい橙		100	8	0			・正断層センスである。	
					にぶい黄橙	CM'	100	6	0			・灰褐色の粘土状~黄褐色の礫質粘土状を呈する。	
					にぶい黄橙	D'	100	3	0			・灰褐色粘土：2mm	
					にぶい黄橙		100	4	0			・走向・傾斜はN21°E84°Eである。	
					にぶい黄橙	D'	100	5	0			・傾斜は58°である。	
			+	花崗斑岩	にぶい黄橙	CL'	100	5	0			・上盤境界の傾斜は58°、下盤境界の傾斜は65°である。	
					にぶい黄橙		100	5	0			●49.17~49.20m ・破砕部である。	
					にぶい黄橙		100	7	0			・右ずれセンスである。	
					にぶい黄橙		100	7	0			・明黄褐色の砂混じり粘土状~灰白~明黄褐色の礫質粘土~粘土混じり礫状を呈する。	
					にぶい黄橙		100	7	0			・明黄褐色砂混じり粘土：累計厚15mm	
					にぶい黄橙		100	7	0			・走向・傾斜はN47°E45°Wである。	
					にぶい黄橙		100	7	0			・傾斜は30°~36°である。	
					にぶい黄橙		100	7	0			・上盤境界の傾斜は25°、下盤境界の傾斜は23°である。	

6-7-4-1053

第7.4.4.179図 (2) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
		40		花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0			<ul style="list-style-type: none"> ●47.40~47.51m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・黄褐色の固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN21° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は58°、下端境界の傾斜は55°である。 ●49.17~49.22m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明黄褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN47° E45° Wである。 ・上端境界の傾斜は25°、下端境界の傾斜は23°である。 ●52.72~52.81m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は0.2cmである。 ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・上端境界の傾斜は29°、下端境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m (D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・上端境界の傾斜は22°、下端境界の傾斜は28°である。 60.99~63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 63.61~64.00m ・砂礫状を呈する。 64.33~66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。 67.80~67.93m ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN25° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は55°、下端境界の傾斜は57°である。 	
		50			にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
					明褐灰	D'	100	6	0				
					明褐灰	CL'	100	14	14				
					にぶい黄橙	D'	100	4	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	4	0				
					明褐灰	D'	100	9	0				
					明褐灰	D'	100	7	0				
					明褐灰	CL'	100	5	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
					明褐灰	D'	100	8	0				
					にぶい黄橙	D'	100	4	0				
					にぶい黄橙	D'	100	2	0				
					にぶい黄橙	D'	100	2	0				
					灰褐 灰白 灰褐	D'	100	1	0				
					にぶい黄橙	D'	100	1	0				
					淡黄	D'	100	1	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	2	0				
					にぶい黄橙	D'	100	1	0				
					にぶい黄橙	D'	100	4	0				
			にぶい黄橙	CL'	100	6	0						
			にぶい黄橙	D'	100	5	0						
			灰褐	D'	100	2	0						
			にぶい黄橙	CL'	100	4	0						
			にぶい黄橙	CL'	100	3	0						
			にぶい黄橙	D'	100	7	0						
			にぶい黄橙	D'	100	5	0						
			にぶい黄橙	CL'	100	6	0						
			にぶい黄橙	D'	100	5	0						
			にぶい黄橙	CL'	100	2	0						

3-81(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				花崗斑岩	明褐色	CL'	100	8	0				<ul style="list-style-type: none"> ●52.72~52.81m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の礫混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰白色礫混じり粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・傾斜は14°である。 ・上盤境界の傾斜は56°、下盤境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の砂混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色砂混じり粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・傾斜は29°である。 ・上盤境界の傾斜は29°、下盤境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m ・破砕部である。(D-1破砕帯) ・正断層センスである。 ・灰褐色~灰白色の粘土状~にぶい褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色~灰白色粘土：7mm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・傾斜は28°である。 ・上盤境界の傾斜は22°、下盤境界の傾斜は28°である。 60.99~63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 63.61~64.00m ・砂礫状を呈する。 64.33~66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。 67.80~67.93m ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・にぶい黄褐色の粘土状~灰黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐色粘土：累計厚1mm ・走向・傾斜はN25° E82° W ・傾斜は55°である。 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は57°である。 73.35~73.38m ・幅25~40mmで締まった砂状を呈する。 ●74.36~74.50m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の礫質粘土状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚7mm ・走向・傾斜はN15° E87° W ・傾斜は30°である。 ・上盤境界の傾斜は27°、下盤境界の傾斜は30°である。 ●75.57~76.00m ・破砕部である。 ・灰褐色の礫混じり粘土~明褐色~灰褐色の礫質粘土状~灰褐色~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色礫混じり粘土：累計厚12mm ・傾斜は68°である。 ・上盤境界の傾斜は25°である。 ●78.72~78.87m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN17° E71° E ・傾斜は60°である。 ・上盤境界の傾斜は31°、下盤境界の傾斜は60°である。
					にぶい橙	CL'	100	4	0				
						にぶい黄緑	D'	100	2	0			
						灰褐色	D'	100	1	0			
						にぶい橙	D'	100	1	0			
						硬質	CL'	100	2	0			
						黄緑	D'	100	1	0			
						にぶい黄緑	CL'	100	4	0			
						にぶい橙	CL'	100	6	0			
						にぶい橙	D'	100	5	0			
						灰褐色	CL'	100	4	0			
						にぶい橙	CL'	100	3	0			
						にぶい橙	D'	100	7	0			
						にぶい橙	D'	100	5	0			
						にぶい橙	CL'	100	6	0			
						にぶい橙	D'	100	2	0			
						硬質	CH	100	13	13			
						にぶい橙	CM'	100	10	10			
						にぶい橙	CM'	100	10	10			
						にぶい橙	CL'	100	16	16			
						硬質	CM'	100	10	10			
						硬質	CM'	100	12	12			
						硬質	CM'	100	3	0			
						硬質	CL'	100	10	10			
						硬質	CL'	100	9	0			
						硬質	CL'	100	6	0			
						硬質	CL'	100	8	0			
						硬質	CL'	100	6	0			
					硬質	D'	100	3	0				
					硬質	D'	100	4	0				
					硬質	D'	100	5	0				
					硬質	D'	100	5	0				
					硬質	CL'	100	7	0				

6-7-4-1054

第7.4.4.179図 (3) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
				花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0			<ul style="list-style-type: none"> ●47.40~47.51m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・黄褐色の固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN21° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は58°，下端境界の傾斜は55°である。 ●49.17~49.22m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明黄褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN47° E45° Wである。 ・上端境界の傾斜は25°，下端境界の傾斜は23°である。 ●52.72~52.81m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は56°，下端境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は0.2cmである。 ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・上端境界の傾斜は29°，下端境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m (D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・上端境界の傾斜は22°，下端境界の傾斜は28°である。 60.99~63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 63.61~64.00m ・砂礫状を呈する。 64.33~66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。 67.80~67.93m ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN25° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は55°，下端境界の傾斜は57°である。 	
					にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
						明褐灰	D'	100	6	0			
						明褐灰	CL'	100	14	14			
						にぶい黄橙	D'	100	4	0			
						にぶい黄橙	CL'	100	4	0			
						明褐灰	D'	100	9	0			
						明褐灰	D'	100	7	0			
						明褐灰	CL'	100	5	0			
						明褐灰	CL'	100	4	0			
						明褐灰	D'	100	8	0			
						にぶい黄橙	D'	100	4	0			
						にぶい黄橙	CL'	100	2	0			
						にぶい黄橙	CL'	100	2	0			
						灰褐 灰白 灰褐	D'	100	1	0			
						にぶい黄橙	D'	100	1	0			
						淡黄	D'	100	2	0			
						にぶい黄橙	CL'	100	1	0			
						にぶい黄橙	D'	100	4	0			
						にぶい黄橙	CL'	100	6	0			
					にぶい黄橙	D'	100	5	0				
					灰褐	D'	100	2	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	4	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	3	0				
					にぶい黄橙	D'	100	7	0				
					にぶい黄橙	D'	100	5	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	6	0				
					にぶい黄橙	D'	100	5	0				
					にぶい黄橙	CL'	100	2	0				

3-82(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

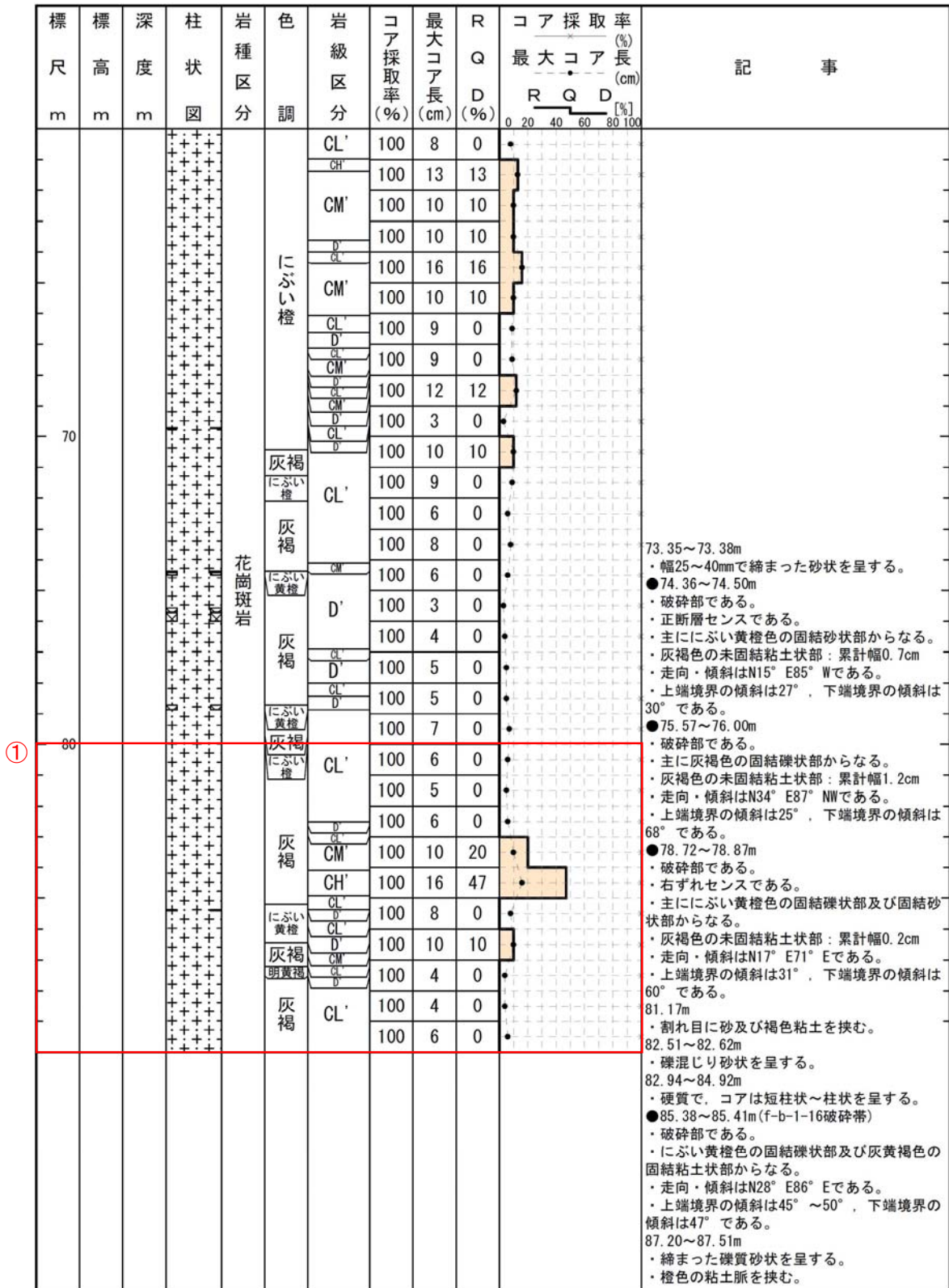
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
				花崗斑岩	明褐色 にぶい 橙	CL'	100	8	0				<ul style="list-style-type: none"> ●52.72~52.81m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の礫混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰白色礫混じり粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・傾斜は14°である。 ・上盤境界の傾斜は56°、下盤境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の砂混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色砂混じり粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・傾斜は29°である。 ・上盤境界の傾斜は29°、下盤境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m ・破砕部である。(D-1破砕帯) ・正断層センスである。 ・灰褐色~灰白色の粘土状~にぶい褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色~灰白色粘土：7mm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・傾斜は28°である。 ・上盤境界の傾斜は22°、下盤境界の傾斜は28°である。 60.99~63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 63.61~64.00m ・砂礫状を呈する。 64.33~66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。 67.80~67.93m ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・にぶい黄褐色の粘土状~灰黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐色粘土：累計厚1mm ・走向・傾斜はN25° E82° W ・傾斜は55°である。 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は57°である。 73.35~73.38m ・幅25~40mmで締まった砂状を呈する。 ●74.36~74.50m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の礫質粘土状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚7mm ・走向・傾斜はN15° E87° W ・傾斜は30°である。 ・上盤境界の傾斜は27°、下盤境界の傾斜は30°である。 ●75.57~76.00m ・破砕部である。 ・灰褐色の礫混じり粘土~明褐色~灰褐色の礫質粘土状~灰黄褐色~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色礫混じり粘土：累計厚12mm ・傾斜は68°である。 ・上盤境界の傾斜は25°である。 ●78.72~78.87m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN17° E71° E ・傾斜は60°である。 ・上盤境界の傾斜は31°、下盤境界の傾斜は60°である。 	
					にぶい 黄緑	D'	100	4	0					
						にぶい 黄緑	D'	100	2	0				
						灰褐色 にぶい 橙	D'	100	2	0				
						灰褐色 にぶい 橙	D'	100	1	0				
						硬質 にぶい 橙	D'	100	1	0				
						黄緑 にぶい 黄緑	CL'	100	2	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	1	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	4	0				
						にぶい 黄緑	CL'	100	6	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	5	0				
						灰褐色 にぶい 橙	D'	100	2	0				
						にぶい 黄緑	CL'	100	4	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	3	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	7	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	5	0				
						にぶい 黄緑	CL'	100	6	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	5	0				
						にぶい 黄緑	CH	100	13	13				
						にぶい 黄緑	CM'	100	10	10				
						にぶい 黄緑	D'	100	10	10				
						にぶい 黄緑	CM'	100	16	16				
						にぶい 黄緑	CL'	100	9	0				
						にぶい 黄緑	D'	100	9	0				
					にぶい 黄緑	CM	100	9	0					
					にぶい 黄緑	D'	100	12	12					
					にぶい 黄緑	D'	100	3	0					
					にぶい 黄緑	CL'	100	10	10					
					灰褐色 にぶい 橙	CL'	100	9	0					
					灰褐色 にぶい 橙	CL'	100	6	0					
					灰褐色 にぶい 橙	CL'	100	8	0					
					硬質 にぶい 黄緑	D'	100	6	0					
					灰褐色 にぶい 橙	D'	100	3	0					
					灰褐色 にぶい 橙	D'	100	4	0					
					灰褐色 にぶい 橙	D'	100	5	0					
					硬質 にぶい 黄緑	D'	100	5	0					
					灰褐色 にぶい 橙	CL'	100	7	0					
					灰褐色 にぶい 橙	CL'	100	7	0					

6-7-4-1054

第7.4.4.179図 (3) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

H27-B-1

柱状図(60.00m~90.00m)



3-83(分類b)①
 申請書での該当深度の掲載漏れ。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				花崗斑岩	明褐色	CL'	100	8	0				<ul style="list-style-type: none"> ●52.72~52.81m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の礫混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰白色礫混じり粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・傾斜は14°である。 ・上盤境界の傾斜は56°、下盤境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の砂混じり粘土状~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色砂混じり粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・傾斜は29°である。 ・上盤境界の傾斜は29°、下盤境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m ・破砕部である。(D-1破砕帯) ・正断層センスである。 ・灰褐色~灰白色の粘土状~にぶい褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色~灰白色粘土：7mm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・傾斜は28°である。 ・上盤境界の傾斜は22°、下盤境界の傾斜は28°である。 ●60.99~63.61m ・硬質であるが、割れ目が多い。 ●63.61~64.00m ・砂礫状を呈する。 ●64.33~66.07m ・硬質であるが、割れ目が多い。 ●67.80~67.93m ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・にぶい黄褐色の粘土状~灰黄色の粘土混じり礫状を呈する。 ・にぶい黄褐色粘土：累計厚1mm ・走向・傾斜はN25° E82° W ・傾斜は55°である。 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は57°である。 ●73.35~73.38m ・幅25~40mmで締まった砂状を呈する。 ●74.36~74.50m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の礫質粘土状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚7mm ・走向・傾斜はN15° E87° W ・傾斜は30°である。 ・上盤境界の傾斜は27°、下盤境界の傾斜は30°である。 ●75.57~76.00m ・破砕部である。 ・灰褐色の礫混じり粘土~明褐色~灰褐色の礫質粘土状~灰褐色~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色礫混じり粘土：累計厚12mm ・傾斜は68°である。 ・上盤境界の傾斜は25°である。 ●78.72~78.87m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰褐色の粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚2mm ・走向・傾斜はN17° E71° E ・傾斜は60°である。 ・上盤境界の傾斜は31°、下盤境界の傾斜は60°である。
					にぶい橙	CL'	100	4	0				
						にぶい黄緑	D'	100	2	0			
						灰褐色	D'	100	1	0			
						にぶい橙	D'	100	1	0			
						硬質	CL'	100	2	0			
						黄緑	D'	100	1	0			
						にぶい黄緑	CL'	100	4	0			
						にぶい橙	CL'	100	6	0			
						にぶい橙	D'	100	5	0			
						灰褐色	CL'	100	2	0			
						にぶい橙	CL'	100	3	0			
						にぶい橙	D'	100	7	0			
						にぶい橙	D'	100	5	0			
						にぶい橙	CL'	100	6	0			
						にぶい橙	CH	100	13	13			
						にぶい橙	CM'	100	10	10			
						にぶい橙	D'	100	10	10			
						にぶい橙	CM'	100	16	16			
						にぶい橙	CL'	100	9	0			
						にぶい橙	D'	100	9	0			
						にぶい橙	CM	100	9	0			
						にぶい橙	D'	100	12	12			
						にぶい橙	CM	100	3	0			
					にぶい橙	CL'	100	10	10				
					灰褐色	CL'	100	9	0				
					にぶい橙	CL'	100	6	0				
					灰褐色	CM	100	8	0				
					にぶい黄緑	D'	100	6	0				
					灰褐色	D'	100	3	0				
					にぶい黄緑	D'	100	4	0				
					にぶい黄緑	CL'	100	5	0				
					にぶい黄緑	D'	100	5	0				
					灰褐色	CL'	100	7	0				
					にぶい橙								
					灰褐色								

6-7-4-1054

第7.4.4.179図 (3) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-1孔)

H27-B-2

孔口標高	T.P. 20.11m	掘削長	160.00m
------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%)			記 事	
										R	Q	D		
	19.62	0.70		コンクリート			100						0.00~0.70m ・コンクリートである。	
				灰黄褐			100							0.70~12.33m ・盛土である。 ・最上部300mmは碎石である。
				にぶい黄橙			100							
				にぶい黄橙			100							
				にぶい黄橙			100							
				灰褐			100							
				褐灰			100							
				明黄褐			100							12.33~12.75m ・砂礫である。 ・最大径200mmの礫を含む。
	11.39	12.33			砂礫混り砂			100						12.75~13.53m ・礫混じり砂である。
	11.09	12.75			砂礫混り砂			100						
	10.54	13.53		花崗斑岩			100	3	0				13.53~133.75m ・花崗斑岩である。	
				にぶい黄橙			100	3	0					
				にぶい黄橙			100	3	0					
				明褐灰			100	4	0				19.59~19.80m ・10mm程度の間隔で、割れ目が分布する。	
				明褐灰			100	4	0				21.79~26.82m ・割れ目沿いに砂状化している部分が多い。	
				にぶい黄橙			100	10	10				28.02~29.88m ・割れ目が多く、岩片~礫状を呈する。	
				にぶい黄橙			100	6	0				●31.15~31.66m ・破砕部である。	
				明褐灰		CL'	100	12	12				・正断層センスである。	
				明褐灰		CL'	100	8	0				・灰黄色の砂混じり粘土状~明赤灰色の礫質粘土状~にぶい黄橙~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。	
				明褐灰		CL'	100	23	23				・灰黄色砂混じり粘土：累計厚10mm ・走向・傾斜はN7° 78° Wである。 ・傾斜は38° である。 ・上盤境界の傾斜は20°、下盤境界の傾斜は43° である。	
			明褐灰		CL'	100	15	27				●34.37~34.48m ・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	7	0				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	7	0				・左ずれセンスである。		
			明褐灰		CL'	100	9	0				・黒褐色の粘土状~浅黄色~明赤灰色の礫質粘土状を呈する。		
			明褐灰		CL'	100	3	0				・黒褐色粘土：6mm ・走向・傾斜はN14° W40° Wである。		
			明褐灰		CL'	100	4	0				・傾斜は13° である。 ・上盤境界の傾斜は13°、下盤境界の傾斜は20° である。		
			明褐灰		CL'	100	35.36	35.46m				●35.36~35.46m ・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.68	35.73m				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰白~灰褐色の粘土状~灰黄~褐灰色の粘土混じり礫状~粘土質礫状を呈する。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰白~灰褐色粘土：15mm ・走向・傾斜はN69° E79° Wである。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・傾斜は47° である。 ・上盤境界の傾斜は47°、下盤境界の傾斜は20°~35° である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				●35.68~35.73m ・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰黄色の粘土状~淡黄色の礫質粘土状~明褐灰色の粘土質礫状を呈する。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰黄褐色粘土：2mm ・傾斜は12° である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・上盤境界の傾斜は27°、下盤境界の傾斜は12° である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				●35.92~35.95m ・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・破砕部である。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰オリブ色の粘土状~灰白色の礫質粘土状を呈する。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・灰オリブ色粘土：5mm ・走向・傾斜はN4° E86° Wである。		
			明褐灰		CL'	100	35.92	35.95m				・傾斜は35° である。 ・上盤境界の傾斜は35°、下盤境界の傾斜は45° である。		

6-7-4-1056

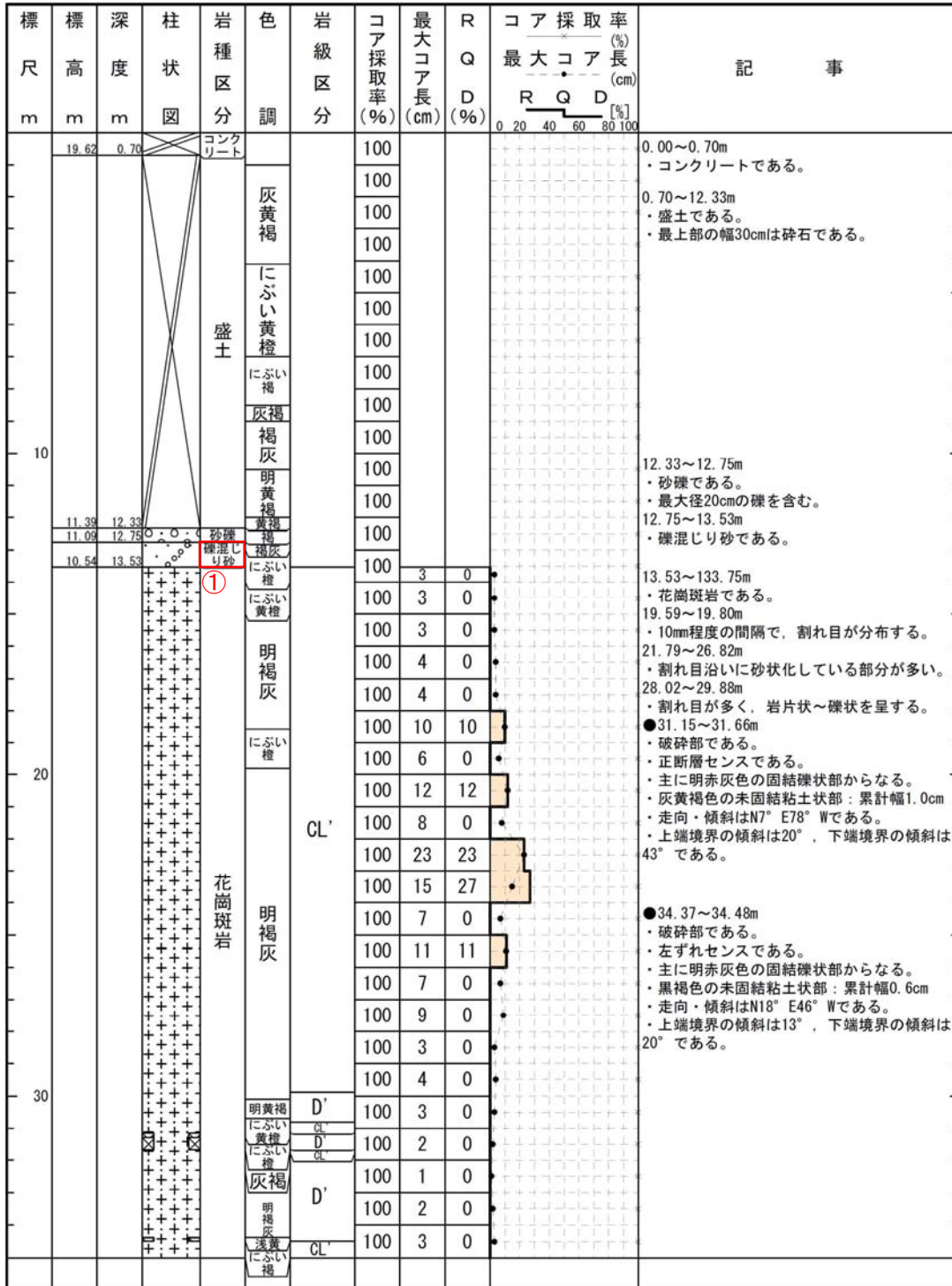
第7.4.4.180図 (1) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

H27-B-2

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-B-2

孔口標高	T.P. 20.11m	掘削長	160.00m
------	-------------	-----	---------



3-84(分類c)①
表現を統一したため。

余白

H27-B-2

孔口標高	T.P. 20.11m	掘削長	160.00m
------	-------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%)			記 事	
										R	Q	D		
	19.62	0.70		コンクリート			100						0.00~0.70m ・コンクリートである。	
				盛土	灰黄褐		100						0.70~12.33m ・盛土である。 ・最上部300mmは碎石である。	
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄		100							
					灰褐		100							
					褐灰		100							
					明黄褐		100							
					黄褐		100							
	11.39	12.33			砂礫		100						12.33~12.75m ・砂礫である。 ・最大径200mmの礫を含む。	
	11.09	12.75			礫混り砂		100						12.75~13.53m ・礫混じり砂である。	
	10.54	13.53			にぶい黄橙		100	3	0				13.53~133.75m ・花崗斑岩である。	
				にぶい黄橙		100	3	0						
				明褐灰		100	4	0				19.59~19.80m ・10mm程度の間隔で、割れ目が分布する。		
				にぶい黄橙		100	4	0				21.79~26.82m ・割れ目沿いに砂状化している部分が多い。		
				花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	10	10				28.02~29.88m ・割れ目が多く、岩片~礫状を呈する。	
							100	6	0					●31.15~31.66m ・破砕部である。
							100	12	12					・正断層センスである。
							100	8	0					・灰黄色の砂混じり粘土状~明赤灰色の礫質粘土状~にぶい黄橙~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。
							100	23	23					・灰黄色砂混じり粘土：累計厚10mm
							100	15	27					・走向・傾斜はN7° 78° Wである。
							100	7	0					・傾斜は38°である。
							100	11	11					・上盤境界の傾斜は20°、下盤境界の傾斜は43°である。
							100	7	0					●34.37~34.48m ・破砕部である。
							100	9	0					・左ずれセンスである。
				100	3	0					・黒褐色の粘土状~浅黄色~明赤灰色の礫質粘土状を呈する。			
				100	3	0					・黒褐色粘土：6mm			
				100	4	0					・走向・傾斜はN14° W40° Wである。			
											・傾斜は13°である。			
											・上盤境界の傾斜は13°、下盤境界の傾斜は20°である。			
											●35.36~35.46m ・破砕部である。			
											・灰白~灰褐色の粘土状~灰黄~褐色の粘土混じり礫状~粘土質礫状を呈する。			
											・灰白~灰褐色粘土：15mm			
											・走向・傾斜はN69° E79° Wである。			
											・傾斜は47°である。			
											・上盤境界の傾斜は47°、下盤境界の傾斜は20°~35°である。			
											●35.68~35.73m ・破砕部である。			
											・灰黄色の粘土状~淡黄色の礫質粘土状~明褐灰色の粘土質礫状を呈する。			
											・灰黄褐色粘土：2mm			
											・傾斜は12°である。			
											・上盤境界の傾斜は27°、下盤境界の傾斜は12°である。			
											●35.92~35.95m ・破砕部である。			
											・灰オリーブ色の粘土状~灰白色の礫質粘土状を呈する。			
											・灰オリーブ色粘土：5mm			
											・走向・傾斜はN4° E86° Wである。			
											・傾斜は35°である。			
											・上盤境界の傾斜は35°、下盤境界の傾斜は45°である。			

6-7-4-1056

第7.4.4.180図 (1) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1 トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	記事
		40		花崗斑岩	明褐色 にぶい 黄褐色	D'	100	3	0		<p>41.90~43.94m ・砂~砂礫状を呈する。</p> <p>47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.88~48.92m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。</p> <p>51.51~52.42m ・黒褐色の砂混じり粘土状~灰黄褐~黒褐色の礫質粘土状を呈する。 ・黒褐色砂混じり粘土：累計厚1mm ・走向・傾斜はN40° E76° Wである。 ・傾斜は56°である。 ・上盤境界の傾斜は56°、下盤境界の傾斜は53°である。</p> <p>54.72~54.77m ・割れ目沿いに砂状化しており、一部砂礫状を呈する。 ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・灰褐色の粘土状~明褐色の礫質粘土状を呈する。 ・灰褐色粘土：累計厚3mm ・走向・傾斜はN8° W79° Wである。 ・傾斜は39°である。 ・上盤境界の傾斜は48°、下盤境界の傾斜は39°である。</p> <p>b/l. 10~b/l. 99m ・締まった砂状を呈する。 59.71~60.00m ・砂~砂礫状を呈する。</p>
		50			明褐色 にぶい 黄褐色	D'	100	2	0		
					灰褐色	D'	100	1	0		
					明褐色	D'	100	2	0		
					黄褐色 にぶい 黄褐色	CL'	100	3	0		
					明褐色	D'	100	5	0		
					明褐色	CM	100	7	0		
					明褐色 にぶい 黄褐色	CM	100	10	10		
					明褐色	CM	100	8	0		
					明褐色	D'	100	8	0		
					にぶい 黄褐色	D'	100	2	0		
					にぶい 黄褐色	CL'	100	5	0		
					明褐色	D'	100	3	0		
					にぶい 黄褐色	D'	100	3	0		
					明褐色	CL'	100	3	0		
					明褐色	D'	100	5	0		
					にぶい 黄褐色	D'	100	4	0		
					明褐色	CL'	100	8	0		
					にぶい 黄褐色	D'	100	14	14		
					明褐色	CL'	100	10	10		
			にぶい 黄褐色	D'	100	9	0				
			明褐色	CM	100	11	11				
			明褐色	D'	100	4	0				
			明褐色	D'	100	4	0				
			明褐色	D'	100	3	0				
			明褐色	GL'	100	2	0				
			灰黄褐色	D'	100	3	0				
			にぶい 黄褐色	D'	100	3	0				
			にぶい 黄褐色	CM	100	9	0				
			にぶい 黄褐色	CL'	100	3	0				
			灰褐色	D'	100	3	0				

6-7-4-1057

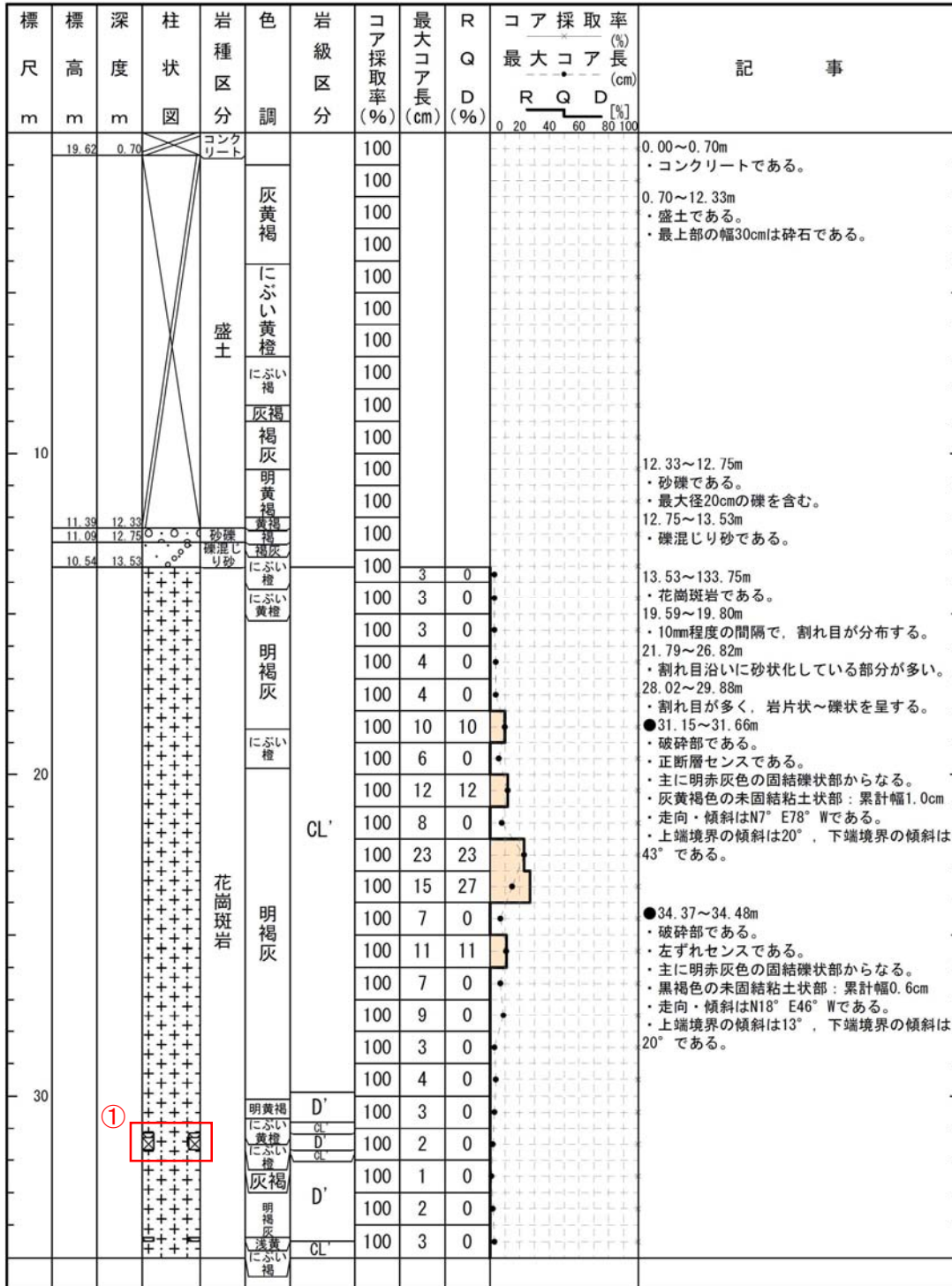
第7.4.4.180図 (2) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

H27-B-2

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-B-2

孔口標高	T.P. 20.11m	掘削長	160.00m
------	-------------	-----	---------



3-85(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	率 (%)	
		40		花崗斑岩	明褐色	D'	100	3	0			<p>41.90~43.94m ・砂~砂礫状を呈する。</p> <p>47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.88~48.92m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。</p> <p>51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化しており、一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・灰褐色の粘土状~明褐色の礫質粘土状を呈する。</p> <p>59.71~60.00m ・締まった砂状を呈する。 ・砂~砂礫状を呈する。</p>
		50			にぶい 黄褐色	D'	100	2	0			
					にぶい 橙	D'	100	1	0			
					明褐色	D'	100	2	0			
					黄褐色	CL'	100	3	0			
					にぶい 橙	D'	100	5	0			
					明褐色	D'	100	7	0			
					にぶい 黄褐色	CM	100	10	10			
					にぶい 橙	CM	100	8	0			
					明褐色	D'	100	8	0			
					にぶい 橙	CL'	100	2	0			
					にぶい 橙	D'	100	5	0			
					にぶい 黄褐色	D'	100	3	0			
					明褐色	CL'	100	3	0			
					にぶい 橙	D'	100	5	0			
					にぶい 黄褐色	CM	100	11	11			
					明褐色	CL'	100	4	0			
					にぶい 黄褐色	D'	100	4	0			
					明褐色	D'	100	3	0			
					明褐色	GL'	100	2	0			
			灰黄褐色	D'	100	3	0					
			にぶい 黄褐色	D'	100	3	0					
			にぶい 橙	CM	100	9	0					
			にぶい 橙	CL'	100	3	0					
			灰褐色	D'	100	3	0					

6-7-4-1057

第7.4.4.180図 (2) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

H27-B-2

柱状図(35.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
		40		花崗斑岩	にぶい 褐 灰黄	D'	100	5	0			<ul style="list-style-type: none"> ●35.36~35.46m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN69° E79° Nである。 ・上端境界の傾斜は47°、下端境界の傾斜は20°~35°である。 ●35.68~35.73m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN7° W52° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°、下端境界の傾斜は12°である。 ●35.92~35.95m ・破碎部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部、固結砂状部及び灰オリーブ色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E86° Eである。 ・上端境界の傾斜は35°、下端境界の傾斜は45°である。 41.90~43.94m ・砂状~砂礫状を呈する。 47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.08~48.12m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未結粘土状部：累計幅0.5cm。 ・走向・傾斜はN38° W15° NEである。 ・上端境界の傾斜は56°、下端境界の傾斜は53°である。 51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化し、一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN8° W79° Wである。 ・上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は39°である。 57.70~57.99m ・締まった砂状を呈する。 59.71~60.00m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●60.26~60.69m ・破碎部である。 ・逆断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部、固結砂状部明及び褐灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は27°である。 	
		50			明褐灰	CL'	100	10	10				
					にぶい 橙	CL'	100	8	0				
					明褐灰	D'	100	8	0				
					にぶい 橙	CL'	100	2	0				
					明褐灰	D'	100	5	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	3	0				
					明褐灰	CL'	100	3	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	3	0				
					明褐灰	CL'	100	3	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明褐灰	CL'	100	8	0				
					にぶい 橙	D'	100	14	14				
					明褐灰	CL'	100	10	10				
					にぶい 黄橙	D'	100	9	0				
					明褐灰	CL'	100	11	11				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明褐灰	CL'	100	4	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明赤褐	CL'	100	3	0				
			明褐灰	D'	100	2	0						
			灰黄褐	CL'	100	2	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	3	0						
			にぶい 褐	CL'	100	9	0						
			明褐灰	D'	100	3	0						
			灰褐	CL'	100	3	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐灰	CL'	100	2	0						
			にぶい 橙	D'	100	4	0						
			明褐灰	D'	100	2	0						
			灰褐	CH'	100	18	34						
			明褐灰	D'	100	17	17						
			灰褐	CL'	100	6	0						
			明褐灰	D'	100	15	15						
			にぶい 橙	D'	100	4	0						
			明褐灰	CL'	100	10	10						

3-86(分類b)①
誤記の修正。
3-87(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 最大コア 長 (cm)	記 事	
				花崗斑岩	灰褐	D'	100	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ●60.26~60.69m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明褐色の粘土状~にぶい黄褐色~明褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・明褐色粘土：累計厚12mm ・N18° E77° W ・傾斜は18°である。 ・上盤境界の傾斜は28°，下盤境界の傾斜は27°である。 ●61.29~61.69m (D-1破砕帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰黄褐色の粘土状~にぶい橙~灰白色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰黄褐色粘土：15mm ・走向・傾斜はN8° E89° Wである。 ・傾斜は50°である。 ・上盤境界の傾斜は45°，下盤境界の傾斜は60°である。 ●63.75~63.85m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰褐色の礫質粘土状~にぶい橙色の粘土・砂混じり礫状を呈する。 ・走向・傾斜はN47° W24° Eである。 ・傾斜は46°である。 ・上盤境界の傾斜は3°，下盤境界の傾斜は47°である。 ●68.27~68.34m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・淡黄色の粘土状~にぶい橙色の粘土混じり礫状を呈する。 ・淡黄色粘土：2mm ・走向・傾斜はN23° E74° Wである。 ・傾斜は41°である。 ・上盤境界の傾斜は41°，下盤境界の傾斜は20°~40°である。 71.06~71.88m <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目の交差部で、一部砂~砂礫状を呈する。 71.88~76.11m <ul style="list-style-type: none"> ・硬質であるが、割れ目沿いに一部砂状化している。 ・割れ目には、挟在物が見られないものが多い。 76.11~77.02m <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目の交差部で、岩片~角礫状を呈する。 77.02~79.47m <ul style="list-style-type: none"> ・硬質であるが、割れ目が多い。 80.48~83.12m <ul style="list-style-type: none"> ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。 83.12~83.79m <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目沿いに、砂状化している。 ●85.58~85.76m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・淡黄色の礫混じり粘土状~灰黄~淡黄~にぶい橙色の粘土・砂混じり礫状を呈する。 ・淡黄色礫混じり粘土：累計厚5mm ・走向・傾斜はN15° E82° Wである。 ・傾斜は48°である。 ・上盤境界の傾斜は40°，下盤境界の傾斜は32°である。 ●88.38~88.43m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・明黄褐色の粘土状~にぶい橙色の砂混じり礫状を呈する。 ・明黄褐色粘土：累計厚5mm ・走向・傾斜はN26° E84° Eである。 ・傾斜は50°である。 ・上盤境界の傾斜は50°，下盤境界の傾斜は60°である。 ●88.88~88.94m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰白色の礫混じり粘土状~にぶい黄褐色の粘土・砂混じり礫状を呈する。 ・灰白色礫混じり粘土：累計厚20mm ・走向・傾斜はN35° E72° Wである。 ・傾斜は30°である。 ・上盤境界の傾斜は30°，下盤境界の傾斜は30°である。 	
						CL'	100	4	0			
						D'	100	2	0			
						CH'	100	18	34			
						CL'	100	17	17			
						CL'	100	6	0			
						CM'	100	4	0			
						CM'	100	10	10			
						CL'	100	13	37			
						CL'	100	11	11			
						CM'	100	15	26			
						CM'	100	18	18			
						CL'	100	8	0			
						CL'	100	27	27			
						CM'	100	15	27			
						CL'	100	15	15			
						CL'	100	8	0			
						CH'	100	10	20			
						CH'	100	23	66			
						CL'	100	45	68			
				CM'	100	11	11					
				CL'	100	12	12					
				CL'	100	2	0					
				CL'	100	4	0					
				CH'	100	12	22					
				CL'	100	10	10					
				CL'	100	1	0					
				灰褐	D'	100	1	0				

6-7-4-1058

第7.4.4.180図 (3) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

H27-B-2

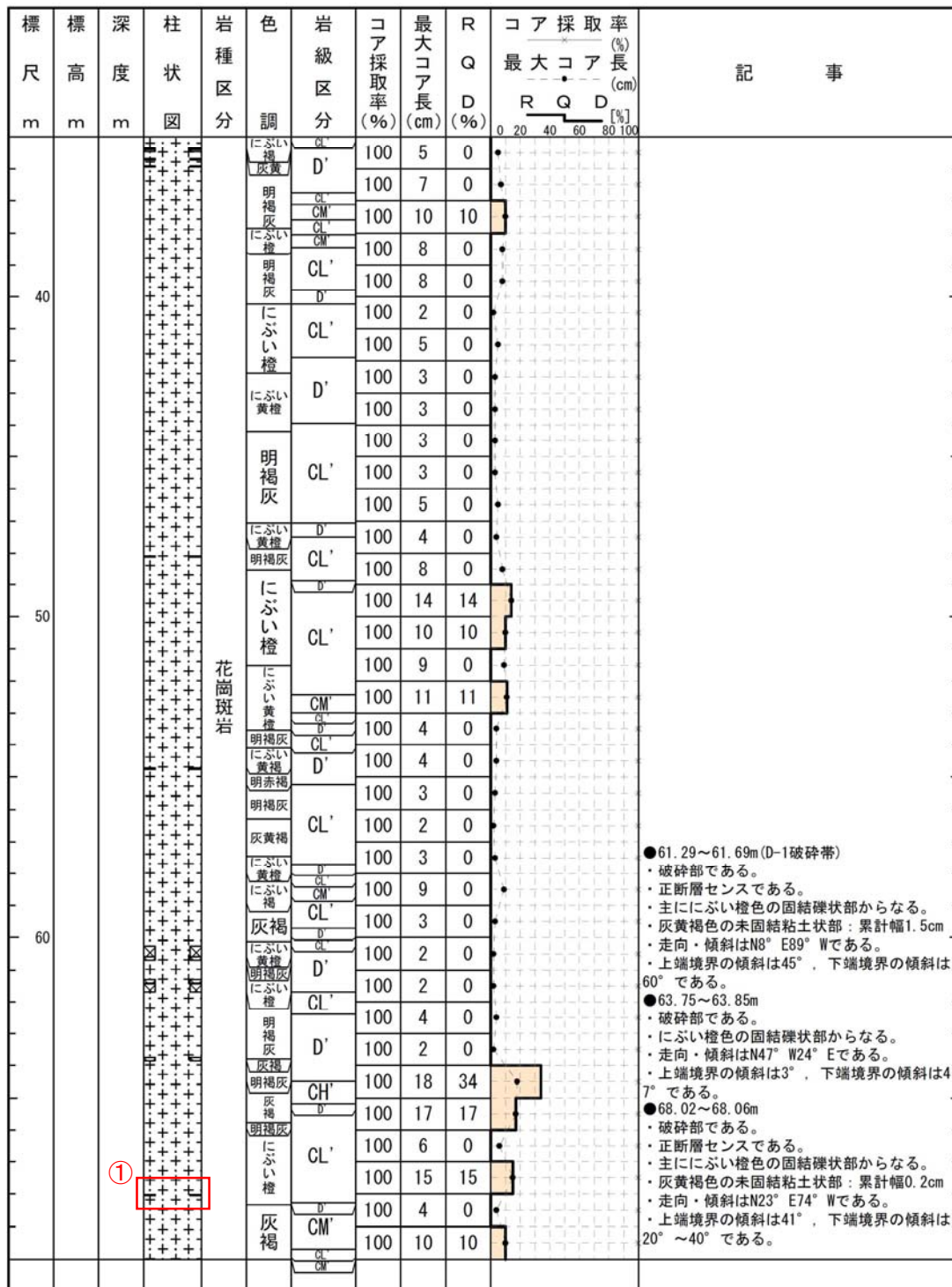
柱状図(35.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事	
													0
		40		花崗斑岩	にぶい 灰黄	D'	100	5	0			<ul style="list-style-type: none"> ●35.36~35.46m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN69° E79° Nである。 ・上端境界の傾斜は47°，下端境界の傾斜は20°~35°である。 ●35.68~35.73m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN7° W52° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°，下端境界の傾斜は12°である。 ●35.92~35.95m ・破碎部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部，固結砂状部及び灰オリーブ色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E86° Eである。 ・上端境界の傾斜は35°，下端境界の傾斜は45°である。 41.90~43.94m ・砂状~砂礫状を呈する。 47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.08~48.12m ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未結粘土状部：累計幅0.5cm。 ・走向・傾斜はN38° W15° NEである。 ・上端境界の傾斜は56°，下端境界の傾斜は53°である。 51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化し，一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN8° W79° Wである。 ・上端境界の傾斜は48°，下端境界の傾斜は39°である。 57.70~57.99m ・締まった砂状を呈する。 59.71~60.00m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●60.26~60.69m ・破碎部である。 ・逆断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部，固結砂状部明及び褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・上端境界の傾斜は28°，下端境界の傾斜は27°である。 	
		50			明褐色	CL'	100	10	10				
					にぶい 橙	CL'	100	8	0				
					明褐色	D'	100	8	0				
					にぶい 橙	CL'	100	2	0				
					明褐色	D'	100	5	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	3	0				
					明褐色	CL'	100	3	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	3	0				
					明褐色	CL'	100	3	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明褐色	CL'	100	8	0				
					にぶい 橙	D'	100	14	14				
					明褐色	CL'	100	10	10				
					にぶい 黄橙	D'	100	9	0				
					明褐色	CL'	100	11	11				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明褐色	CL'	100	4	0				
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0				
					明褐色	CL'	100	3	0				
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	3	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	3	0						
			明褐色	CL'	100	9	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	3	0						
			明褐色	CL'	100	3	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	2	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	3	0						
			明褐色	CL'	100	3	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	2	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	4	0						
			明褐色	CL'	100	4	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	2	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	4	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	2	0						
			明褐色	CL'	100	2	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	4	0						
			明褐色	CL'	100	18	34						
			にぶい 黄橙	D'	100	17	17						
			明褐色	CL'	100	6	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	15	15						
			明褐色	CL'	100	15	15						
			にぶい 黄橙	D'	100	4	0						
			明褐色	CL'	100	4	0						
			にぶい 黄橙	D'	100	10	10						
			明褐色	CL'	100	10	10						

3-88(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H27-B-2

柱状図(35.00m~70.00m)

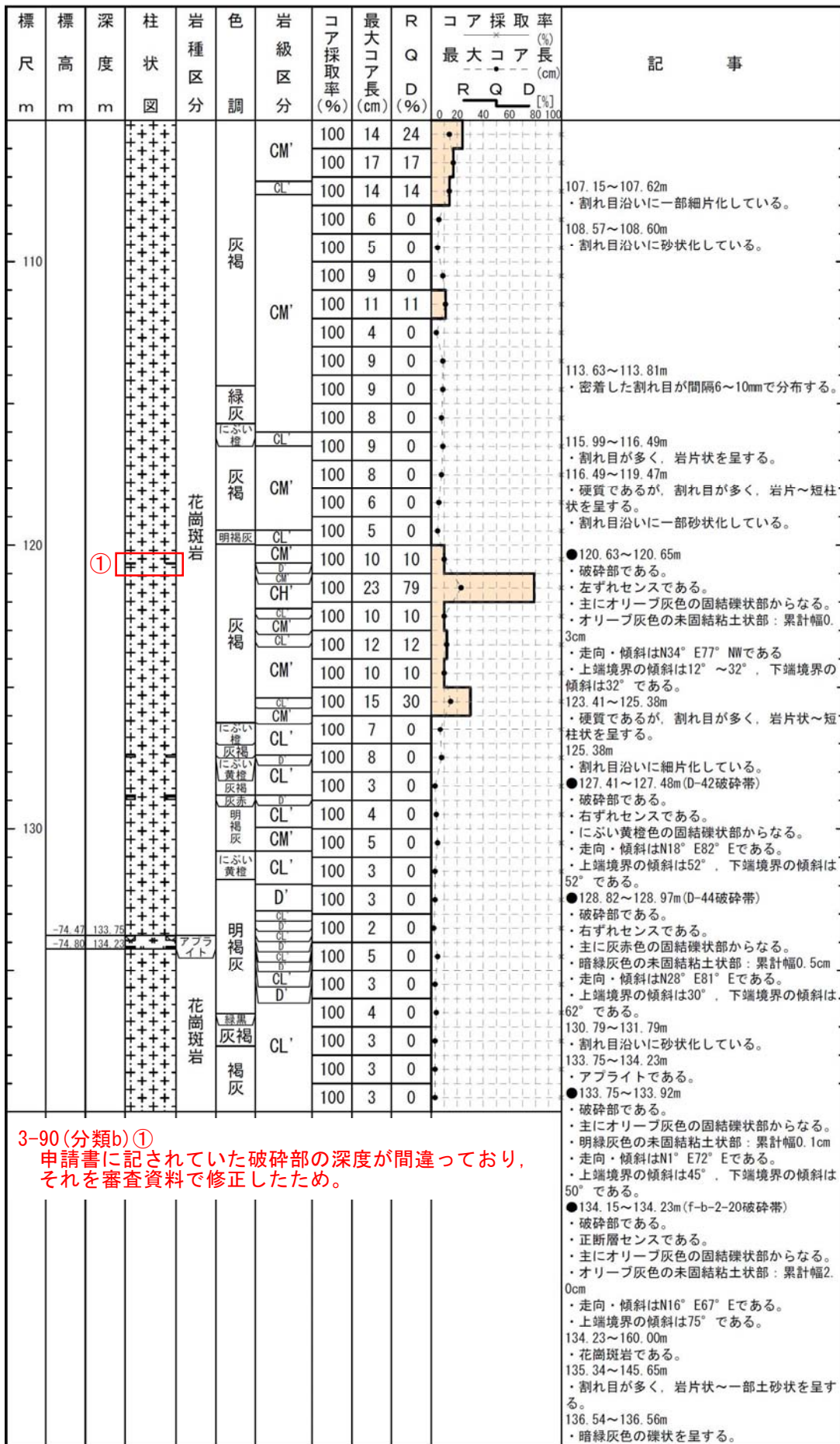


3-89(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	記 事																			
				花崗斑岩	灰褐色	CM'	100	10	10		<ul style="list-style-type: none"> ●120.53~120.55m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・オリブ灰色の粘土状~礫質粘土状を呈する。 ・オリブ灰色粘土: 3mm ・傾斜は32°である。 ・上盤境界の傾斜は12°~32°、下盤境界の傾斜は32°である。 123.41~125.38m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 125.38m ・割れ目沿いに、細片化している。 ●127.41~127.48m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・灰白色の粘土状~にぶい黄褐色の粘土混じり礫状を呈する。 ・灰白色粘土: 累計厚1mm ・走向・傾斜はN18° E82Eである。 ・傾斜は50°である。 ・上盤境界の傾斜は50°、下盤境界の傾斜は50°~66°である。 ●128.82~128.97m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・暗緑灰色の砂混じり粘土状~灰赤色の粘土・砂混じり礫状を呈する。 ・暗緑灰色砂混じり粘土: 累計厚5mm ・走向・傾斜はN28° E81° Eである。 ・傾斜は63°である。 ・上盤境界の傾斜は30°、下盤境界の傾斜は62°である。 130.79~131.79m ・割れ目沿いに、砂状化している。 133.75~134.23m ・アプライトである。 ●133.75~133.92m ・破砕部である。カタクレーサイトからなる。 ・明緑灰色の粘土状~緑灰色の礫質粘土~緑灰~オリブ灰色の粘土混じり礫状を呈す。 ・明緑灰色粘土: 累計厚1mm ・走向・傾斜はN1° E72Eである。 ・傾斜は45°である。 ・上盤境界の傾斜は45°、下盤境界の傾斜は50°である。 ●134.15~134.23m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・オリブ灰~暗オリブ灰の粘土状~オリブ灰色の粘土混じり礫状を呈する。 ・オリブ灰~暗オリブ灰色粘土: 累計厚20mm ・走向・傾斜はN16° E67° Eである。 ・傾斜は75°である。 ・上盤境界の傾斜は75°である。 134.23~136.54m ・花崗斑岩である。 135.34~145.65m ・割れ目が多く、岩片状~一部土状を呈する。 136.54~136.56m ・暗緑灰色の礫状を呈する。 136.56~160.00m ・花崗斑岩である。 141.96~142.23m ・割れ目が細かく交差し、細片化している。 145.65~148.26m ・砂礫~礫質砂状を呈する。 ・一部灰白~暗緑灰色の粘土脈を挟む。 149.19~149.67m ・砂礫状を呈する。 ・灰白色粘土が点在する。 																			
						花崗斑岩	明褐色	D'	100		3	0																		
								花崗斑岩	明褐色		CL'	100	2	0																
											花崗斑岩	明褐色	D'	100	5	0														
													花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0												
															花崗斑岩	明褐色	D'	100	3	0										
																	花崗斑岩	明褐色	CL'	100	4	0								
																			花崗斑岩	明褐色	D'	100	5	0						
																					花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0				
																							花崗斑岩	明褐色	D'	100	4	0		
																									花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0
						花崗斑岩	明褐色																				D'	100	4	0
								花崗斑岩	明褐色																		CL'	100	3	0
											花崗斑岩	明褐色															D'	100	4	0
				花崗斑岩	明褐色					CL'			100	3													0			
										花崗斑岩			明褐色	D'	100	4											0			
														花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3									0			
																花崗斑岩	明褐色	D'	100	4							0			
																		花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3					0			
																				花崗斑岩	明褐色	D'	100	4			0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花崗斑岩	明褐色							D'	100	4	0			
																		花崗斑岩	明褐色					CL'	100	3	0			
																				花崗斑岩	明褐色			D'	100	4	0			
																						花崗斑岩	明褐色	CL'	100	3	0			
						花崗斑岩	明褐色																	D'	100	4	0			
								花崗斑岩	明褐色															CL'	100	3	0			
											花崗斑岩	明褐色												D'	100	4	0			
				花崗斑岩	明褐色																			CL'	100	3	0			
										花崗斑岩			明褐色											D'	100	4	0			
														花崗斑岩	明褐色									CL'	100	3	0			
																花														

H27-B-2

柱状図(105.00m~140.00m)



標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事	
												0 20 40 60 80 100
				花崗斑岩	褐灰 暗褐色 明褐色 暗褐色 明褐色 灰褐 緑灰	CL'	100	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ●152.10~152.15m ・破砕部である。 ・砂質粘土状~にふい橙~緑灰~明褐色の砂・粘土混じり礫状を呈する。 ・砂質粘土：累計厚1mm ・傾斜は68°である。 ・上盤境界の傾斜は45°、下盤境界の傾斜は55°である。 ●154.53~154.71m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・褐灰~灰赤色の粘土状~明緑灰~緑灰~灰褐色の礫質粘土状~にふい橙~明緑灰色の粘土混じり礫状を呈する。 ・褐灰~灰赤色粘土：累計厚5mm ・傾斜は36°である。 ・上盤境界の傾斜は63°、下盤境界の傾斜は65°~80°である。 157.89~160.00m ・割れ目治いの緑泥石化が著しい。 		

6-7-4-1061

第7.4.4.180図 (6) D-1破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋とD-1トレンチの間) コア柱状図 (H27-B-2孔)

H27-B-2

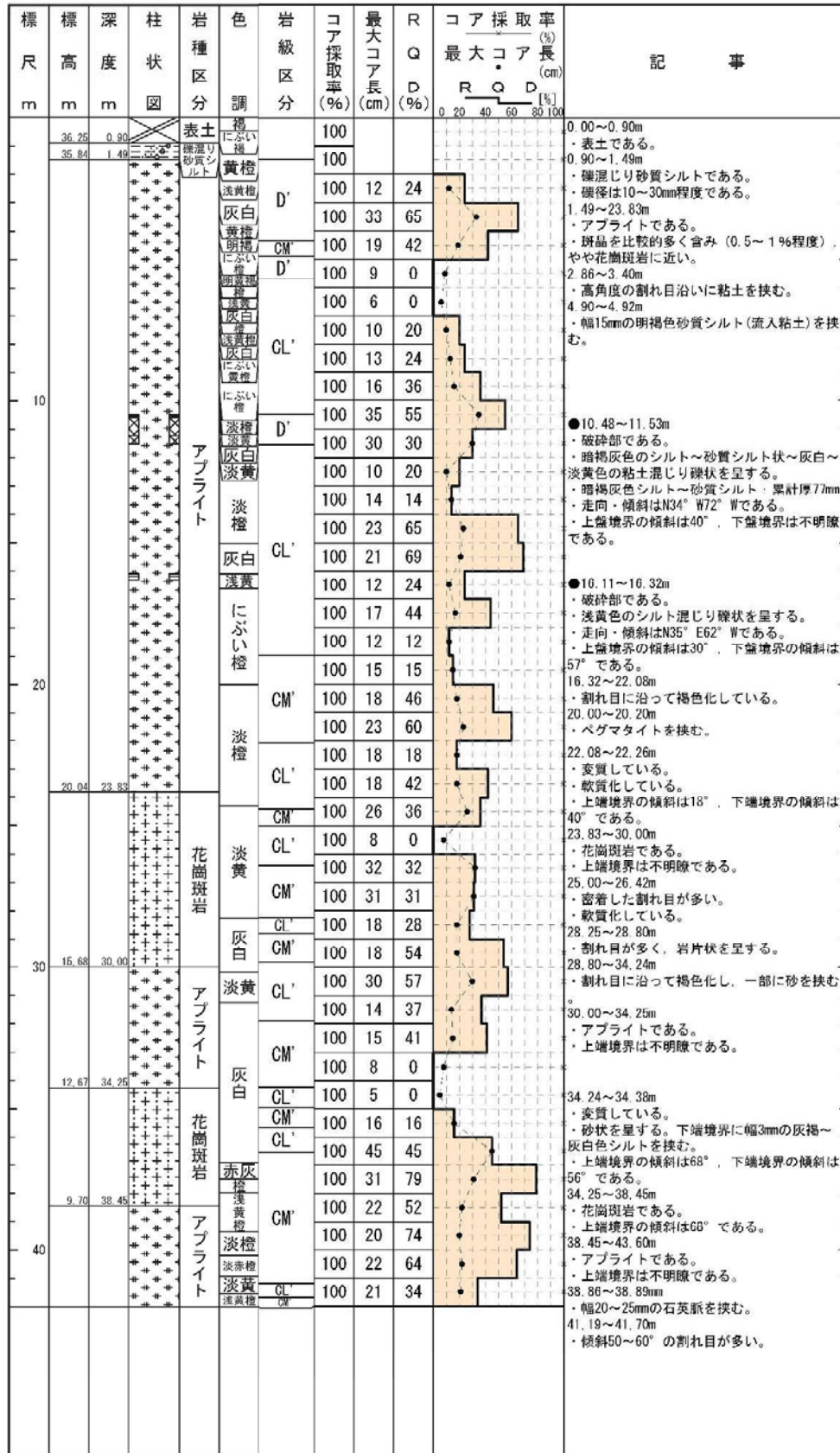
柱状図(140.00m~160.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事				
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D			
150	①		+	花崗斑岩	褐灰	CL'	100	5	0	●	0	20	40	60	80	100	141.96~142.23m ・割れ目が細かく交差し、細片化している。
							100	5	0								
							100	4	0								
							100	7	0								
							100	6	0								
					明褐灰	D'	100	3	0								145.65~148.26m ・砂礫状~礫質砂状を呈する。 ・一部灰白~暗緑灰色の粘土脈を挟む。
							100	2	0								
							100	4	0								
					明褐灰 暗緑灰	CL'	100	6	0								149.19~149.67m ・砂礫状を呈する。 ・灰白色粘土が点在する。
							100	5	0								
					明褐灰 暗緑灰	D'	100	4	0								●152.10~152.15m(f-b-2-21破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN28° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は45°，下端境界の傾斜は55°である。
							100	7	0								
					明褐灰 暗緑灰	CL'	100	4	0								●154.53~154.71m(f-b-2-22破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN42° E75° Eである。 ・上端境界の傾斜は63°，下端境界の傾斜は65°~80°である。
							100	5	0								
					灰褐	CL'	100	2	0								157.89~160.00m ・割れ目沿いの緑泥石化が著しい。
100	4	0															
緑灰	CL'	100	3	0													
		100	5	0													

3-91(分類a)①
記載漏れ。

H19-No. 4

孔口標高	T.P. 36.89m	掘削長	250.00m
------	-------------	-----	---------



6-7-4-1062

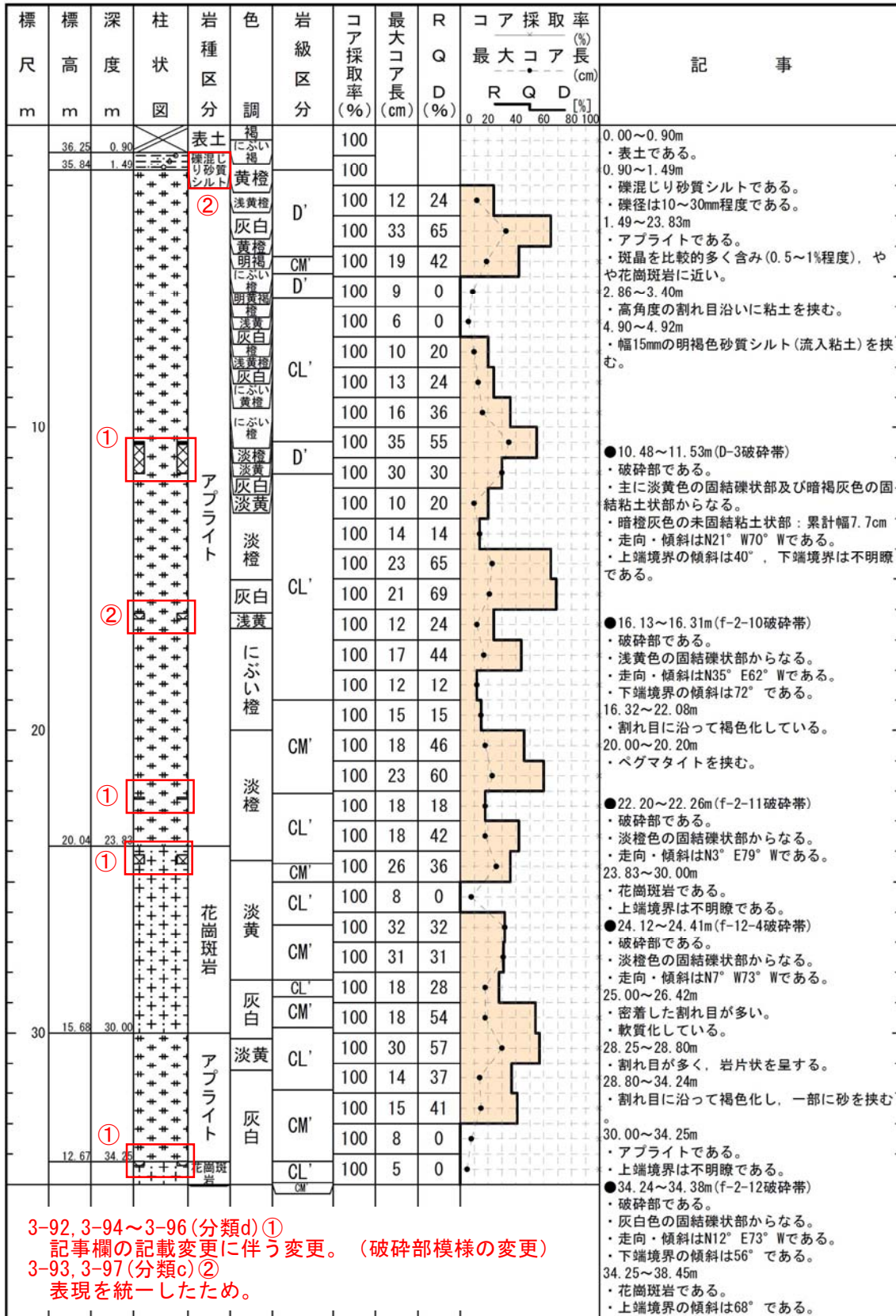
第7.4.4.181図(1) D-6破砕帯及びD-5破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図(H19-No.4)

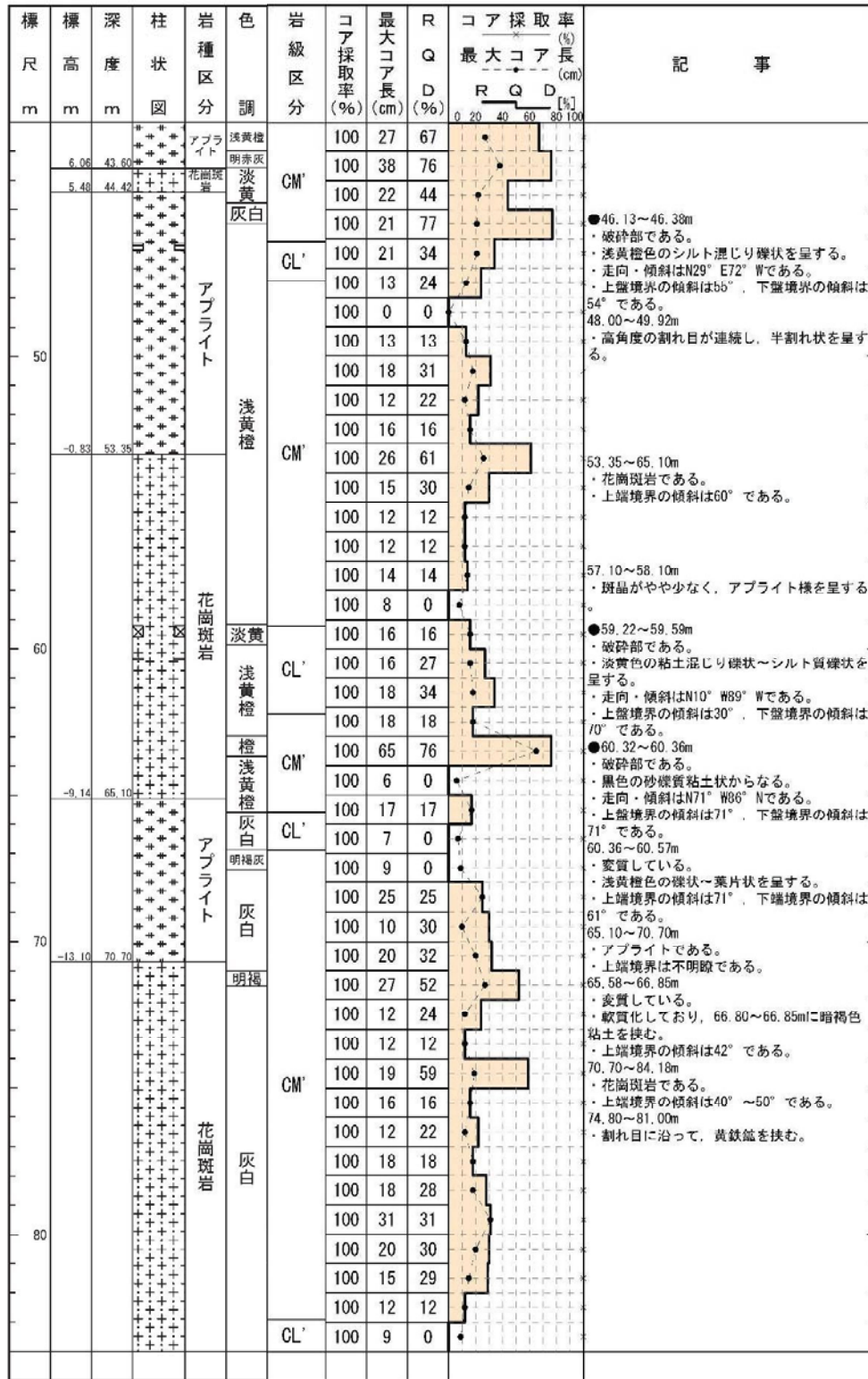
H19-No.4

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 4

孔 口 標 高	T. P.	36.89m	掘 削 長	250.00m
---------	-------	--------	-------	---------

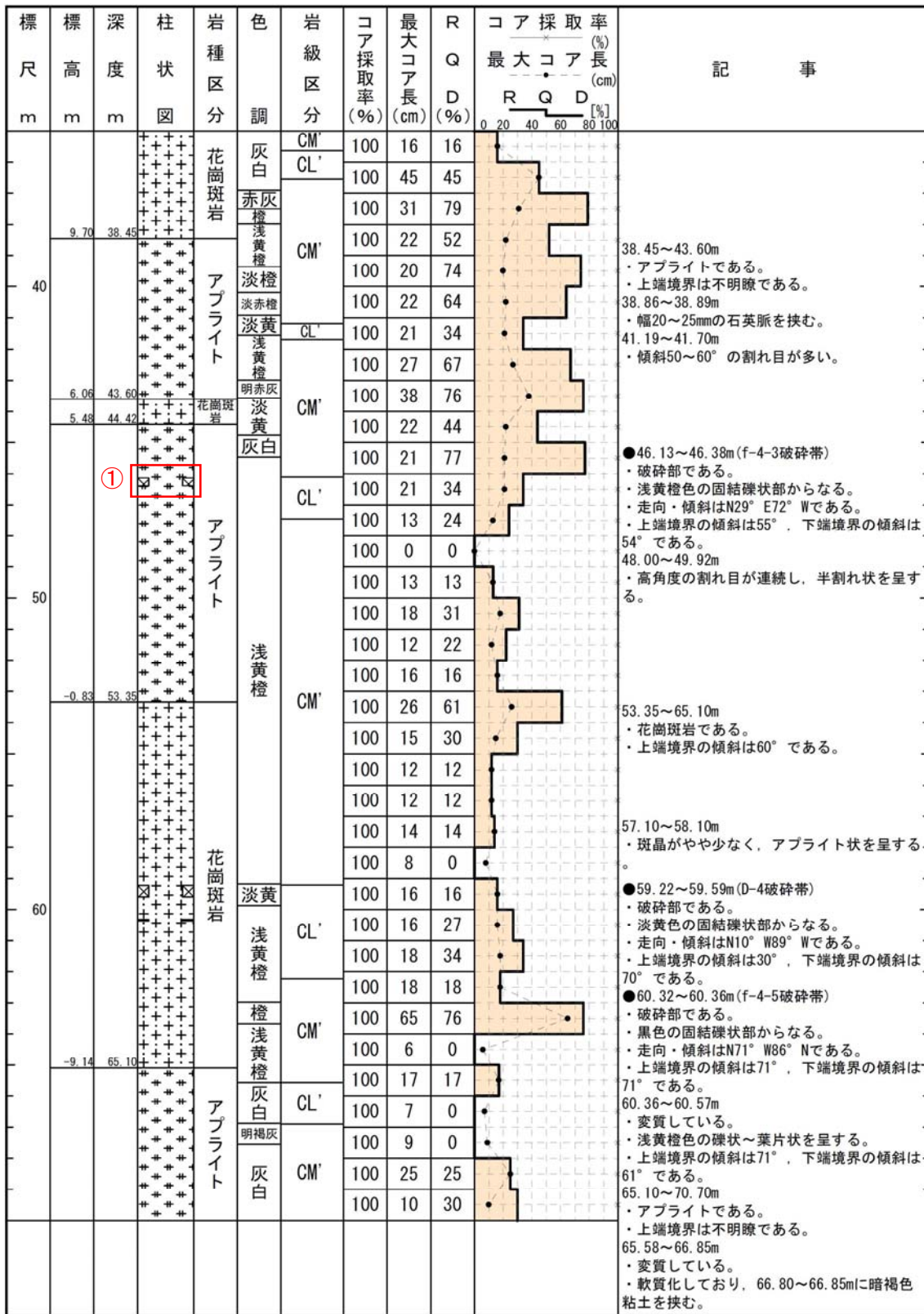




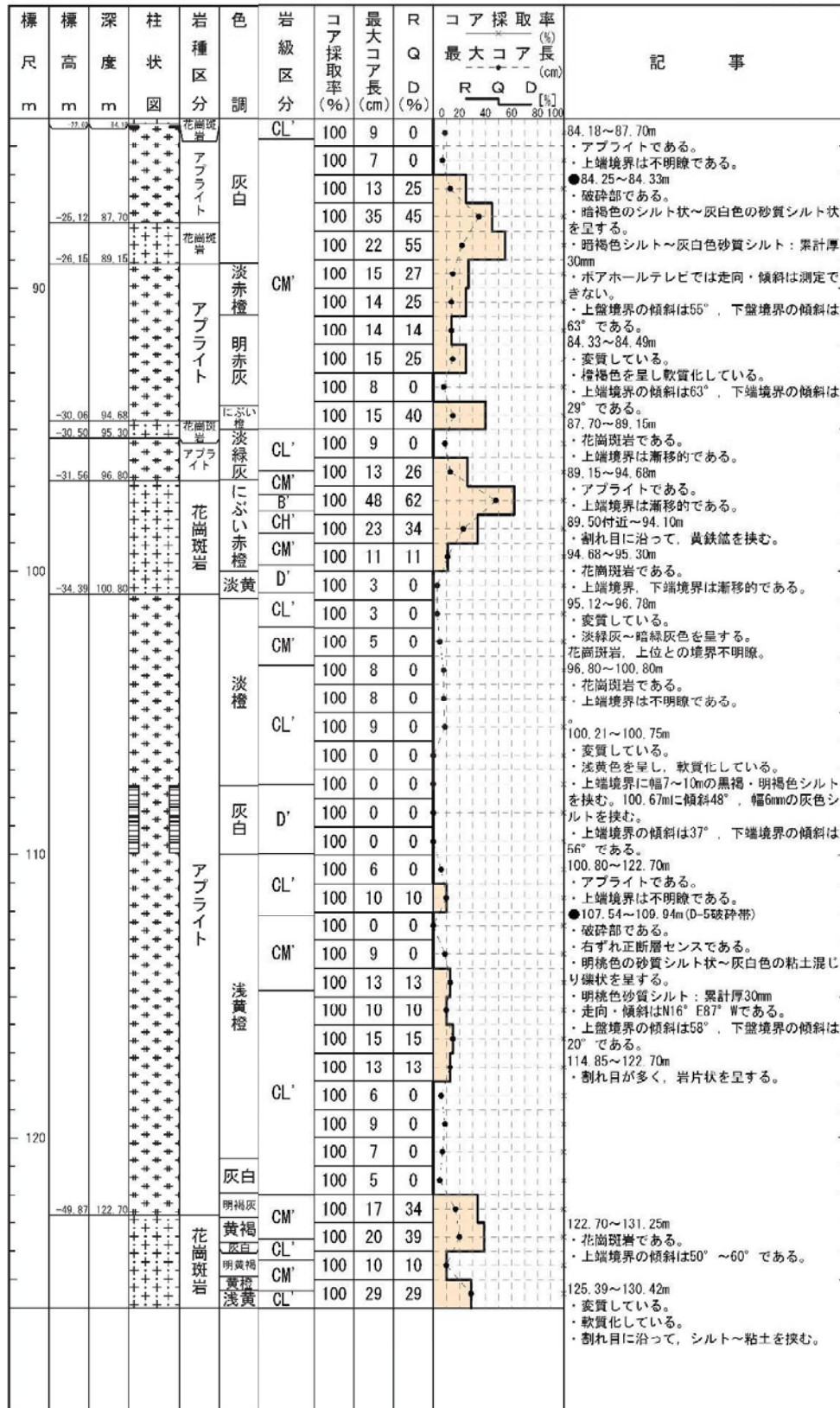
6-7-4-1063

第7.4.4.181図 (2) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 4)

柱状図(35.00m~70.00m)

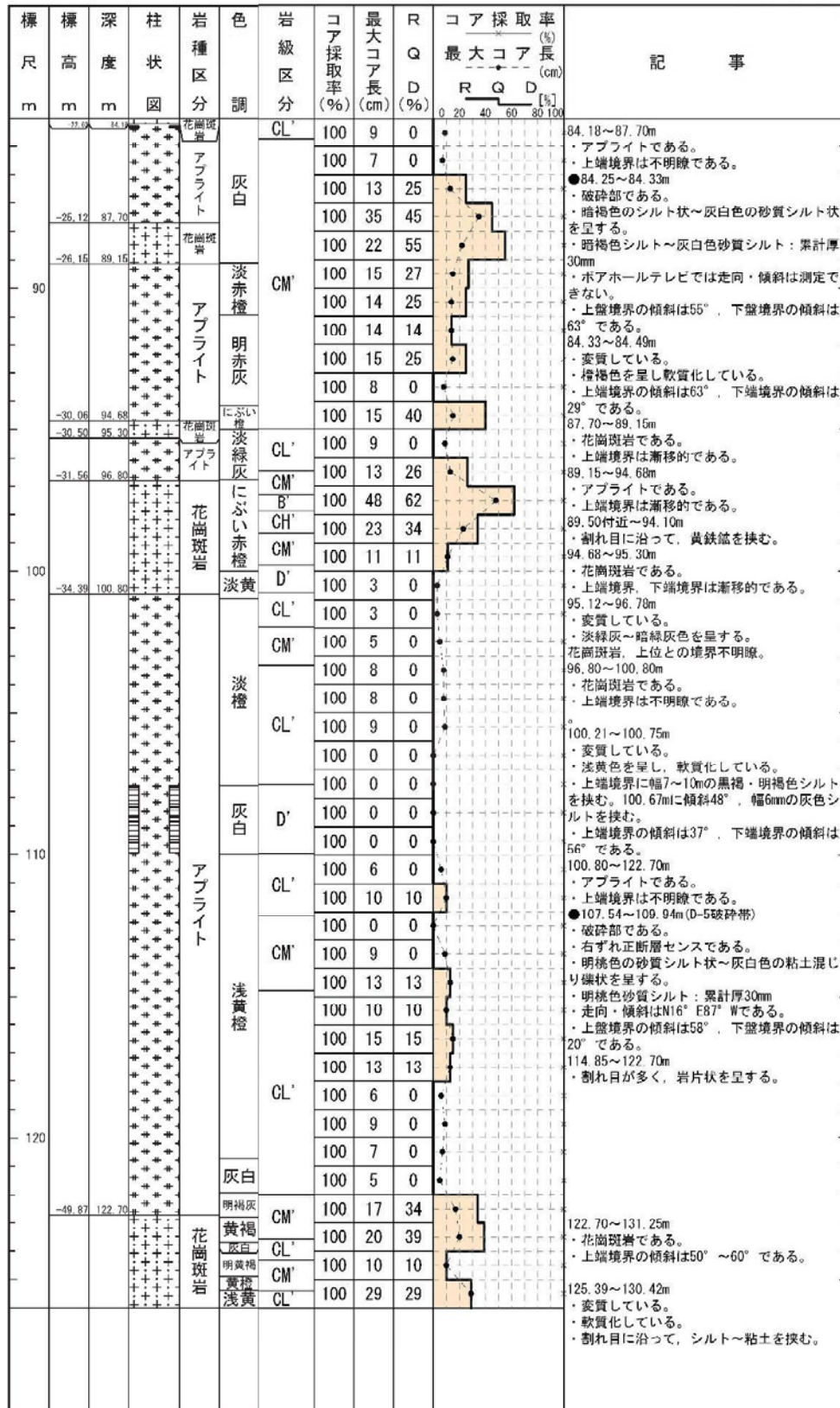


3-98(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1064

第7.4.4.181図 (3) D-6破砕帯及びD-5破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No.4)

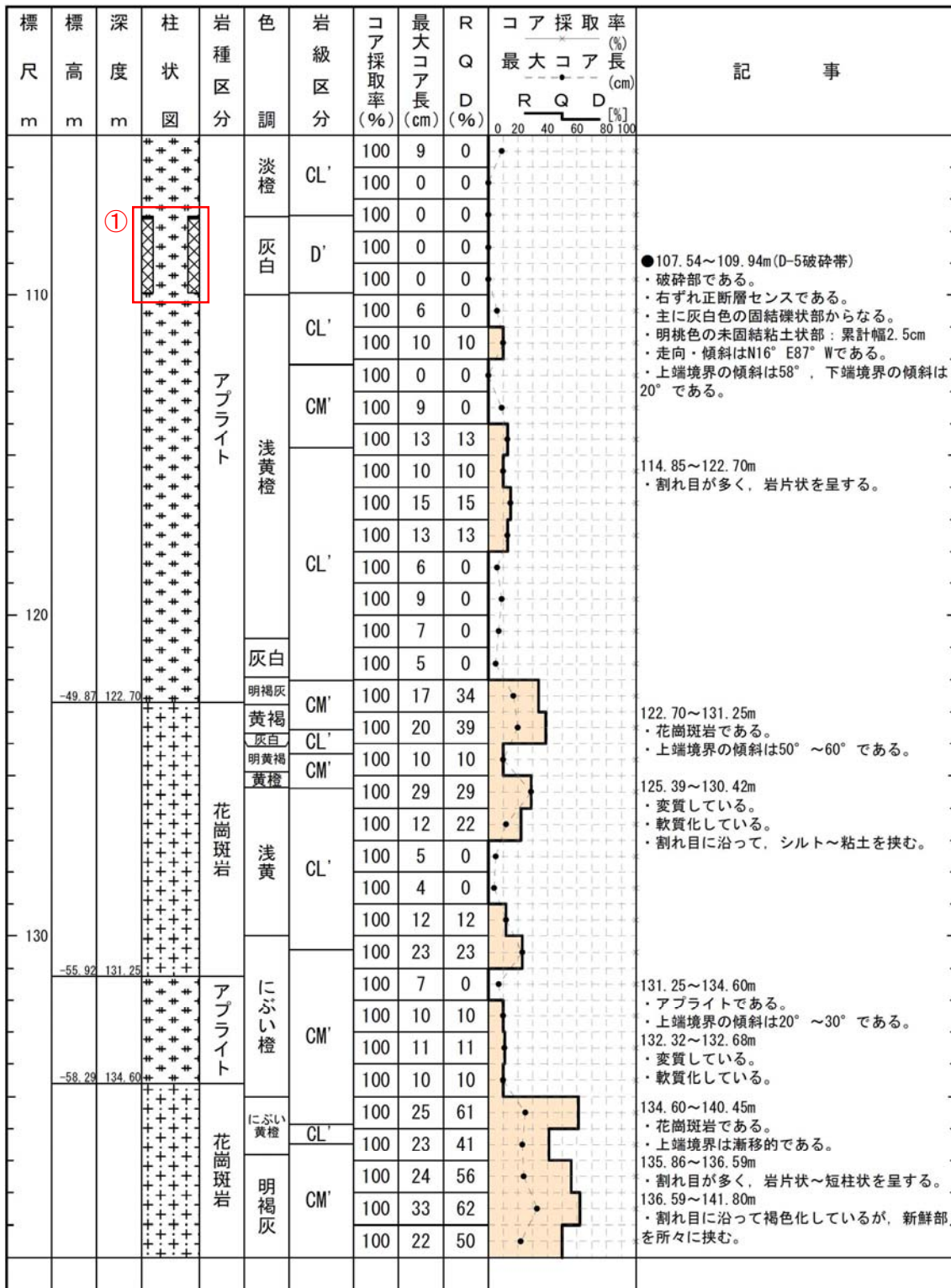


6-7-4-1064

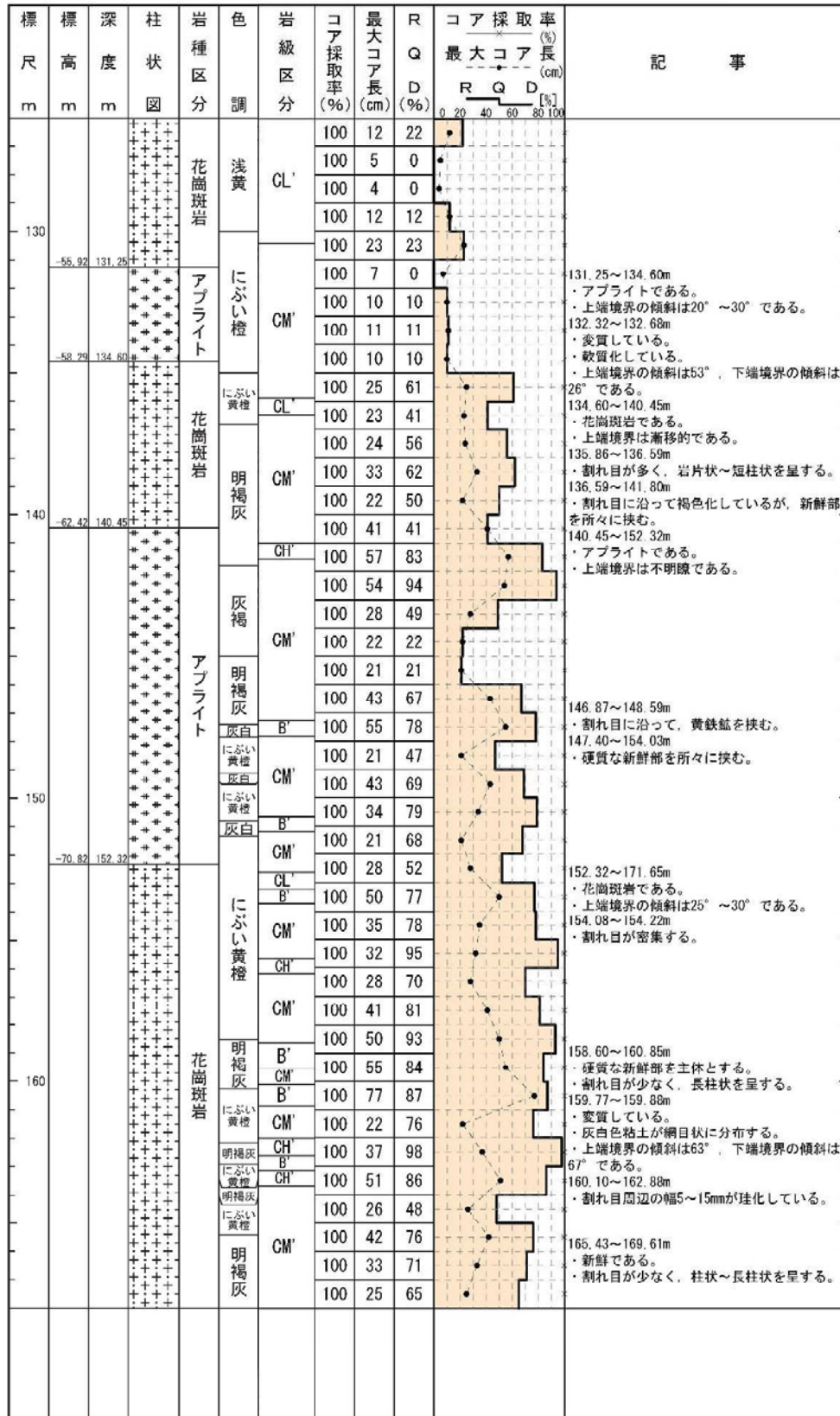
第7.4.4.181図 (3) D-6破砕帯及びD-5破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No.4)

H19-No.4

柱状図(105.00m~140.00m)



3-100(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

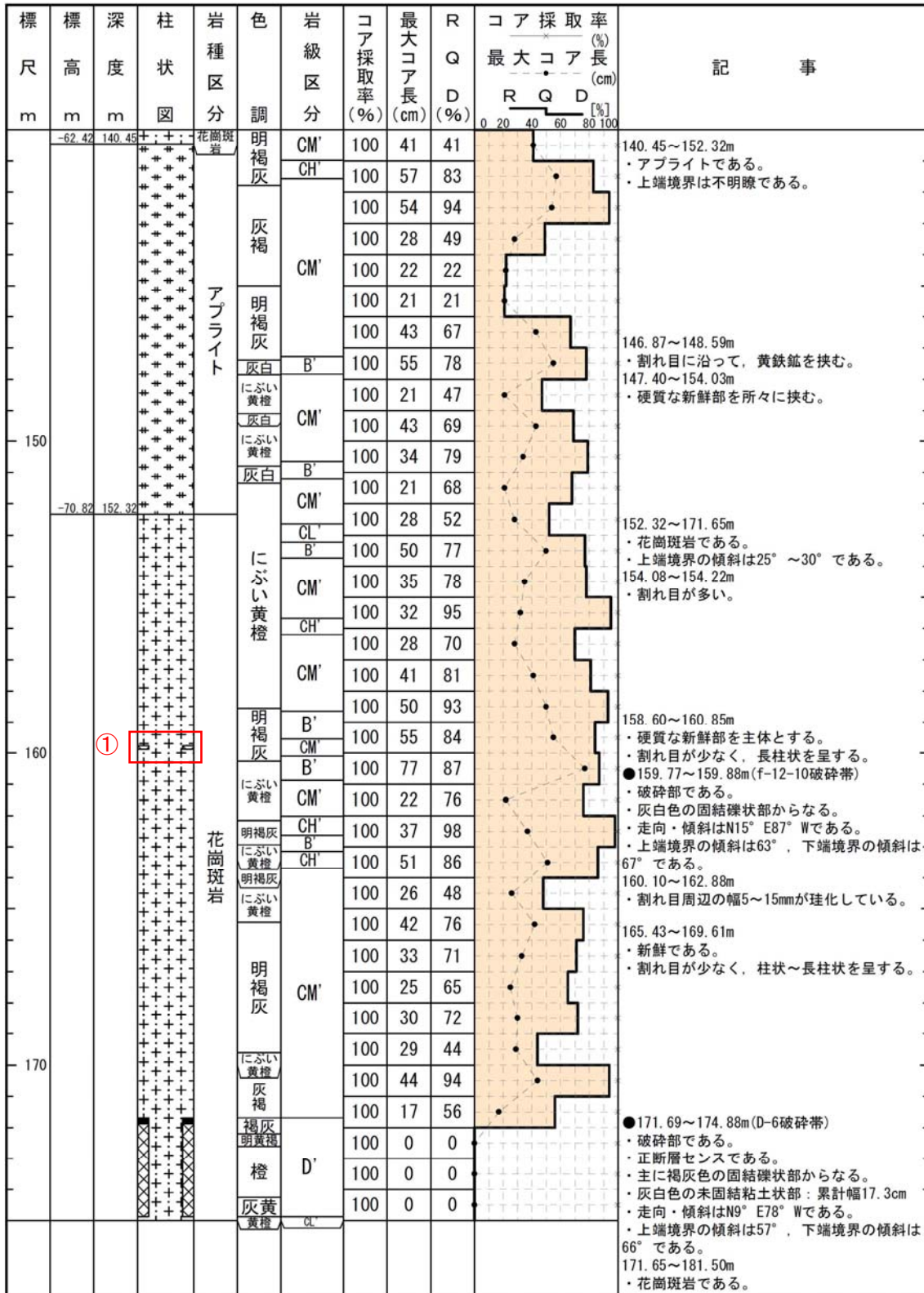


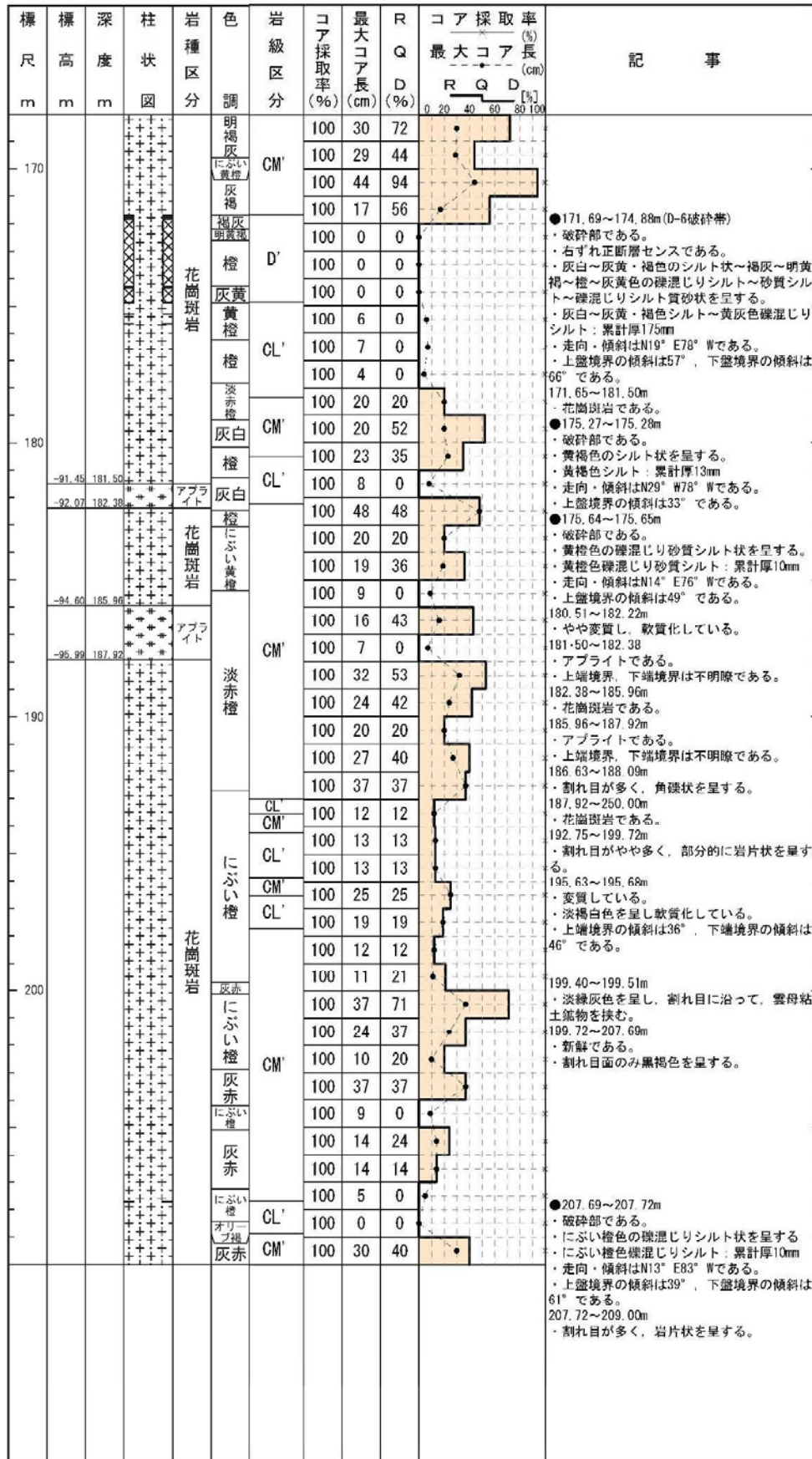
6-7-4-1065

第7.4.4.181図(4) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果(1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図(H19-No.4)

H19-No.4

柱状図(140.00m~175.00m)

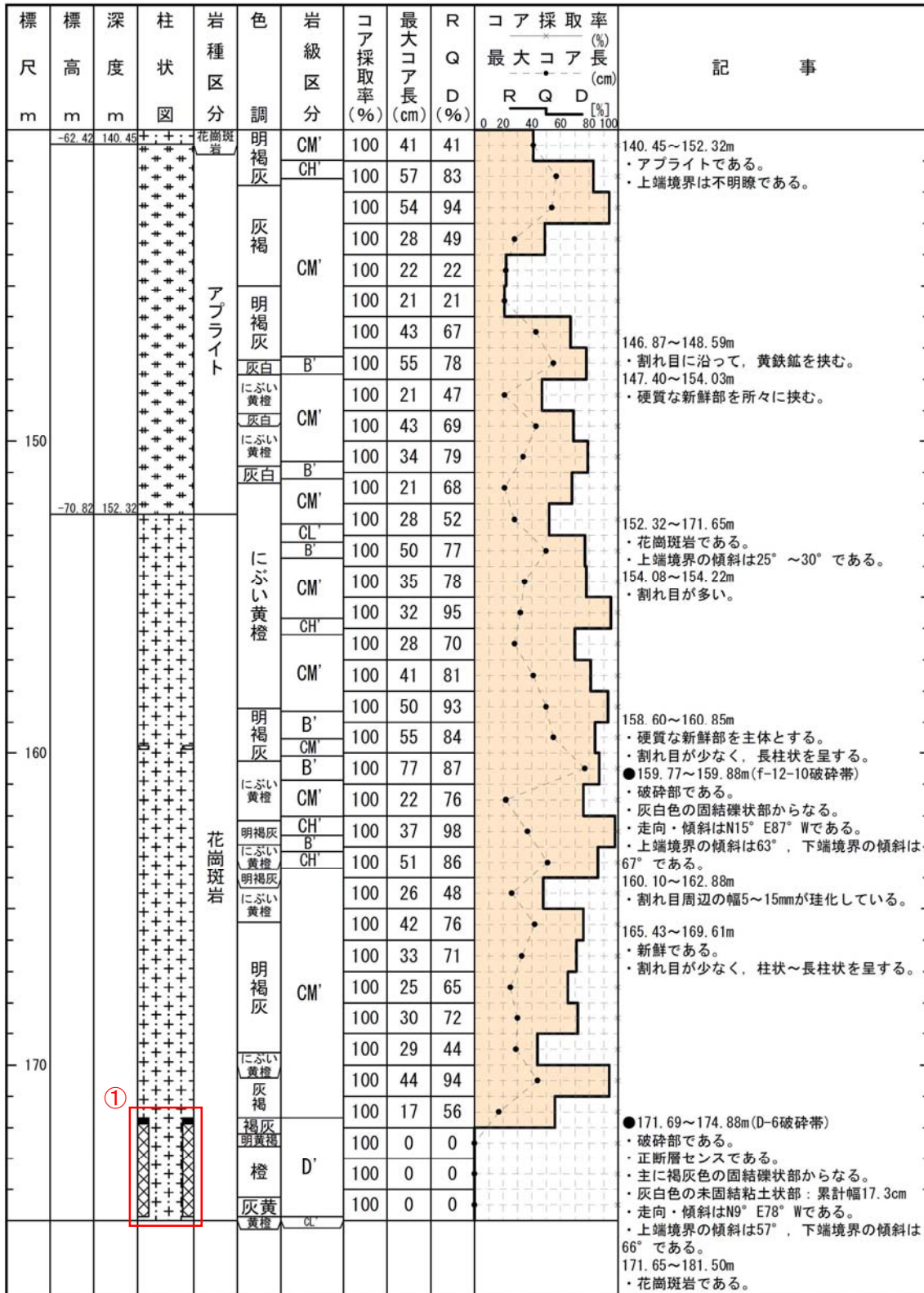


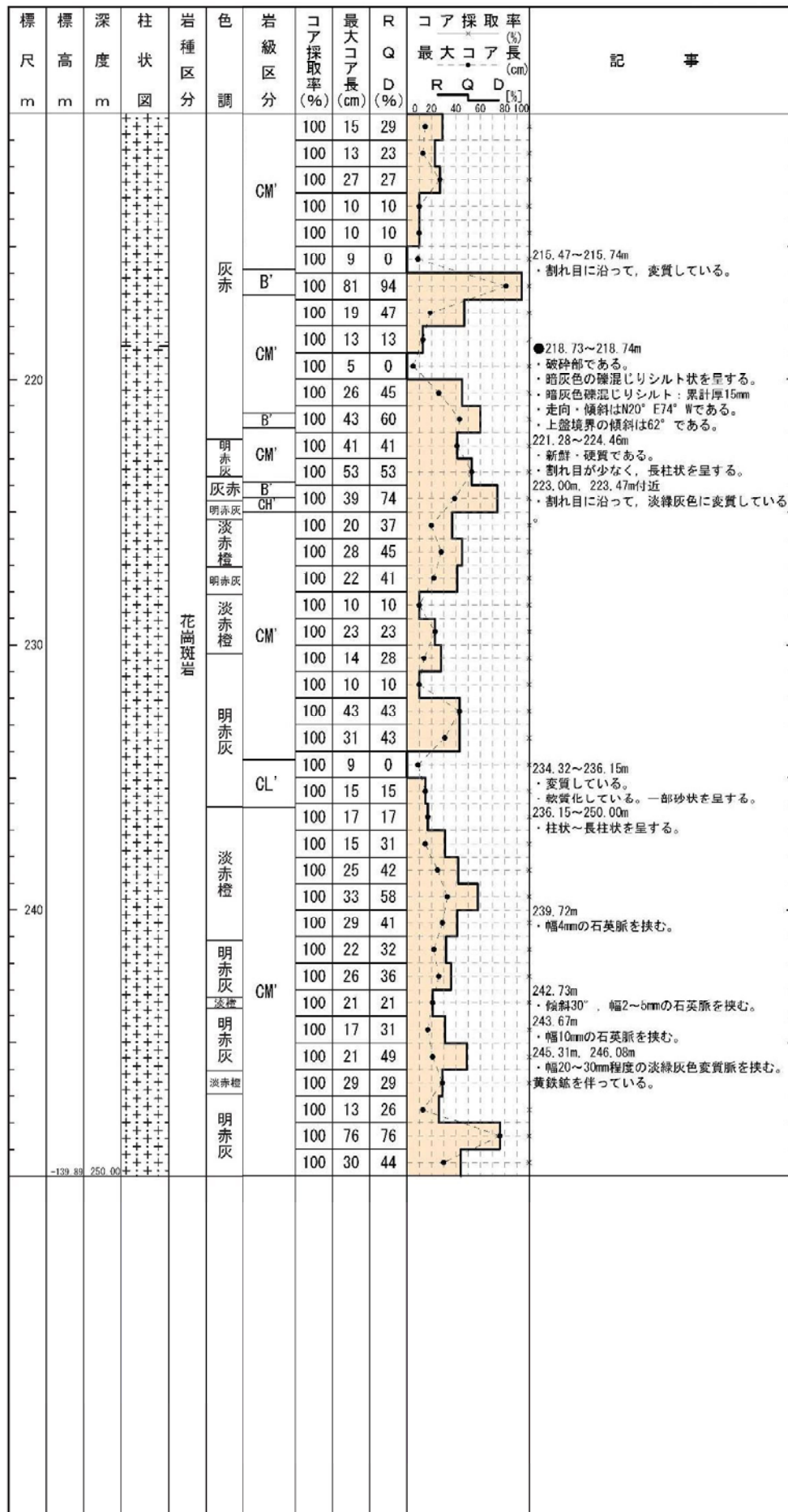


第7.4.4.181図 (5) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No.4)

H19-No.4

柱状図(140.00m~175.00m)

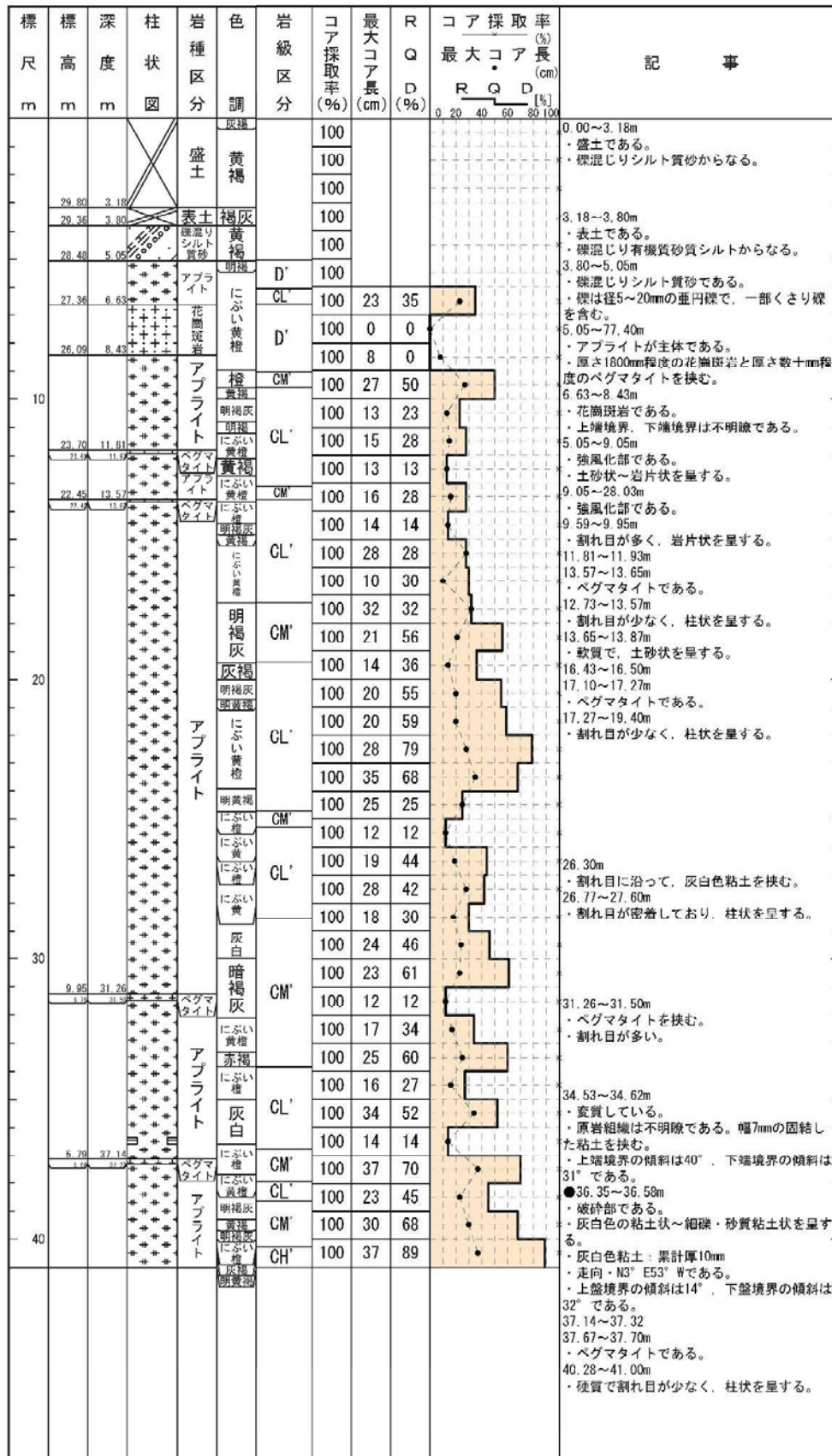




第7.4.4.181図 (6) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 4)

H19-No. 12

孔口標高	I.P.	32.05m	掘削長	250.00m
------	------	--------	-----	---------



6-7-4-1068

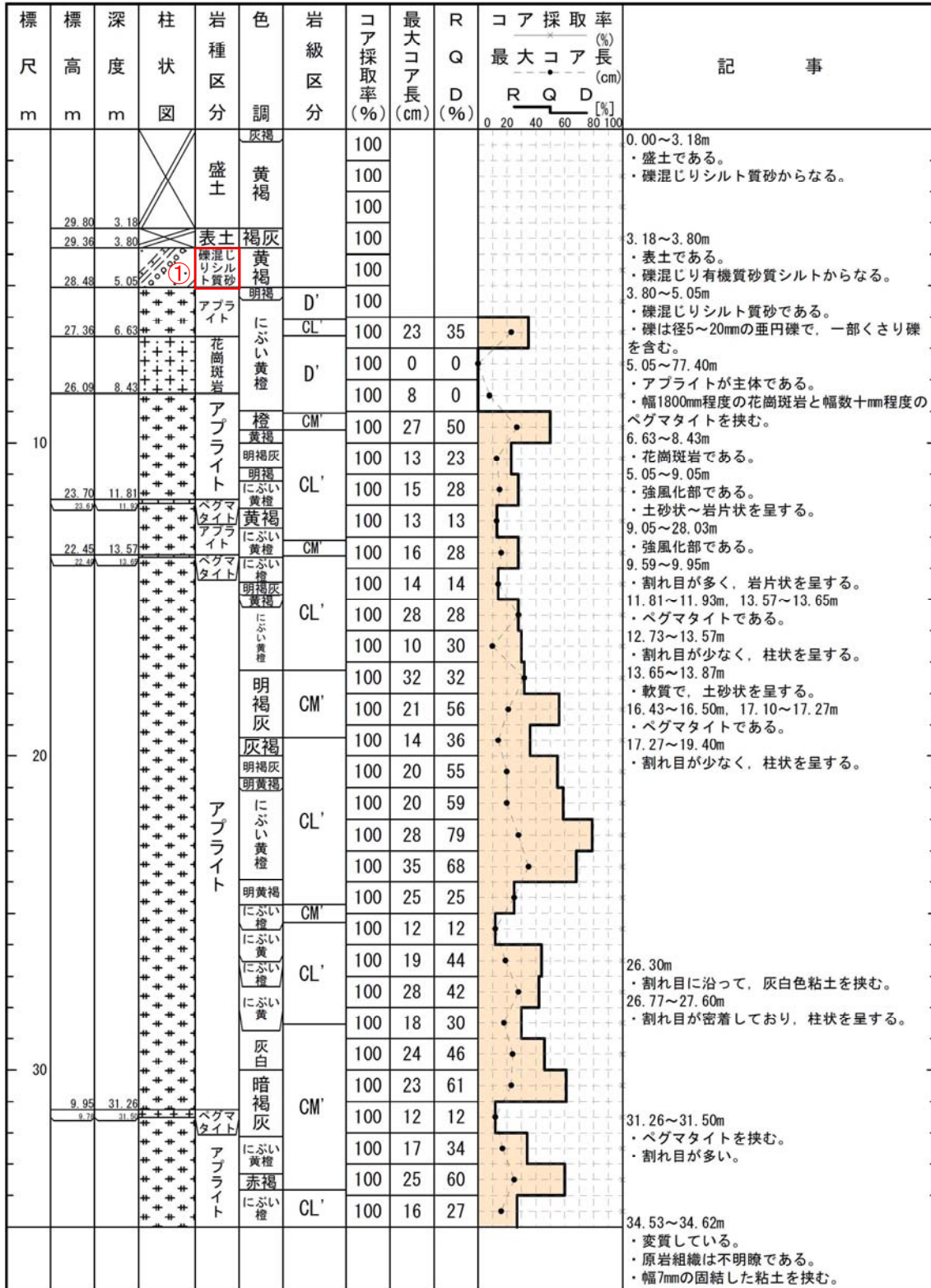
第7.4.4.182図 (1) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 12)

H19-No.12

柱状図(00.00m~35.00m)

H19-No. 12

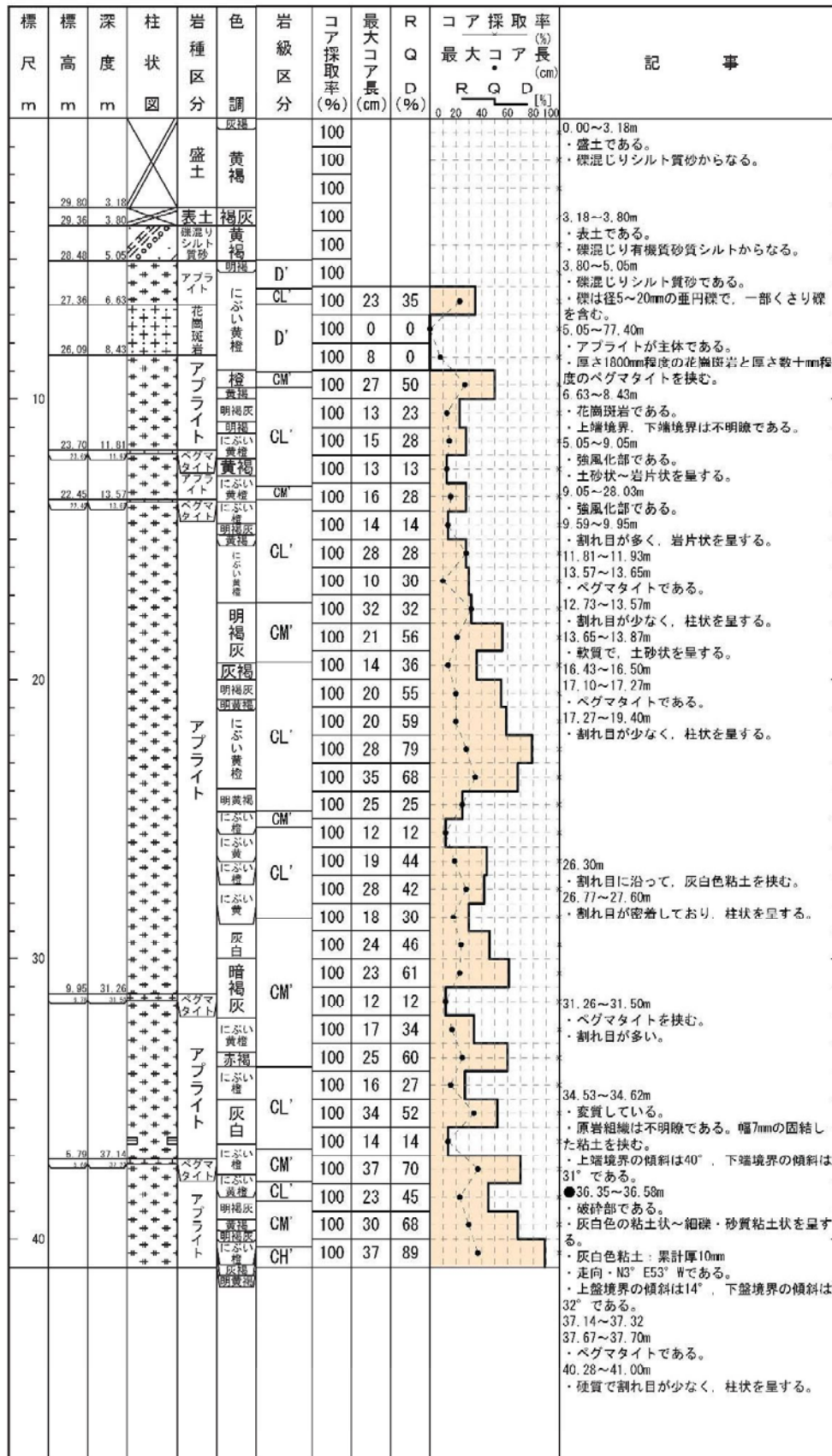
孔 口 標 高	T. P.	32.05m	掘 削 長	250.00m
---------	-------	--------	-------	---------



3-104(分類c)①
表現を統一したため。

H19-No. 12

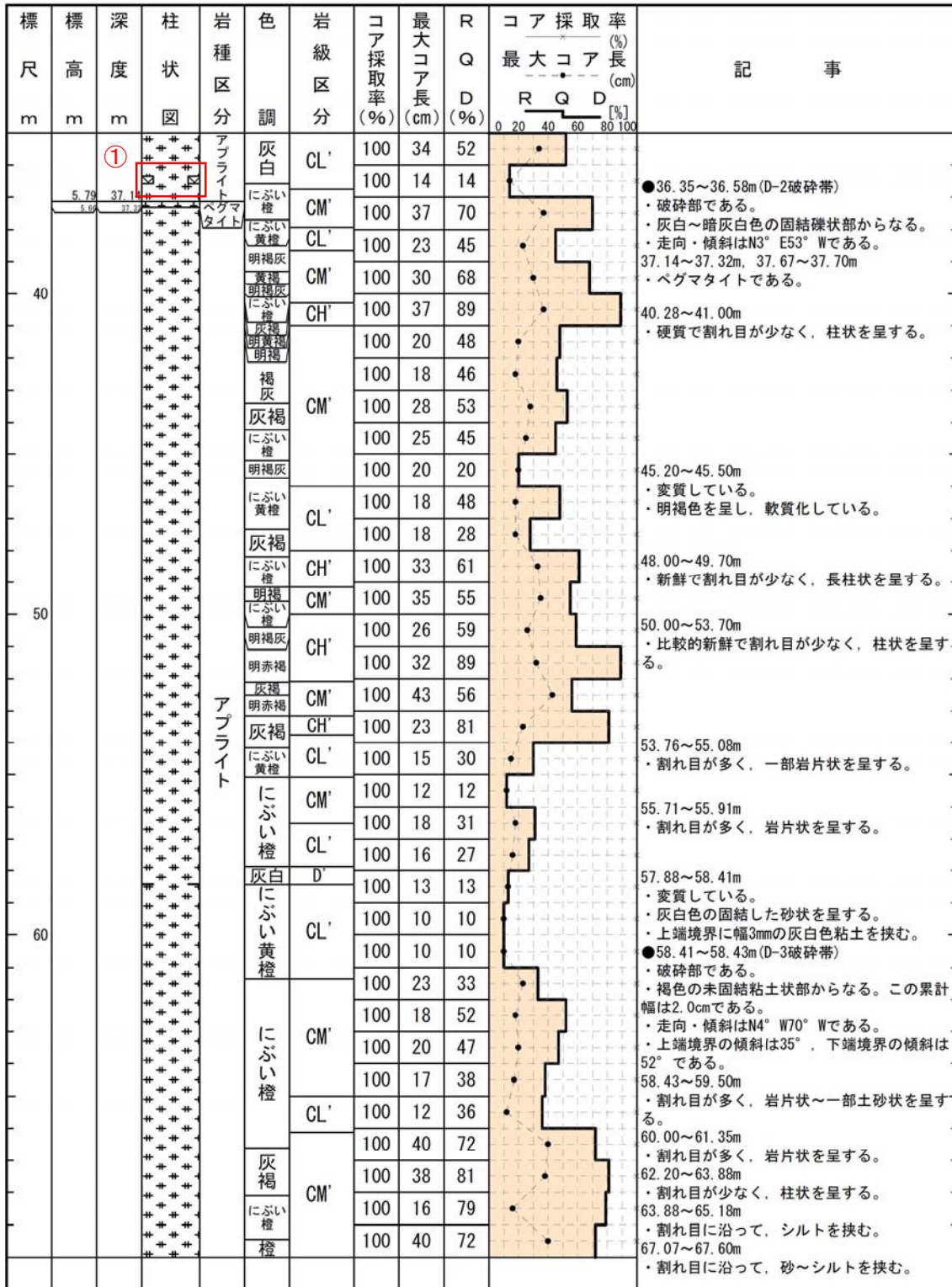
孔口標高	T.P. 32.05m	掘削長	250.00m
------	-------------	-----	---------



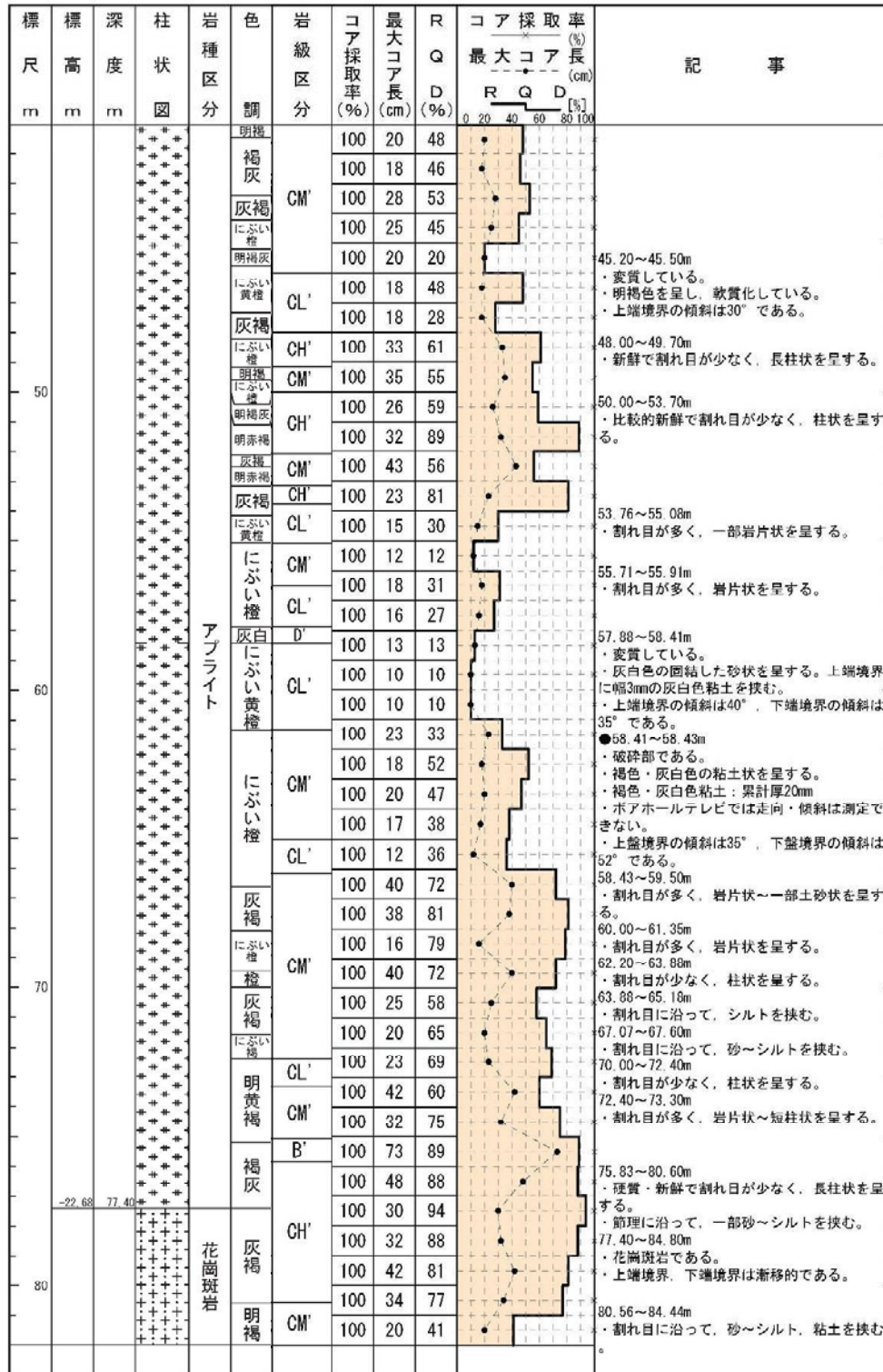
6-7-4-1068

第7.4.4.182図 (1) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 12)

柱状図(35.00m~70.00m)



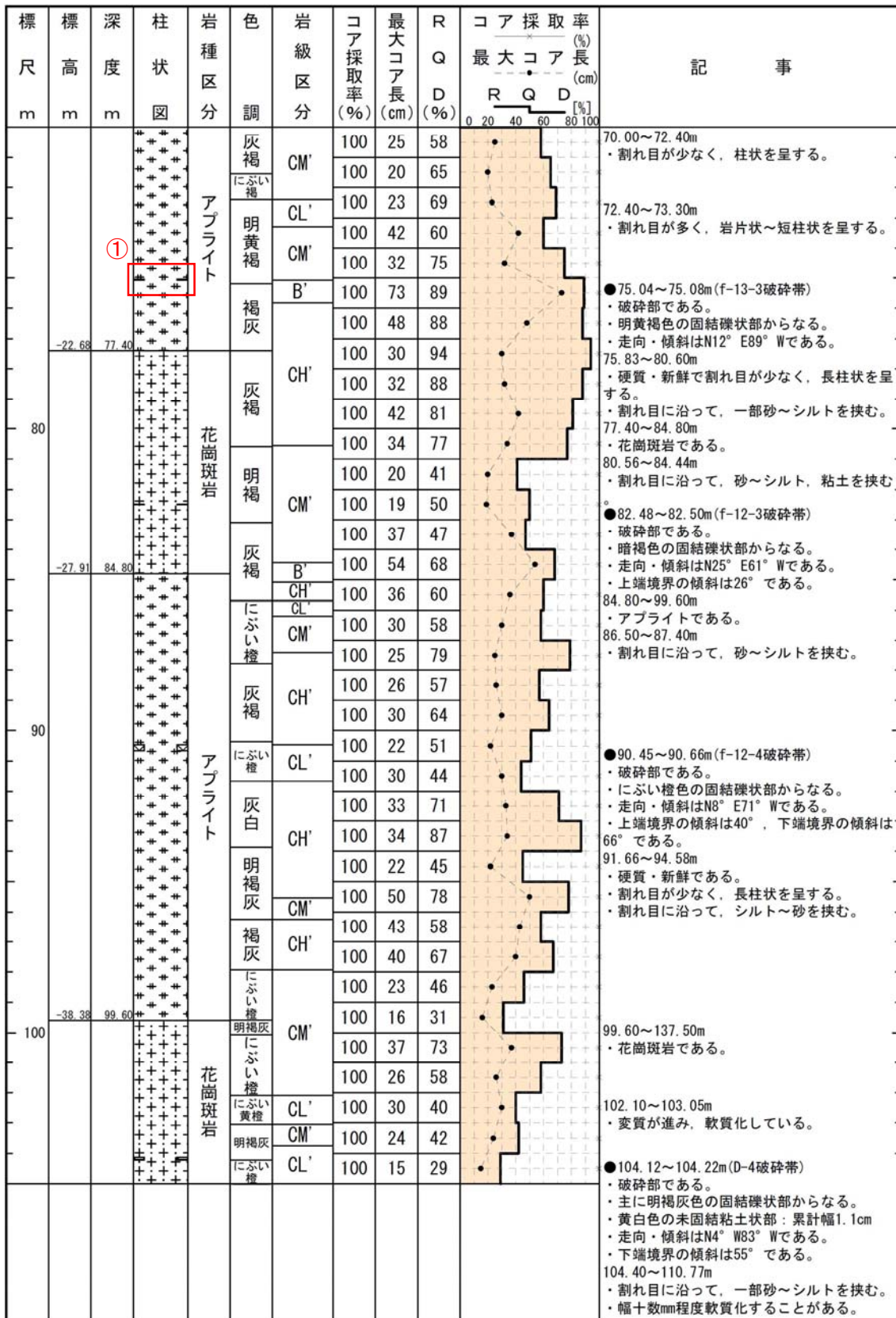
3-105(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



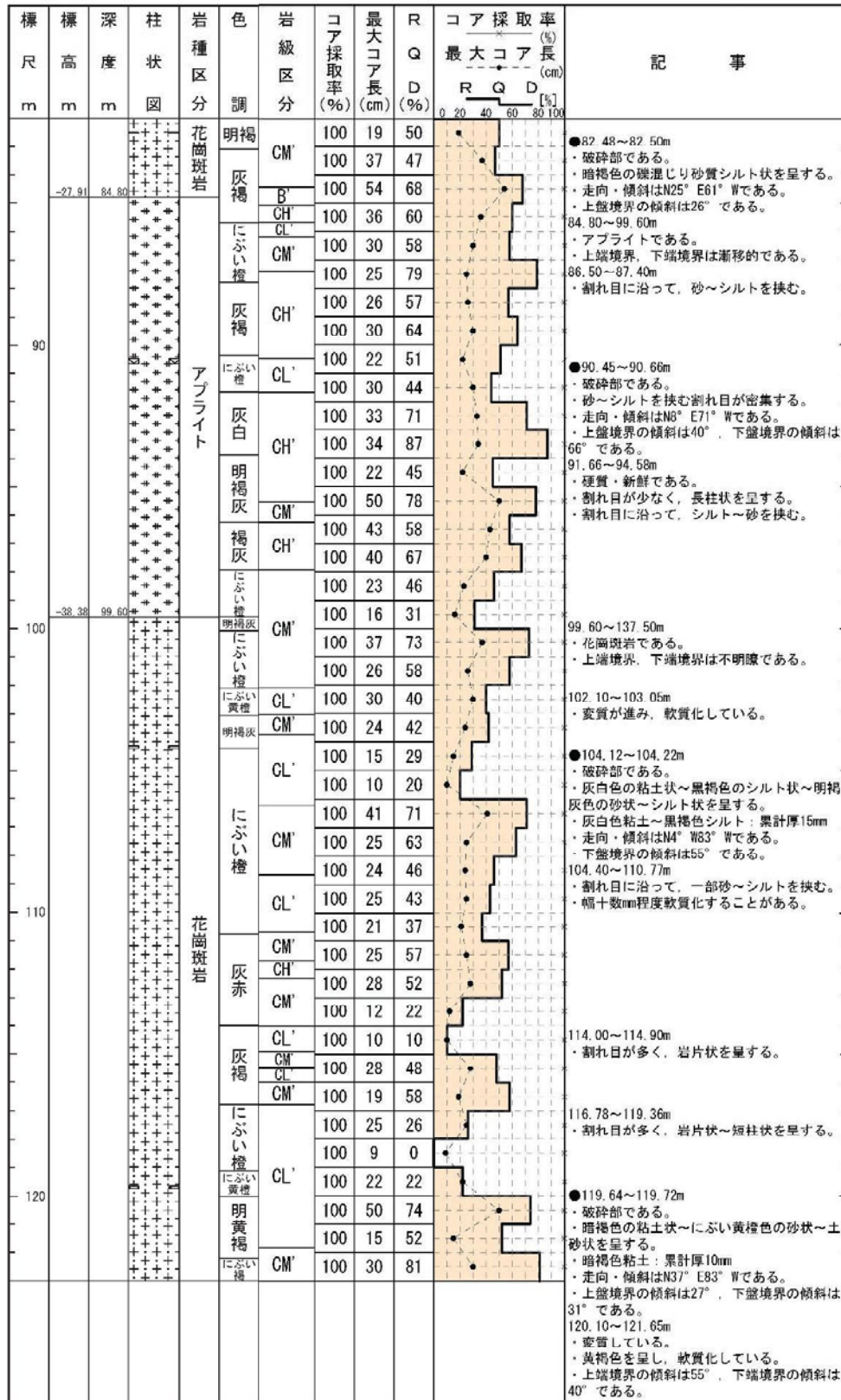
6-7-4-1069

第7.4.4.182図 (2) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 12)

柱状図(70.00m~105.00m)



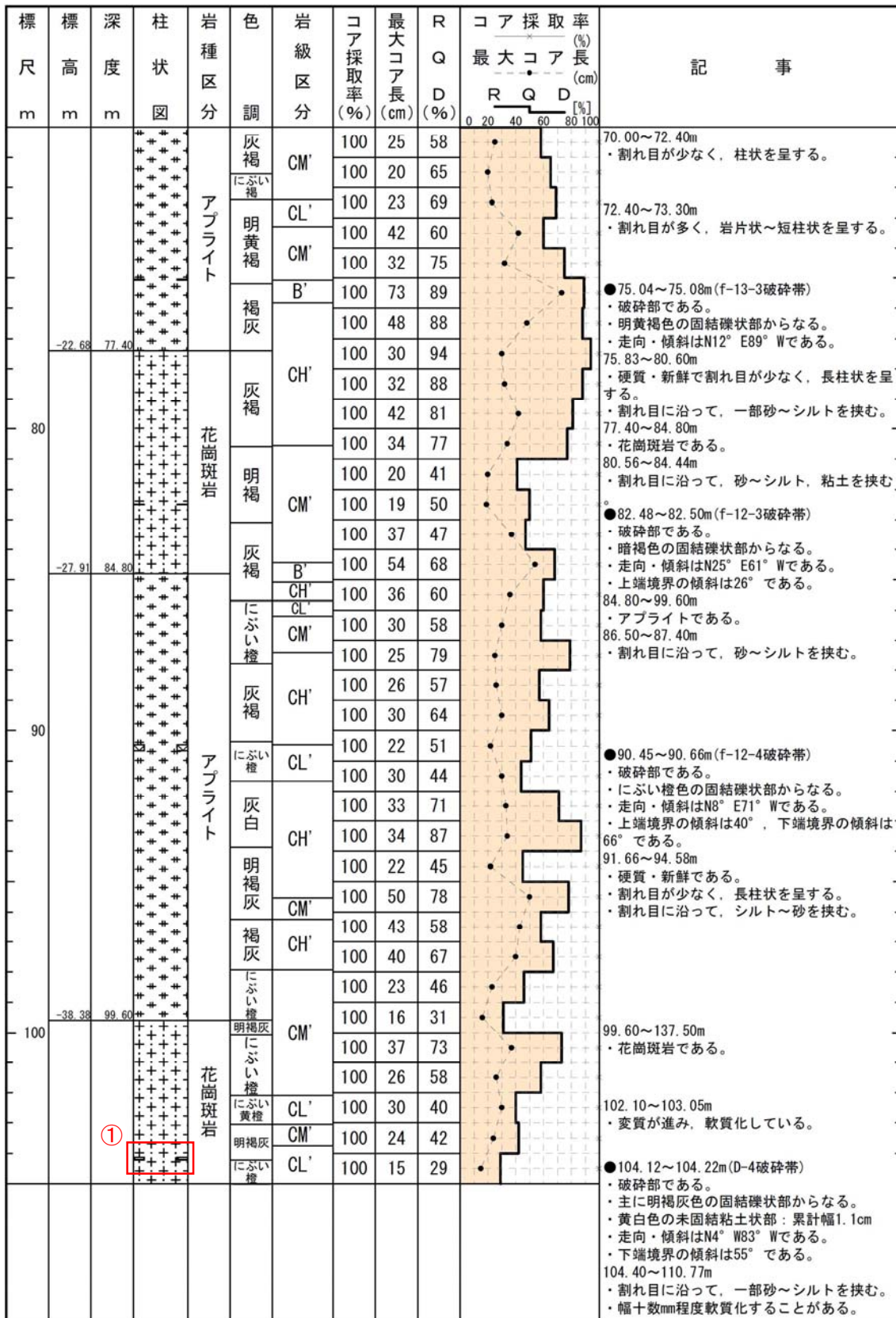
3-106(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1070

第7.4.4.182図 (3) D-6 破碎帯及びD-5 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 12)

柱状図(70.00m~105.00m)



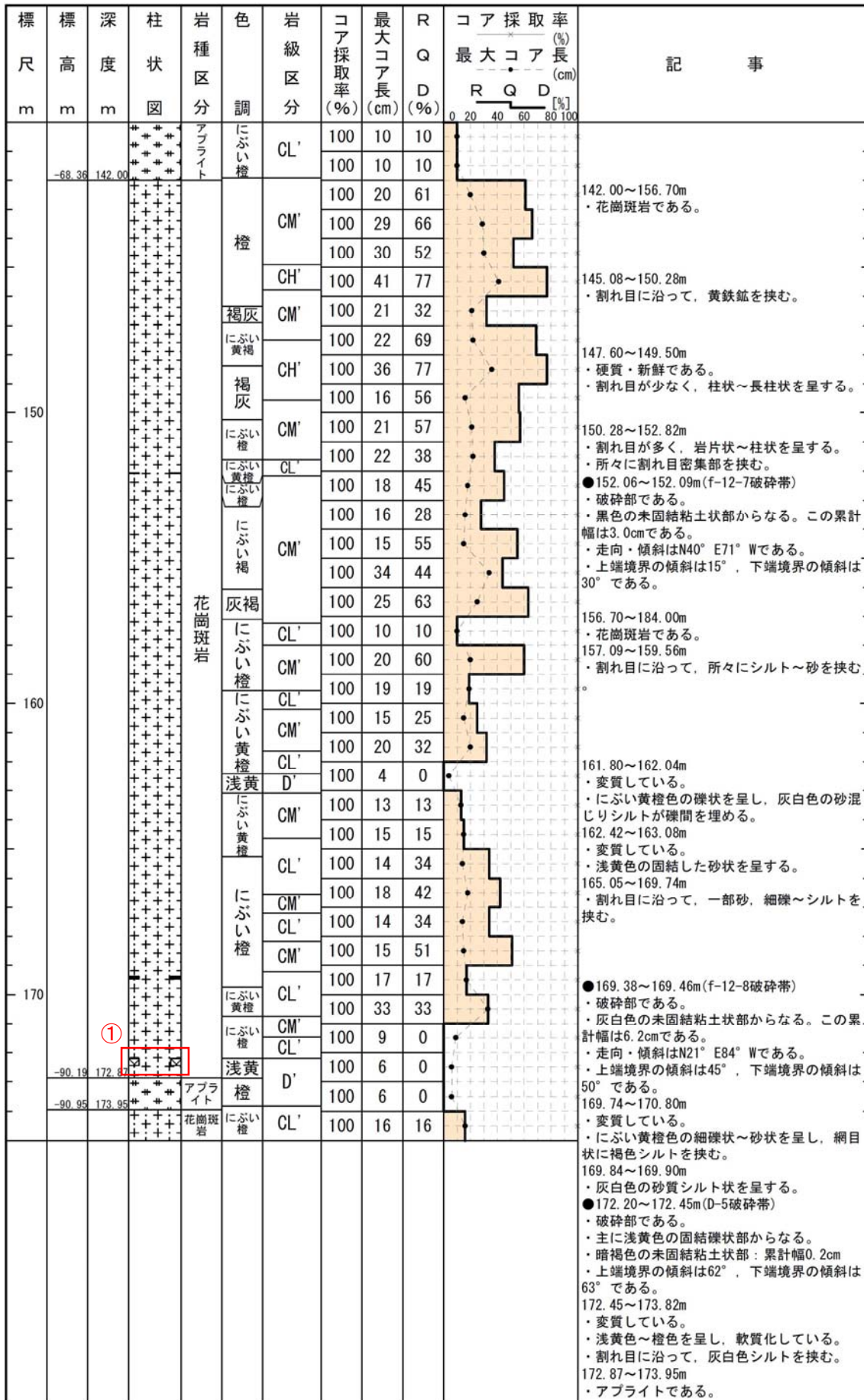
3-107(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩 級 区 分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D	記 事						
170			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙	CM'	100	15	15		<p>165.05~169.74m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目に沿って、一部砂、細礫~シルトを挟む。 <p>●169.38~169.46m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・灰白色の砂質シルト状を呈する。 ・灰白色砂質シルト：累計厚62mm ・走向・傾斜はN21° E84° Wである。 ・上盤境界の傾斜は45°、下盤境界の傾斜は50°である。 <p>169.74~170.80m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・にぶい黄橙色の細礫状~砂状を呈し、網目状に褐色シルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は22°である。 <p>169.84~169.90m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰白色の砂質シルト状を呈する。 <p>●172.20~172.45m(D-5破砕帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・褐色の粘土状~灰白色の礫質粘土状を呈する。 ・褐色粘土：累計厚3mm ・ポアホールテレビでは走向・傾斜は測定できない。 ・上盤境界の傾斜は62°、下盤境界の傾斜は63°である。 <p>172.45~173.82m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・浅黄色~橙色を呈し、軟質化している。 ・割れ目に沿って、灰白色シルトを挟む。 <p>172.87~173.95m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アブライトである。 <p>173.95~179.25m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花崗斑岩である。 <p>179.25~181.10m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アブライトである。 ・上端境界、下端境界は不明瞭である。 <p>180.88~183.00m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目に沿って、シルト、黄鉄鉱を挟む。 ・班晶の一部は、緑色粘土化している。 <p>181.10~250.00m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花崗斑岩である。 <p>183.00~183.43m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・にぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。下端境界に幅3~5mmの暗褐色粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は35°、下端境界の傾斜は62°である。 <p>189.39~189.50m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・灰白色シルトが網目状に分布する。 ・上端境界の傾斜は40°、下端境界の傾斜は35°である。 <p>198.65~199.46m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高角度の割れ目に沿って、変質・粘土化している。 <p>199.46~200.49m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長石は白色粘土化している。 ・割れ目に沿って、白色粘土を挟む。 <p>202.49~203.18m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高角度の割れ目に沿って、シルト~粘土を挟む。 <p>203.90~204.68m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目に沿って、シルト~砂状を呈する。 <p>204.68~204.88m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・明褐色の砂状を呈し、軟質化している。 ・下端境界に幅2mmの褐色粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は88°である。 						
							-90.19	172.87					CL'	100	14	34	
													CM'	100	18	42	
													CL'	100	14	34	
													CM'	100	15	51	
													CL'	100	17	17	
													CM'	100	33	33	
													CL'	100	9	0	
													浅黄 橙	D'	100	6	0
													ア ブ ラ イ ト	橙	100	6	0
						180			+			花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	16	16
				CL'	100					8	0						
				CL'	100					20	45						
				CM'	100					13	36						
				CL'	100					13	13						
				CM'	100					23	56						
				CL'	100					18	43						
				CL'	100					8	0						
				CL'	100					10	10						
				CL'	100					10	10						
190			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙					CM'	100			25	45		
										CM'	100	20	65				
										CM'	100	23	60				
										CH'	100	48	64				
										褐灰 CM'	100	22	83				
										CH'	100	34	60				
										CH'	100	31	69				
										CM'	100	33	48				
										CH'	100	35	89				
										CM'	100	26	55				
										CM'	100	16	41				
						200			+	花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	20	79		
				CL'	100							15	28				
				CL'	100							4	0				
				CH'	100							30	30				
				CH'	100							31	89				
				CL'	100							39	49				
				CH'	100							23	42				
				CL'	100							12	22				
				明褐色 にぶい 黄橙	CM'												

6-7-4-1072

第7.4.4.182図 (5) D-6 破砕帯及びD-5 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No. 12)

柱状図(140.00m~175.00m)



3-108(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

参考3-219

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
210			+	花崗斑岩	青灰 明黄褐色	GM'	100	23	63		<ul style="list-style-type: none"> 207.32~208.33m ・高角度の割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。
						CH'	100	43	95		
						CL'	100	18	18		
						CH'	100	27	59		
						CH'	100	23	55		
						CM'	100	20	77		
						CM'	100	28	74		
						CH'	100	48	77		
						CH'	100	40	85		
						GL'	100	11	22		
						GL'	100	17	28		
						220			+	花崗斑岩	
GM'	100	23	73								
GM'	100	24	78								
GM'	100	15	39								
GM'	100	23	56								
GM'	100	24	51								
GM'	100	20	48								
GL'	100	7	0								
GL'	100	5	0								
GL'	100	8	0								
GL'	100	6	0								
230			+	花崗斑岩	にぶい黄褐色						GM'
						GM'	100	10	10		
						GM'	100	20	65		
						GM'	100	32	61		
						GM'	100	18	56		
						GM'	100	18	18		
						GM'	100	15	29		
						GM'	100	14	52		
						GM'	100	20	52		
						GL'	100	15	25		
						GL'	100	9	0		
						240			+	花崗斑岩	褐色
GM'	100	30	48								
GM'	100	30	53								
GM'	100	32	32								
GM'	100	25	37								
GM'	100	22	64								
GM'	100	28	54								
GM'	100	24	45								
GM'	100	24	45								
GM'	100	24	45								
GM'	100	24	45								

6-7-4-1073

第7.4.4.182図 (6) D-6破砕帯及びD-5破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H19-No.12)

柱状図(210.00m~245.00m)



3-109~3-111(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H24-B11-2

孔口標高	I.P.	3.14m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				埋土	にぶい 黄褐色		100						0.00~5.00m ・埋土である。
		-0.40			灰黄褐色		100						
		5.00			にぶい 黄		100						
					明黄褐色		100						
					にぶい 黄褐色		100						
					灰黄褐色		100						
					礫混り 灰黄		100						5.00~7.59m ・礫混り砂である。
		-2.23			褐灰		100						
		7.59			黄灰		100						
					灰黄褐色		100						7.59~13.92m ・砂である。 ・中粒~粗粒砂が主体である。
					灰黄		100						
					黄灰		100						
					砂		100						
					灰		100						
					にぶい 黄褐色		100						
		-6.70			礫混り 砂		100						13.92~14.94m ・礫混り砂である。 ・細礫の混る粗粒砂が主体である。
		13.92			灰		100						
					灰黄		100						
					砂		100						14.94~17.04m ・砂である。 ・粗粒砂が主体である。
		-7.42			灰		100						
		14.94			灰		100						
					礫混り 砂		100						17.04~18.73m ・礫混り砂である。 ・粗粒砂が主体である。
		-8.91			礫混り 砂		100						
		17.04			礫混り 砂		100						
					有機質土 混り砂		100						18.73~19.05m ・有機質土混り砂である。
		-10.10			有機質土 混り砂		100						
		18.73			有機質土 混り砂		100						
					黄灰		100						19.05~22.69m ・有機質土混り砂である。
		-10.33			黄灰		100						
		19.05			黄灰		100						
					シルト・礫 混り砂/砂 礫互層		100						22.69~25.13m ・シルト・礫混り砂、砂礫互層である。 ・中粒砂が主体で、径10~50mmの垂角~垂円 礫を40~60%含む。
		-12.90			シルト・礫 混り砂/砂 礫互層		100						
		22.69			シルト・礫 混り砂/砂 礫互層		100						
					礫混り シルト 質砂		100						25.13~26.19m ・礫混りシルト質砂である。
		-14.63			礫混り シルト 質砂		100						
		25.13			礫混り シルト 質砂		100						
					明褐 灰	CL'	100	20	42				26.19~123.51m ・アプライトである。
		-15.38			明褐 灰	CM'	100	18	18				
		26.19			明褐 灰	CM'	100	18	18				
					淡橙 明褐	CL'	100	10	10				28.17~28.37m ・風化部である。
					明褐 灰	CL'	100	15	15				
					明褐 灰	CL'	100	11	11				
					明褐 灰	CM'	100	29	54				
					灰白	D'	100	14	24				
					灰白	D'	100	4	0				34.05~34.73m ・風化部である。
					にぶい 黄褐色	CL'	100	6	0				
					にぶい 黄褐色	D'	100	1	0				
					明褐 灰	CM'	100	6	0				
					明褐 灰	CM'	100	6	0				
					明褐 灰	CM'	100	6	0				
					明褐 灰	CM'	100	20	47				39.94~42.09m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。

6-7-4-1075

第7.4.4.183図 (1) D-6 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-2)

H24-B11-2

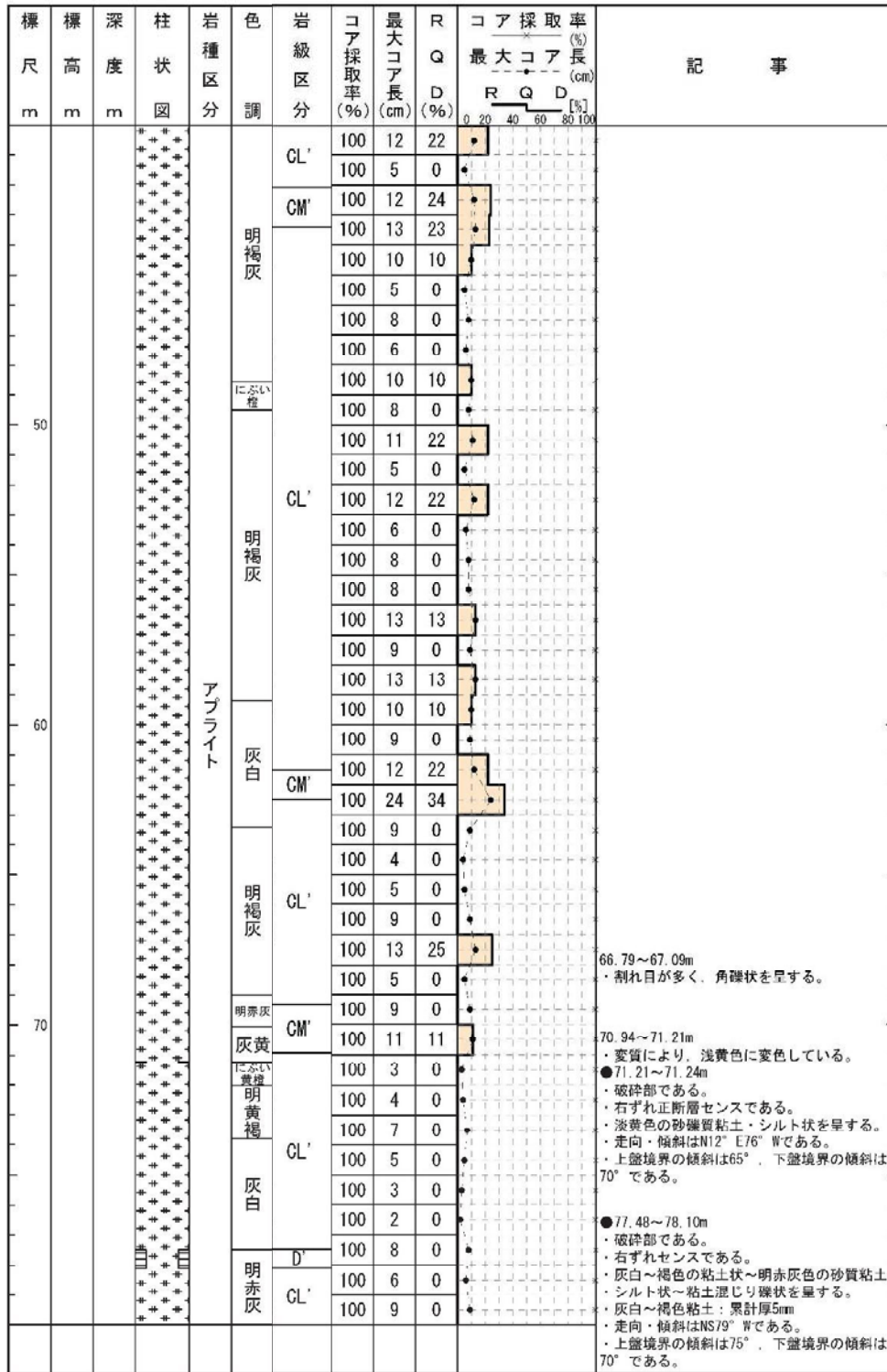
柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B11-2

孔口標高	T.P.	3.14m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)	
				埋土	にぶい 黄褐		100					0.00~5.00m ・埋土である。
					灰黄褐		100					
					にぶい 黄		100					
					明黄褐		100					
					にぶい 黄橙		100					
		-0.40	5.00		黄褐		100				5.00~7.59m ・礫混じり砂である。	
				礫混じり砂		100						
		-2.23	7.59		灰黄 褐灰 黄灰		100					
				灰黄褐		100						
				砂	灰黄 黄灰		100					
10					灰		100				7.59~13.92m ・砂である。 ・中粒~粗粒砂が主体である。	
		-6.70	13.92		にぶい 黄橙		100					
				砂	灰		100					
		-7.42	14.94		礫混じり砂		100					
				砂	灰黄 灰		100					
		-8.91	17.04		灰		100				13.92~14.94m ・礫混じり砂である。 ・細礫の混じる粗粒砂が主体である。 14.94~17.04m ・砂である。 ・粗粒砂が主体である。 17.04~18.73m ・礫混じり砂である。 ・粗粒砂が主体である。 ・有機物を少量含む。 18.73~19.05m ・礫質砂である。 19.05~22.69m ・有機質土混じり砂である。	
		-10.10	18.73		礫混じり砂		100					
		-10.33	19.05		礫質砂		100					
20					黄灰		100					
		-12.90	22.69		有機質土混じり砂		100					
		-14.63	25.13		シルト・礫混じり砂 /砂礫互層	褐灰	100				22.69~25.13m ・シルト・礫混じり砂、砂礫互層である。 ・中粒砂が主体で、径10~50mmの垂角~垂円礫を40~60%含む。 25.13~26.19m ・礫混じりシルト質砂である。	
		-15.38	26.19		礫混じり シルト質砂	灰オリーブ 灰黄	100					
					アプライト	明褐灰	100	20	42			
					淡橙	CL'	100	18	18			
						CL'	100	10	10			
											26.19~28.37m ・アプライトである。 28.17~28.37m ・風化部である。	

3-112~3-117(分類c)①
表現を統一したため。



6-7-4-1076

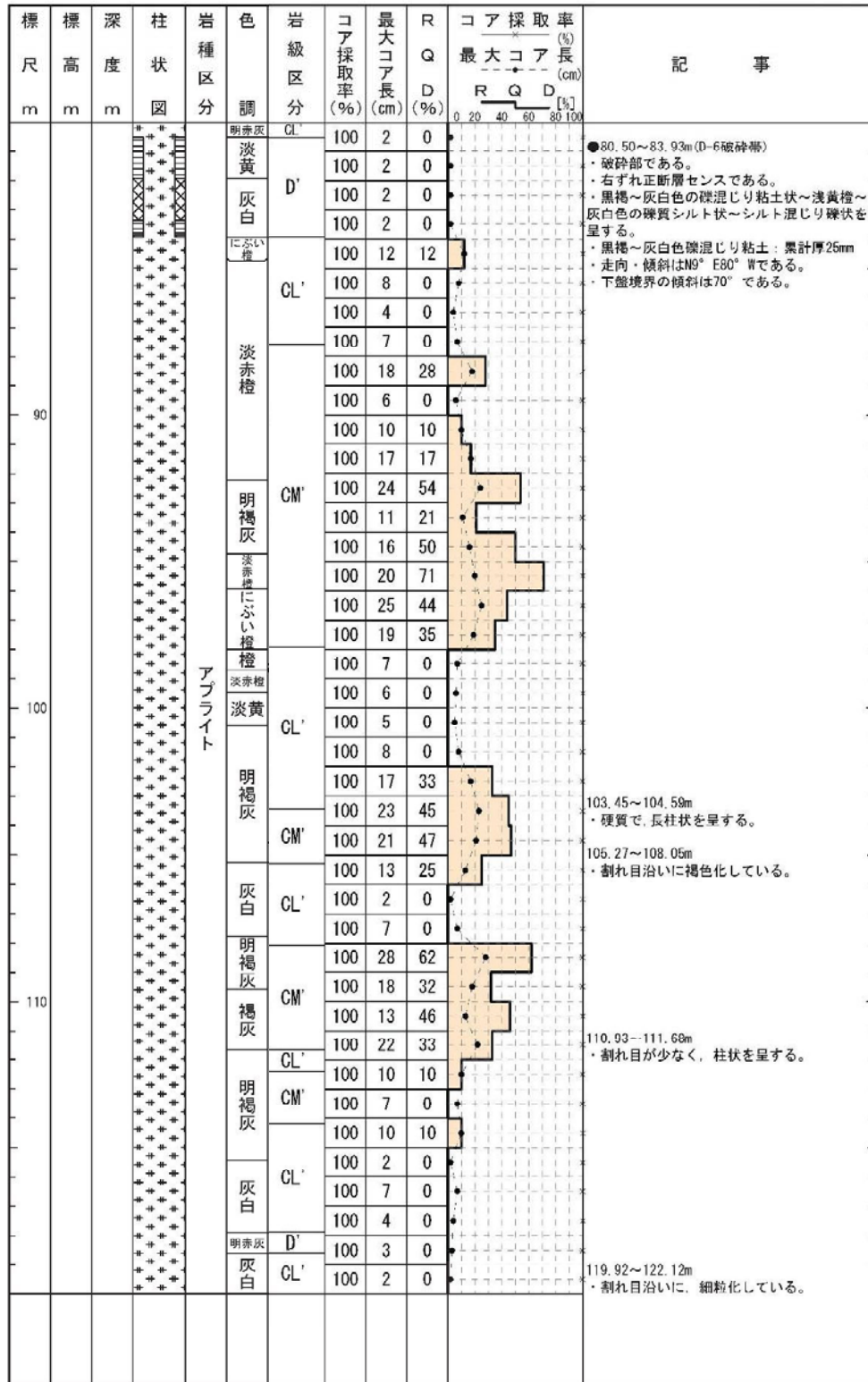
第7.4.4.183図 (2) D-6 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-2)

H24-B11-2

柱状図(60.00m~90.00m)



3-118(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



6-7-4-1077

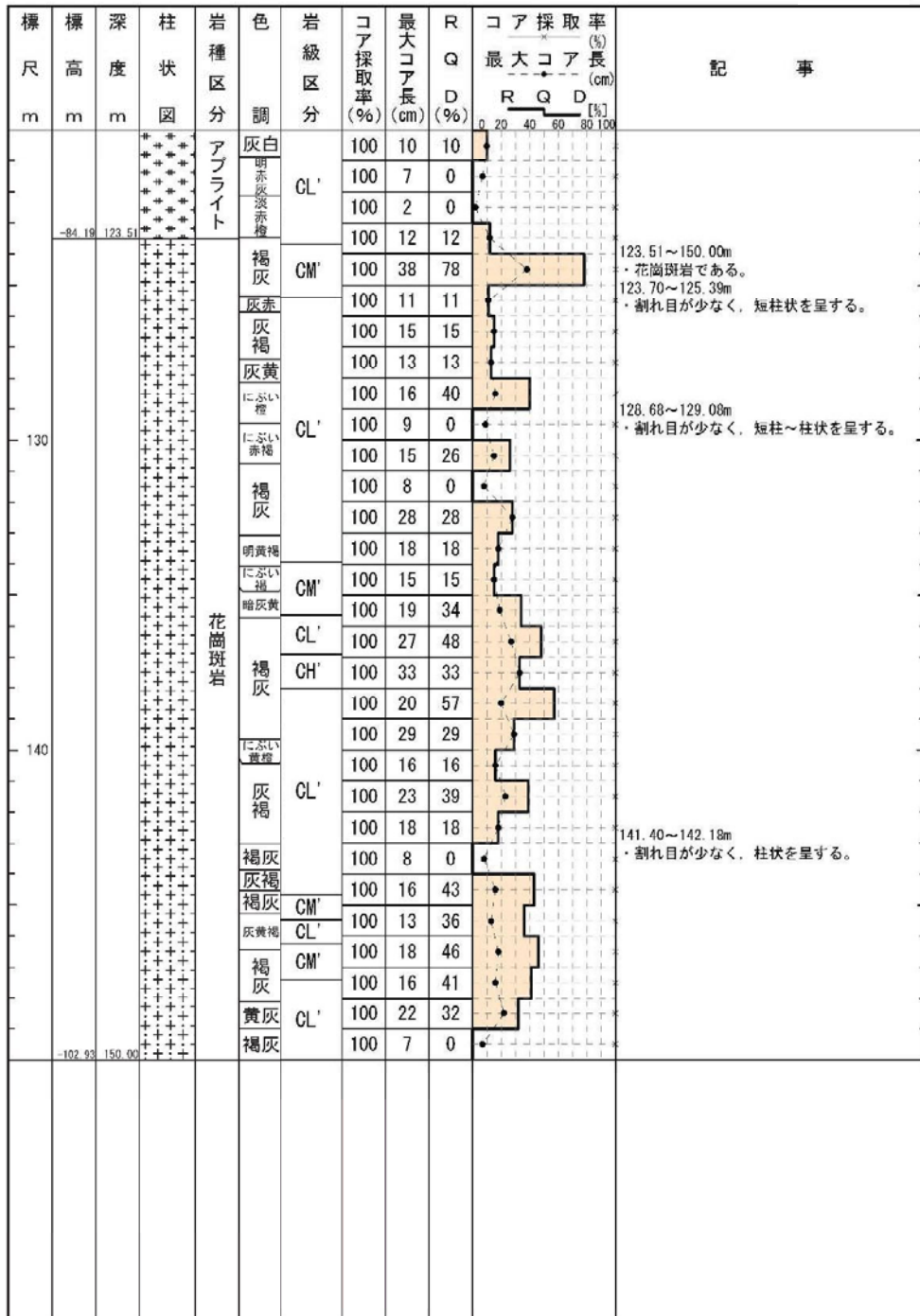
第7.4.4.183図 (3) D-6 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-2)

H24-B11-2

柱状図(60.00m~90.00m)



3-119(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

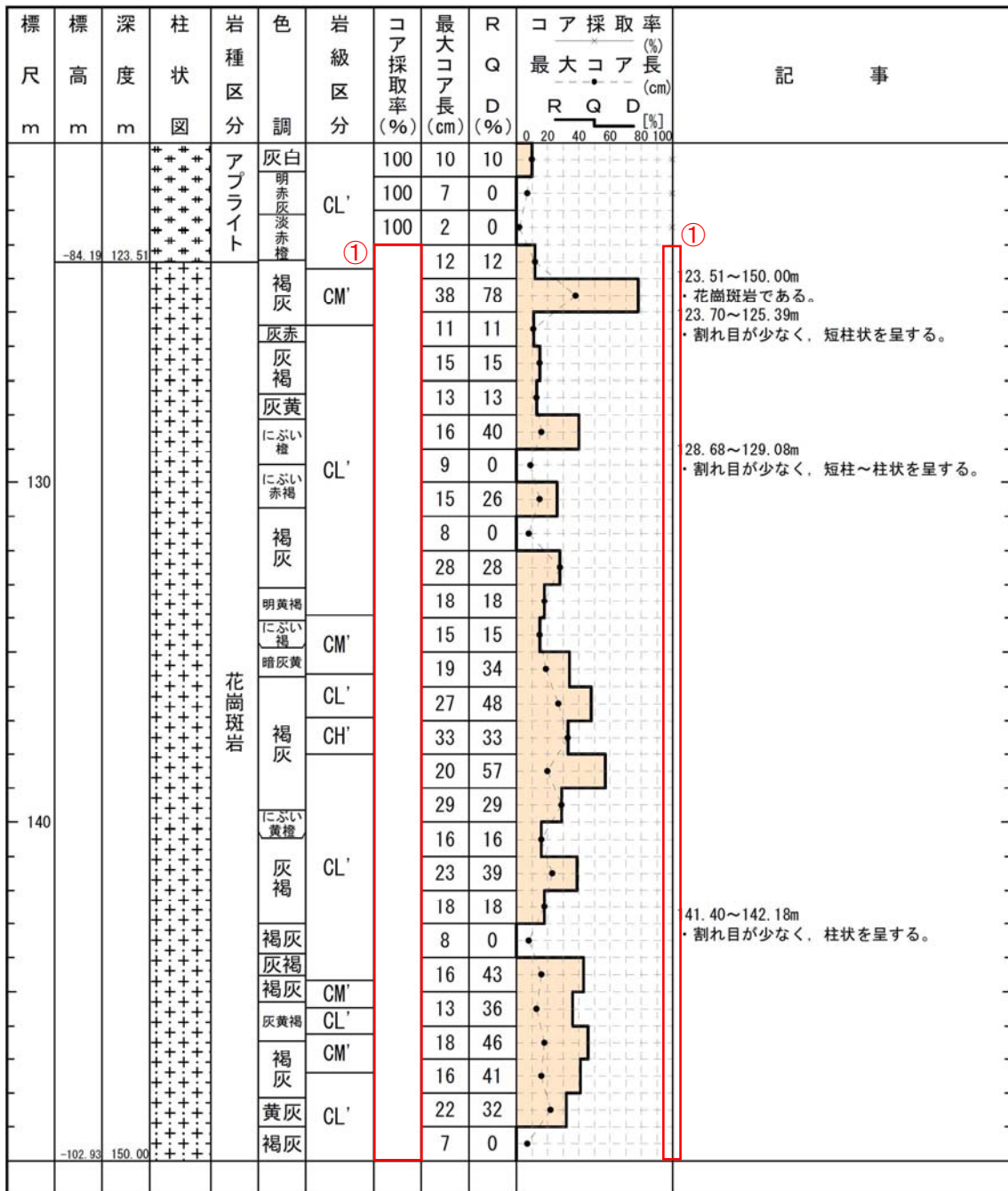


6-7-4-1078

第7.4.4.183図 (4) D-6 破碎帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図 (H24-No. B11-2)

H24-B11-2

柱状図(120.00m~150.00m)



3-120(分類a)①
記載漏れ。

H24-B8-22

孔口標高	T.P.	3.22m	掘削長	240.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm) R Q D	記 事
				埋土	オリブ黒 灰オリブ		100				0.00~4.97m ・埋土である。
					オリブ 黒灰		100				
					浅黄 灰		100				
					シルト 質砂 有機質 シルト	黒褐	100				4.97~5.16m ・シルト質砂である。 ・中粒砂が主体である。
					礫混り 砂	灰白	100				5.16~7.22m ・有機質シルトである。
					礫質砂	灰黄	100				7.22~8.27m ・礫混り砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。
					明黄 褐		100				8.27~9.45m ・礫質砂である。
					にふい 黄橙		100				9.45~14.95m ・砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。
					灰オリブ にふい 黄橙		100				
					灰白		100				14.95~17.20m ・シルト混り砂である。
					浅黄 灰		100				
					砂	オリブ 質	100				17.20~18.72m ・砂である。 ・シルト混り中~粗粒砂が主体である。
					明黄 褐		100				
					礫混り シルト 質砂	灰オリブ	100				18.72~22.45m ・礫混りシルト質砂である。
					灰オリブ 暗 黄		100				
					礫・砂 質シルト	暗 黄	100				22.45~24.09m ・礫・砂質シルトである。
					礫混り シルト 質砂	暗 黄	100				24.09~25.51m ・礫混りシルト質砂である。
					礫混り 砂質 シルト	暗 緑 灰	100				25.51~27.25m ・礫混り砂質シルトである。
					シルト 質砂		100				27.25~27.94m ・シルト質砂である。
					礫・シル ト質 砂		100				27.94~29.29m ・礫・シルト質砂である。
					礫質砂		100				29.29~30.25m ・礫質砂である。
					有機質 砂 礫混り 砂	黒褐 灰	100				30.25~31.04m ・中~粗粒砂が主体である。
					砂	灰白	100				31.04~32.00m ・有機質砂である。 ・細粒砂~中粒砂が主体である。
					礫質砂	灰	100				32.00~33.95m ・礫混り砂である。 ・砂である。
					明褐 灰		100				33.95~35.58m ・礫質砂である。 ・細~粗粒砂が主体である。
					にふい 黄橙		100				35.58~42.82m ・砂礫である。
					灰オリブ		100				

6-7-4-1079

第7.4.4.184図(1) D-6破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

H24-B8-22

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-22

孔 口 標 高	T. P.	3.22m	掘 削 長	240.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
					オリブ黒 灰オリブ		100					0.00~4.97m ・埋土である。
					埋土		100					
					オリブ黒 灰		100					
					浅黄 灰		100					
					シルト質砂 有機質シルト	黒褐	100					4.97~5.16m ・シルト質砂である。 ・中粒砂が主体である。
					礫混じり砂	灰白	100					5.16~7.22m ・有機質シルトである。
					礫質砂	灰黄	100					7.22~8.27m ・礫混じり砂である。
					明黄褐		100					8.27~9.45m ・礫質砂である。
					にぶい 黄橙		100					9.45~14.95m ・砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。
					灰オリブ にぶい 黄橙		100					
					灰白		100					14.95~17.20m ・シルト混じり砂である。
					浅黄		100					
					シルト混じり 砂	オリブ黄 明黄褐	100					17.20~18.72m ・砂である。 ・シルト混じり中~粗粒砂が主体である。
					礫混じりシルト質砂	灰オリブ 浅黄	100					18.72~22.45m ・礫混じりシルト質砂である。
					暗オリブ 灰		100					
					礫・砂質シルト		100					22.45~24.09m ・礫・砂質シルトである。
					礫混じりシルト質砂	暗緑灰	100					24.09~25.51m ・礫混じりシルト質砂である。
					礫混じり砂質シルト		100					25.51~27.25m ・礫混じり砂質シルトである。
					シルト質砂		100					27.25~27.94m ・シルト質砂である。
					礫・シルト質砂		100					27.94~29.29m ・礫・シルト質砂である。
					礫質砂		100					29.29~30.25m ・礫質砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。

3-121~3-125(分類c)①
表現を統一したため。

H24-B8-22

孔口標高	T.P.	3.22m	掘削長	240.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)				記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	D	
				埋土	オリブ黒 灰オリブ		100							0.00~4.97m ・埋土である。
					オリブ黒 灰		100							
					浅黄 灰		100							
					黒褐 シルト質砂 有機質 シルト		100							4.97~5.16m ・シルト質砂である。 ・中粒砂が主体である。
					灰白 礫混り砂		100							5.16~7.22m ・有機質シルトである。
					灰黄 礫質砂		100							7.22~8.27m ・礫混り砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。
					明黄 褐		100							8.27~9.45m ・礫質砂である。
					にふい 黄橙		100							9.45~14.95m ・砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。
					灰オリブ にふい 黄橙		100							
					灰白		100							14.95~17.20m ・シルト混り砂である。
					浅黄 シルト 混り砂		100							
					砂 オリブ 質		100							17.20~18.72m ・砂である。 ・シルト混り中~粗粒砂が主体である。
					明黄 褐		100							
					灰オリブ にふい 黄橙		100							18.72~22.45m ・礫混りシルト質砂である。
					浅黄 オリブ 質		100							
					暗 緑 灰 礫・砂 質シルト		100							22.45~24.09m ・礫・砂質シルトである。
					暗 緑 灰 礫混り シルト 質砂		100							24.09~25.51m ・礫混りシルト質砂である。
					暗 緑 灰 礫混り 砂質 シルト		100							25.51~27.25m ・礫混り砂質シルトである。
					暗 緑 灰 シルト 質砂		100							27.25~27.94m ・シルト質砂である。
					暗 緑 灰 礫・シル ト質 砂		100							27.94~29.29m ・礫・シルト質砂である。
					暗 緑 灰 礫質砂		100							29.29~30.25m ・礫質砂である。
					暗 緑 灰 有機質 礫混り 砂		100							30.25~31.04m ・中~粗粒砂が主体である。
					灰白 砂		100							31.04~32.00m ・有機質砂である。 ・細粒砂~中粒砂が主体である。
					灰 礫質砂		100							32.00~33.95m ・礫混り砂である。 ・砂である。
					明褐 灰		100							33.95~35.58m ・礫質砂である。 ・細~粗粒砂が主体である。
					褐 灰 にふい 黄橙		100							35.58~42.82m ・砂礫である。
					砂 礫 オリブ 質		100							

6-7-4-1079

第7.4.4.184図(1) D-6 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
	-18.73	31.04	有機質砂	暗緑灰 黒褐灰			100				30.25~31.04m ・有機質砂である。
	-19.41	32.00	礫混じり砂	灰白			100				・細粒砂~中粒砂が主体である。
	-20.79	33.95	砂	灰白			100				・礫混じり砂である。
	-21.94	35.58	礫質砂	灰			100				・砂である。
	-21.94	35.58	礫質砂	明褐灰			100				・礫質砂である。
	-21.94	35.58	礫質砂	褐灰			100				・細~粗粒砂が主体である。
	-21.94	35.58	礫質砂	にふい 黄橙 オリーブ			100				・砂礫である。
40	-27.06	42.82	砂礫	灰オリーブ			100				
	-27.06	42.82	礫質砂	灰白			100				42.82~46.84m ・礫質砂である。
	-29.90	46.84	礫質砂	灰白			100				
	-30.63	47.87	木片	黄灰 黒褐灰			100				46.84~47.87m ・木片を含む。
	-31.54	49.16	礫質砂	灰 黒褐灰			100				47.87~49.16m ・礫質砂である。
50	-31.54	49.16	砂	灰白			100				・細~粗粒砂からなる不均質な砂が主体である。
	-32.99	51.21	砂	灰 暗褐			100				49.16~51.21m ・砂である。
	-32.99	51.21	砂礫	灰白			100				51.21~53.33m ・砂礫である。
	-34.49	53.33	砂礫	暗灰黄 黄橙 灰			100				・径2~30mm(最大径60mm)の垂角~垂円礫を含む。
	-35.37	54.57	礫混じり砂	浅黄 黄褐 灰黄			100				53.33~54.57m ・礫混じり砂である。
	-35.83	55.22	シルト混じり砂	明黄褐 灰白			100				・中~粗粒砂が主体である。
	-35.83	55.22	砂礫	にふい 黄橙			100				54.57~55.22m ・シルト混じり砂である。
	-35.83	55.22	砂礫	黄褐			100				55.22~59.93m ・砂礫である。
	-39.16	59.93	礫質砂	黄褐			100				59.93~61.15m ・礫質砂である。
	-39.16	59.93	礫質砂								・粘土混じり中粒砂が主体である。

3-126(分類c)①
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
				砂礫	灰オリーブ		100						
		-27.06		礫質砂	灰白		100						42.82~46.84m ・礫質砂である。
		-29.90		木片	黒褐		100						46.84~47.87m ・木片を含む。
		-30.63		礫質砂	灰白		100						47.87~49.16m ・礫質砂である。
		-31.54		砂	灰白		100						49.16~51.21m ・細~粗粒砂からなる不均質な砂が主体である。
		-32.99		砂礫	灰白		100						51.21~53.33m ・砂礫である。
		-34.49		礫混り砂	浅黄		100						53.33~54.57m ・礫混り砂である。
		-35.37		シルト混り砂	明黄褐		100						54.57~55.22m ・中~粗粒砂が主体である。
		-35.83		砂礫	灰白		100						55.22~59.93m ・シルト混り砂である。
		-39.16		礫質砂	黄褐		100						59.93~61.15m ・礫質砂である。
		-40.02		粘土・礫混り砂	にぶい黄橙		100						61.15~62.75m ・粘土混り中粒砂が主体である。
		-41.15		砂礫	明黄褐		100						62.75~63.17m ・砂礫である。
		-41.48		シルト混り砂	明黄褐		100						63.17~63.86m ・シルト混り砂である。
		-41.94					100	10	10				63.86~188.09m ・花崗斑岩である。
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	11	11				63.86~63.90m ・強風化部である。
					黄橙		100	9	0				64.02~71.40m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。
					明褐灰		100	14	14				
							100	31	31				
							100	10	10				
							100	9	0				
							100	10	10				
							100	13	13				
							100	8	8				
							100	8	0				
							100	11	11				
							100	15	15				76.87~79.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							100	15	15				
							100	16	16				79.92~81.66m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。

6-7-4-1080

第7.4.4.184図(2) D-6 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
40	-18.73	31.04	有機質砂	暗緑灰	100						30.25~31.04m ・有機質砂である。 ・細粒砂~中粒砂が主体である。 31.04~32.00m ・礫混じり砂である。 32.00~33.95m ・砂である。 33.95~35.58m ・礫質砂である。 ・細~粗粒砂が主体である。 35.58~42.82m ・砂礫である。
	-19.41	32.00	礫混じり砂	黒褐灰	100						
	-20.79	33.95	砂	灰白	100						
	-21.94	35.58	礫質砂	灰	100						
	-27.06	42.82	砂礫	明褐灰	100						
	-29.90	46.84	砂礫	褐灰	100						
	-30.63	47.87	木片	にふい黄橙	100						
	-31.54	49.16	砂	灰白	100						
	-32.99	51.21	砂礫	灰	100						
	-34.49	53.33	砂礫	暗灰黄	100						
50	-35.37	54.57	礫混じり砂	浅黄	100						42.82~46.84m ・礫質砂である。 46.84~47.87m ・木片を含む。 47.87~49.16m ・礫質砂である。 ・細~粗粒砂からなる不均質な砂が主体である。 49.16~51.21m ・砂である。 51.21~53.33m ・砂礫である。 ・径2~30mm(最大径60mm)の垂角~垂円礫を含む。 53.33~54.57m ・礫混じり砂である。 ・中~粗粒砂が主体である。 54.57~55.22m ・シルト混じり砂である。 55.22~59.93m ・砂礫である。
	-35.83	55.22	シルト混じり砂	黄褐	100						
	-39.16	59.93	砂礫	明黄褐	100						
			砂礫	灰白	100						
			砂礫	にふい黄橙	100						
			黄褐	100							
			礫質砂								59.93~61.15m ・礫質砂である。 ・粘土混じり中粒砂が主体である。

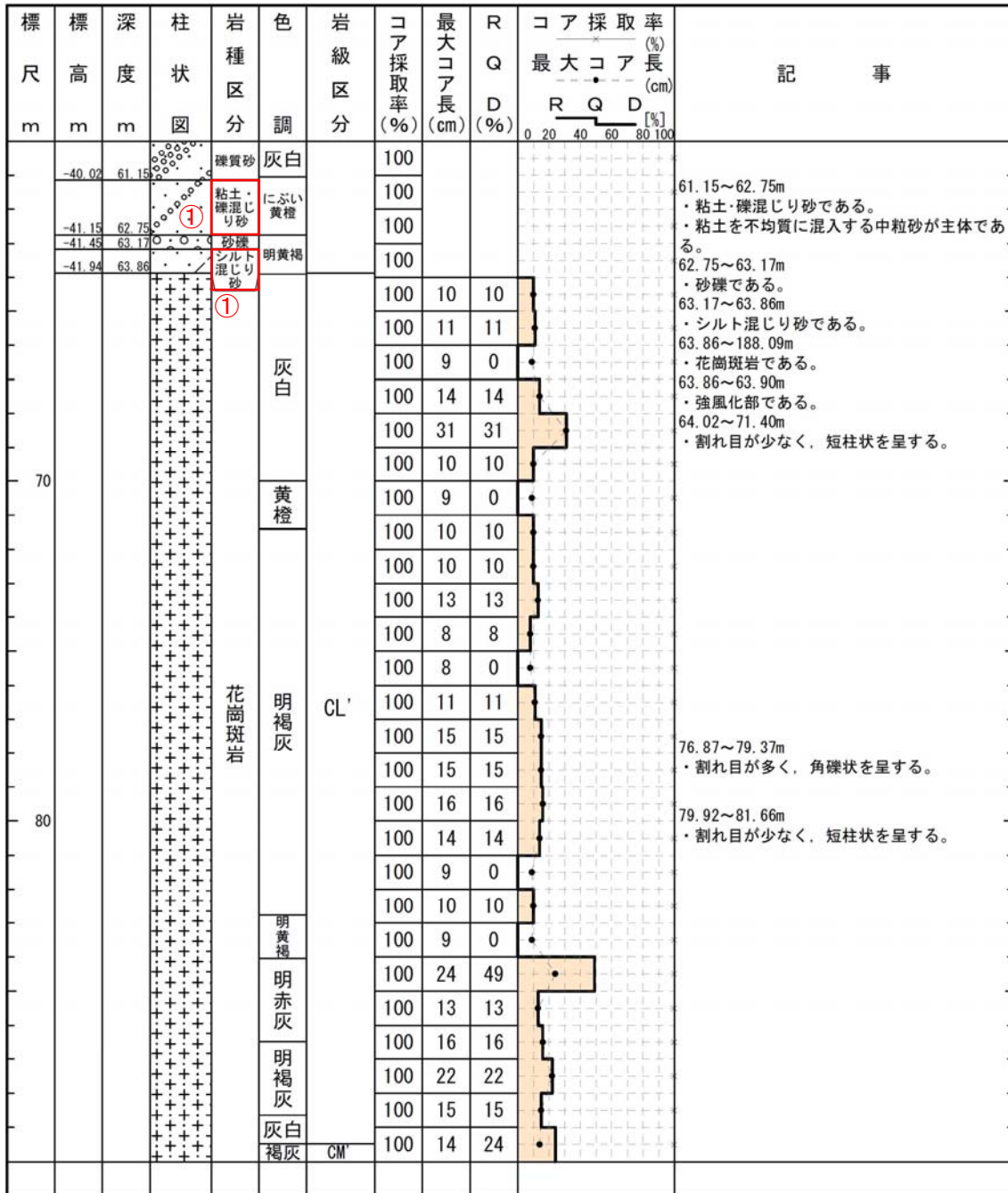
3-127, 3-128(分類c)①
表現を統一したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
				砂礫	灰オリーブ		100						
		-27.06		砂礫	灰白		100						42.82~46.84m ・礫質砂である。
		-29.90		礫質砂	灰白		100						
		-30.63		木片	黒褐		100						46.84~47.87m ・木片を含む。
		-31.54		礫質砂	灰白		100						47.87~49.16m ・礫質砂である。
		-32.99		砂	灰白		100						49.16~51.21m ・砂である。
		-34.49		砂礫	灰白		100						51.21~53.33m ・砂礫である。
		-35.37		礫混り砂	浅黄		100						53.33~54.57m ・礫混り砂である。
		-35.83		シルト混り砂	黄褐		100						54.57~55.22m ・中~粗粒砂が主体である。
		-39.16		砂礫	灰白		100						55.22~59.93m ・砂礫である。
		-40.02		礫質砂	灰白		100						59.93~61.15m ・礫質砂である。
		-41.15		粘土・礫混り砂	にぶい黄橙		100						61.15~62.75m ・粘土・礫混り砂である。
		-41.48		砂礫	明黄褐		100						62.75~63.17m ・砂礫である。
		-41.94		シルト混り砂	明黄褐		100						63.17~63.86m ・シルト混り砂である。
					灰白		100	10	10				63.86~188.09m ・花崗斑岩である。
					黄橙		100	9	0				63.86~63.90m ・強風化部である。
				花崗斑岩	CL'		100	14	14				64.02~71.40m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。
					明褐灰		100	31	31				
							100	10	10				
							100	10	10				
							100	13	13				
							100	8	8				
							100	8	0				
							100	11	11				
							100	15	15				76.87~79.37m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
							100	15	15				
							100	16	16				79.92~81.66m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。

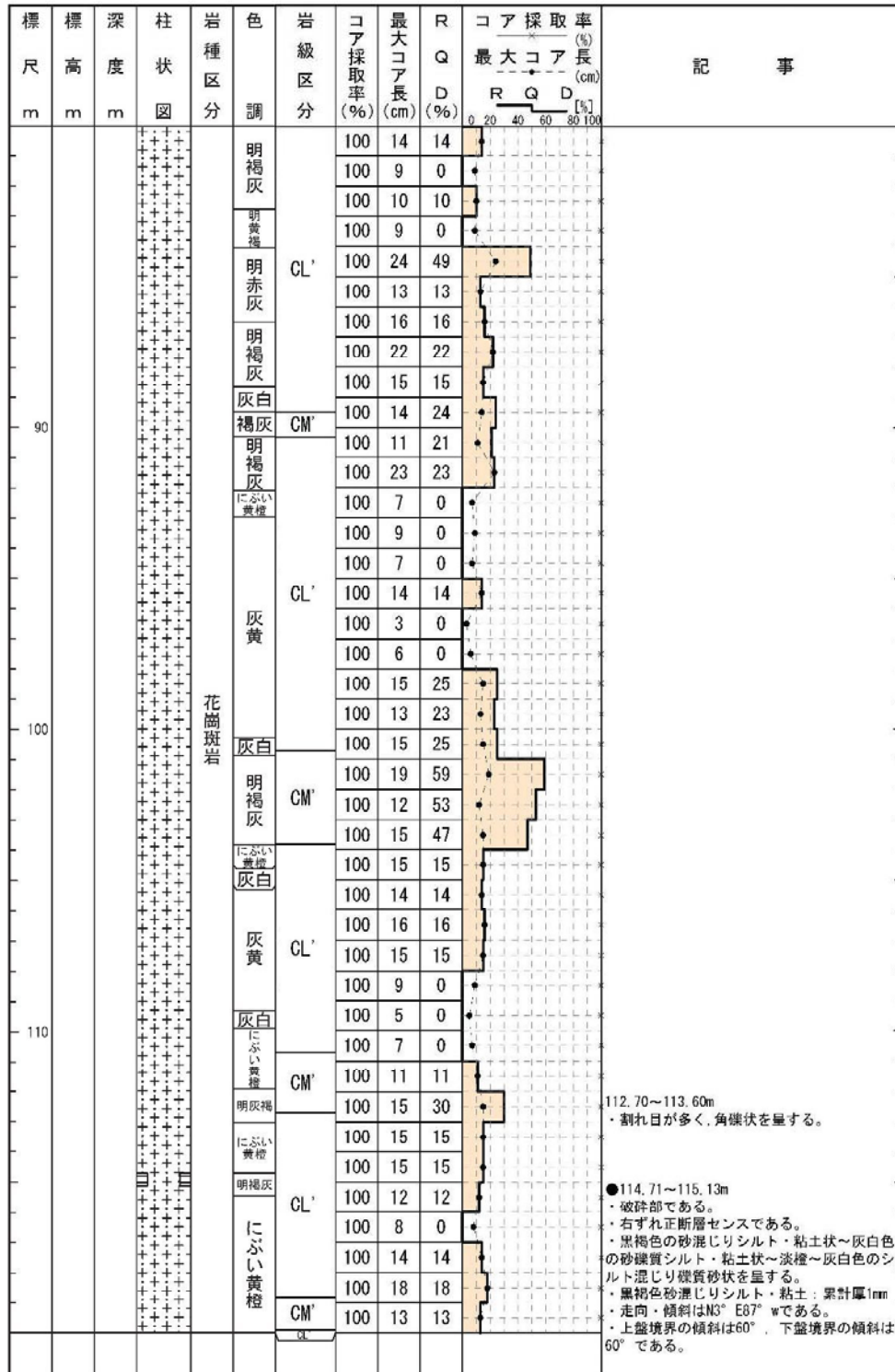
6-7-4-1080

第7.4.4.184図(2) D-6 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)

柱状図(60.00m~90.00m)



3-129, 3-130(分類c)①
表現を統一したため。



6-7-4-1081

第7.4.4.184図 (3) D-6 破砕帯 ボーリング調査結果 (1号炉原子炉建屋北方) コア柱状図(H24-No. B8-22)